

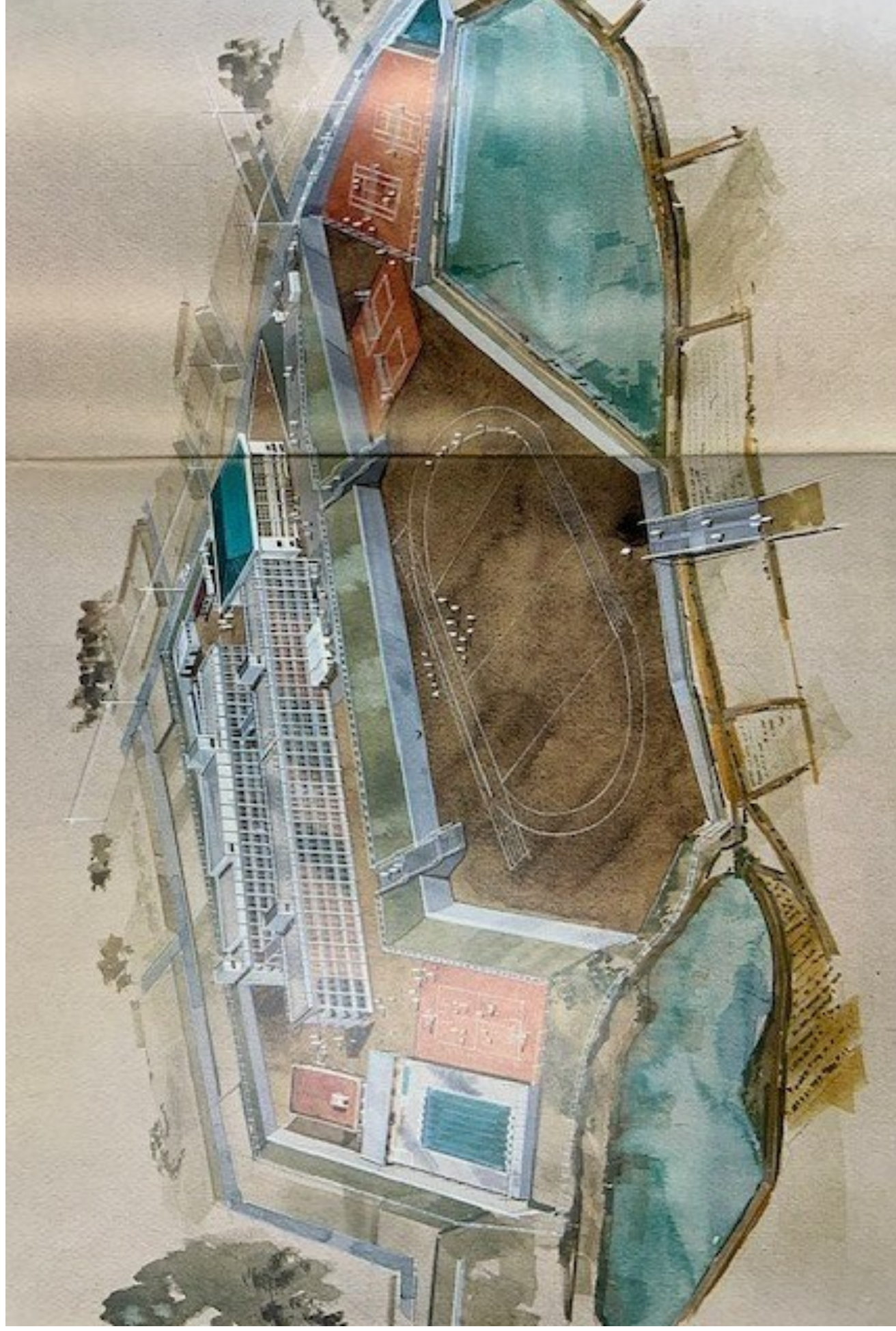
# 永久本 *Forever*



## 大阪府立泉鳥取高等学校 閉校記念誌 (1976~2025)

題字は20周年記念誌より（毛藤佳宏氏）

大阪府立泉鳥取高等学校 竣工予定図（1977年学校紹介パンフレットより）





現在の航空写真





# 目 次

大阪府立泉鳥取高等学校 竣工予定図

現在の航空写真

目 次

校訓・校歌・校章 2

挨拶・メッセージ 3

歴代校長メッセージ 9

思い出対談 「われらイストリ」 13

思い出（40期～47期） 21

情報誌『我らの泉鳥取』（第1号～第85号） 31

沿 革 120

歴 代 校 長 122

在職職員一覧（開校～閉校） 123

歴代PTA役員一覧 131

学校教室配置図 133

昭和51（1976）年当時の教育課程表 134

令和4（2022）年入学 最後の教育課程 135

編 集 後 記 136





# 花水木 *forever*



大阪府立泉鳥取高等学校 閉校記念誌



校訓・校歌・校章

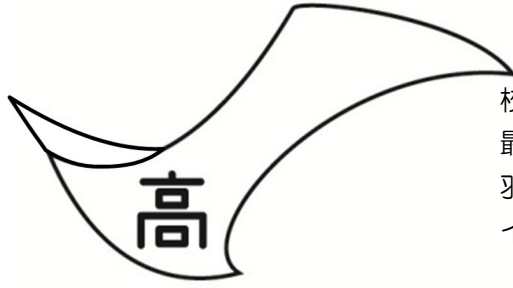
## 校訓

自主研精

自ら進んで学び

実践と勤労を尊ぶ

健全な校風を培う



校章は「いずみとっとり」の最初の平仮名文字「い」を、羽ばたく鳥のイメージでデザインした



大阪府立泉鳥取高等学校校歌

学校の花 「ハナミズキ」

開校当時、記念植樹として多くの桜が植えられましたが、桜が花を咲かせるには数年必要です。そこで中庭を彩る花として、成長の早いアメリカハナミズキが選ばれました。以来本校のシンボルとなり、10周年から30周年の周年記念誌はすべて『ハナミズキ』『花水木』となっています。



大阪府立泉鳥取高等学校 校歌

作詞 南保江原案

校歌選定委員会改作

作曲 合田 書子

自然の丘に 緑萌え

あさひ ひか  
朝日に輝る  
ちぬ  
茅渚の海

きぼう  
希望にあふる

まなびや  
学舎は

ああ 我らの 泉鳥取

たのも わた かぜきよ  
田面に渉る 風清く

理想に集う  
我が健児

大空高く  
翔け征かん

ああ 我らの 泉鳥取

夕ゆうずつ溪谷たにに影かげ淡あわく

まこと  
誠に生きる友がらが

炬火きよかをかかげて  
いざ謳うたう

ああ 我らの 泉鳥取

挨拶・メッセージ



ごあいさつ

## 49年間「ありがとう！」

校長 橋本 敏和



大阪府立泉鳥取高校は昭和51年4月1日に1期生10クラス450名で開校し、令和7年3月31日、最後の卒業生である47期生3クラス87名をもってその幕を閉じます。この49年間に輩出した卒業生は延べ13,727名となります。

同窓会誌「ハナミズキ」によると、『泉鳥取高校は、大阪府立第104高等学校として建設の認可があり、創立記念日である6月5日に起工式が行われました。周辺の住宅地もまだ 造成中の状態で、家屋は一件も見当たりません。学校敷地内にも1本の樹木もなく、玉田山の濃い森の様子が際立っていました。記録によると、阪南町（当時）からの入学者が120名であり、これは全体の27%にあたります。当時の「学校要覧」に「地元の教育、行政、一般との連携を密にし、特に地元の中学校とは累進教育の実をあげる。」とあり、創設時に地元密着型の学校づくりを目指していたことがよく分かります。』とあります。

このように、本校は創立以来、地域に根差した地元密着型の教育を実践してまいりました。卒業生も教育、行政、地元企業と様々な分野で多くの人材となって、社会に貢献し、日々活躍をされています。近年の取り組みとしましては、地域の老人会の方々に学校食堂を開放した「イストリカフェ」や、生徒自治会を中心に泉南警察とタイアップした「防犯ボランティア」、地元小中学校主催「さわやか鳥東ネット」の行事の参加、阪南の海で生育する「アマモサミット」に関するイベント協力、PTA主催の「朝の挨拶運動」等があります。様々な地域連携をするなか、阪南市や同窓会・PTAなど多くの方々からご支援をいただきました。閉校が決まったあとも、朝の登校時の挨拶運動の際に「イストリがなくなると寂しい」「自分もイストリの卒業生です」と地域の方々にたくさん声掛けしていただきました。近隣の中学校からも惜しまれる声を伺いました。そういったことから、あらためてイストリは地域の方々や卒業

生から愛された素晴らしい学校であると感じづく実感いたしました。今まで泉鳥取高校を支えてくださったすべての方々には、本当に感謝しかありません。

また、本校は「ハナミズキ」を学校の花「校花」としています。毎年、4月の中旬から咲き始め、中庭一面を彩ってくれます。同窓会誌「ハナミズキ」・文化祭「ハナミズキ祭」からもうかがえる様に教職員・生徒・同窓生から愛された花です。花言葉は「返礼」「永続性」「想いを受け取ってください」とあります。歌手、一青窈さんの「ハナミズキ」の歌詞には「君と好きな人が百年続きますように」とありますが、これは01年の米同時多発テロ事件を受け、ニューヨークに住む友人の無事を願い、「とにかく、友人と友人の好きな人がみんな無事でありますように」と、すべての人々の無事を祈ったフレーズだそうです。「ハナミズキ」にはすべての人を永遠に思いやる心・感謝の心が詰まっています。

「ハナミズキ」の心はそのまま泉鳥取高校の心です。生徒のために いつも陰で支えてくださったPTAの方々、ご支援、ご鞭撻、アドバイス等、様々な面でご協力をいただいた阪南市をはじめとした地域の皆様、様々な分野で活躍し貢献しておられる卒業生の皆様、多くの生徒を育ててくださった教職員の皆様、今まで泉鳥取高校に携わっていただいた全ての方々、本当にありがとうございました。

泉鳥取高校の心と泉鳥取高校に携わってくれたすべての方が百年続きますように。49年間「ありがとう！」



# メッセージ



ごあいさつ

PTA会長 東野 洋子

（閉校記念事業実行委員会副委員長）

泉鳥取高校は1976年（昭和51年）に開校され、令和7年の3月に47期生の生徒を最後に、その歴史を閉じることになりました。最後のPTA会長として、気持ちを添えさせていただきます。

初めて泉鳥取高校を訪れた時の第一印象は、なんて素敵なか庭のある学校だろうと思いました。

中庭を挟んで二つある大きな校舎は、設立当初からたくさんの生徒達がいたこと、学んできたことを物語っているように見えました。

渡り廊下からも中庭が見え、文化祭の時には、渡り廊下に生徒達の作品が並び、窓からは、中庭で文化祭を楽しんでいる様子がうかがえました。

学校にあるたくさんの大きな木々は、暑い日には木陰をつくったり、風よけになったりしながら、きっと学校の色々な出来事を見守ってきているのだと、閉校にあたり思いがあがってきます。

自分の子供が泉鳥取高校の生徒として通えていることを本当に嬉しく思います。なんて素敵な高校でしょう。

こんな素敵な高校になるのには、開校から関わってきた皆様の努力があり、色々な事を乗り越え、積み重ねてきたからこそなのだと感じます。

閉校になることは寂しくもありますが、泉鳥取高校での思い出が、これからも続いていく人生の良き心のふるさとの思い出となりますよう、願っております。

ありがとうございました。



閉校にあたって

同窓会長 二神 勝

（閉校記念事業実行委員会副委員長）



泉鳥取高等学校閉校にあたり、同窓会として一言ご挨拶申し上げます。

令和元年度に、井上純男会長からバトンを受け、同窓会長をさせていただきましたが、まさか2年後、令和3年度に泉鳥取高等学校が再編整備の対象校になるとは思いもよりませんでした。

阪南市唯一の公立高等学校を守るべく、水野謙二市長や市議団から、府議団や府教育庁への請願を行いました。存続はかないませんでした。入学希望者の減少とはいえ、断腸の思いであります。

高校生時代を振り返ってみますと、何かに悩んだ時や進路を決める時には、膝を交えてしっかり話を聞いてくださったり、助言をしていただいたりと、担任の先生や生徒指導、進路指導の先生方が思い出されます。現在もイズトリは、一人ひとりの生徒と膝を突き合わせて話し込むことが伝統となっていると聞いております。

閉校するにあたって、閉校記念事業実行委員会を立ち上げ、泉鳥取高等学校の記憶を記録にとどめるべく、多くの取組みをしてまいりました。また、生徒減少によって在校生が寂しい思いをしないような工夫も先生方にしていただき、実行委員会としてもお手伝いをさせていただいたところでございます。

閉校にあたって、卒業生の皆さんにお願いがあります。母校は消えても同窓生がいるかぎり、その学校は命を輝かせます。どうか、これからも胸を張って、「イズトリ卒業生だ」と生きていただきたいと思います。

今後、卒業生の皆さんが、各々の個性を活かしながら、生き生きと自らの使命の花を咲かせていただくことを祈念してご挨拶いたします。





## メッセージ



最後の生徒会長として  
生徒会長 黒石 光輝

僕は泉鳥取高校最後の年に生徒会長に就任させていただきました。

生徒会活動で一番思い出に残っているのは二年生の学年末に参加した防災体験のリーダー研修です。二年生3名、三年生9名と先生方で学校に一泊しました。

集合してまず昼のカレーの材料を買いに行き、火起こしから始めてお米を炊いたり野菜を切ったりしました。大鍋で炊いたご飯やカレーは大成功で、みんなで食べるとさらに美味しく感じました。

昼食後体育館でバドミントンなどのレクリエーションをし、夕方平野台のスーパー銭湯に向かう途中にゴミ拾いをしました。道路の脇にたばこの吸い殻が思った以上に多くて、車からポイ捨てる人が多い印象を受けました。壊れた傘も何本か落ちていて、放置したままだと風に飛ばされ危険だと思いました。ゴミ拾いをする事で、普段歩いている道にゴミが思った以上にあることを再認識しました。

夕食は調理室で防災食のわかめご飯を作って食べました。お湯を入れるだけで簡単にでき美味しかったです。

夜は布団の代わりに防災用のホイルのようなシートにくるまって寝ようとしたのですが、動くとき音が大きく温かさあまり感じられずなかなか眠れませんでした。

この研修を通して普段気づけないような事に気づけたり、仲間と協力することを学びました。また防災について考える良い機会になりました。

49年の泉鳥取高校の歴史と共に僕たち47期生の高校生活が終わります。

悲しいですが僕たちの心にたくさんの思い出と学びを残してくれた泉鳥取高校を忘れないでしょう。

閉校によせて

学校医・産業医 永松 晃



校医を担当してちょうど12年になります。きっかけは以前勤めていた病院にこの高校卒の看護師さんが二人もおられて、かつ優秀な方でしたので、お話をいただいた時から期待を持って赴任したのでした。

当初は、一学年250名ぐらいの生徒さんがおられたようです。毎年4月の定期健康診断は、応援の医師先生に助けをもらいながら乗り切っていました。修学旅行前健診、夏の部活動前健診とさせていただきました。特に思い出するのが、インフルエンザの流行する、冬の季節に学級閉鎖の判断することもありました。そんなことを繰り返しながら、一年が過ぎ遅しくなった生徒さん方が卒業されてゆくのを見てホッとするのでした。人生で一番多感な時期の健康を守るというのは、重大な使命があったと感じております。

また、一方で、先生方の産業医もさせていただきました。クラブ活動の指導に熱心な先生も多くおられ、時間外勤務をなるべく少なくされるようお願いしたこともございました。閉校になるとお聞きして、寂しい思いをしてきましたが、同級生の絆が、いつまでも続く事を願って止みません。



## メッセージ



### 歯科検診と保健室

学校歯科医 大河内 秀記

私が泉鳥取高校の学校歯科医に就任したのは、平成23年のことでした。

最初の健康診断の日に早く到着してしまい、鍵のかかった校長室の前で立っていますと、登校してきた生徒たちが次々と「おはようございます」と挨拶してくれ、返事をするのが大変でした。

健診の日はまず校長室で校長と養護教諭と打ち合わせをするようになっていました。平成23年当時は生徒数も多く1学年の健康診断を終えるのも大変な労力が要りました。3人の歯科医の先生に手伝っていただいてやっと正午過ぎに終わることができました。健康診断は4月の半ばでいつも天気恵まれていましたが、すこしまだ寒い時期でしたので震えながら健診していたのを思い出します。窓の外には桜がまだ残っており、毎年この学校で春を感じることができました。先生方に健診の記録を手伝っていただいたり生徒たちを誘導していただいたり協力を得ながら健診できた次第です。健診記録を手伝っていただく先生方は毎年代わっていましたが、生徒一人一人の事をよく知っており、一言二言声をかけておられました。昼休みには校庭などで生徒たちが三々五々集まってお弁当を食べたり賑やかに談笑したりして楽しそうでした。

保健室に昼休みに行くと、生徒たちのサロンのようでした。いつも生徒たちが集まっており、保健室の先生に色んな質問や相談に着て楽しそうに話していました。時には私にも質問が飛んでくることもあり、コロナウィルス感染が2020年より始まり、健診がままならなくなった時も学校、先生方、生徒たちの協力により感染の予防措置をしながら2023年の五類感染症の移行を待たずに健診を始めることができました。私が学校歯科医として職務を遂行できたのも、先生方と生徒の皆さんのご協力のおかげです。ありがとうございました。泉鳥取高校に関係された先生方や卒業生の健康と今後のご多幸をお祈りいたします。



### 泉鳥取の思い出

学校薬剤師 津田 麗子

昭和51年4月開校に向けて、緑の木々に囲まれた山を切り開いて高台に高校が出来ると当地の地域全体が期待と希望をもって建設中の建物に目を見張っていました。

開校と同時に希望に満ち溢れた生徒たちで校内に一步踏み入れば、新しい校風のもと、生徒も職員もすべてが新鮮な流れを肌を感じ、私も学校薬剤師の1年生として、ともに一步一步進んで行こうと思ったのがついこの間のように思いますが、月日の流れるのは早いもので50年近くになり、結末は閉校という残念なこととなりました。今更ながら残念です。

その間多くの卒業生を送り出し、多方面で活躍され、それぞれ母校の思い出を胸に頑張っている皆様の一<sup>くぎり</sup>齣としてこの記念誌が残され、ある時見開いて思い出を語っていただければと思います。私も共に一頁を開いてみたいと思います。

薬剤師として開校から閉校まで関わらせていただいた一人として感極まる一頁で嬉しく思います。私の関わりは組織の中のほんの一部かも知れませんが、どの組織を見ても一つ欠けたらバタバタと崩れていくのと同じで、一つひとつの力が集って一つの大きい組織ができ、立派に大きくなっていくと思います。学校を取り巻くすべての環境を保持するため、薬剤師としてできることを全うしてまいりました。ある時は全体を維持するために改善の要望も出させていただきました。秒刻みで変わっていく世の流れの中でそれに対応できるよう、学校全体のほんの一部ですがともに歩んでまいりました。長い道のりでしたが、今振り返ると短く感じます。開校当初から今日まで関わっていただいた職員の皆様はじめ卒業生の皆様、また関わっていただいた多方面の皆様に感謝・感謝の言葉を贈り、いつまでも思い出を片隅に残していただき前へ進んで行ってほしいと念願するとともに、泉鳥取高校を忘れないでいただきたいという言葉で締めくくらせていただきます。



# メッセージ



人生における高校

大阪観光大学学長

山田 良治

(学校運営協議会)

幼年・児童期に続く中学・高校の時期は、ドイツの発達心理学者のエリクソンによると「青年期（adolescence）」ということになります。自分自身の存在の確認、彼の言う「アイデンティティの混乱（identity confusion）」との格闘の時期です。一般的に言えば、この混乱をどう乗り切ろうとするか、その実践が後の人生を大きく作用することになります。

まさにこの時期に、泉鳥取高校の生徒たちは、「閉校」という厳しい現実と直面してきました。私自身は、学校運営協議会の一員として、この現場と接することになったわけですが、教員の皆さんの葛藤を目の当たりにして多くのことを考えさせられました。「格闘の時期」に「閉校」という非日常の環境におかれた生徒たちの精神的苦難はいかばかりだったのでしょうか？

委員に就任した当初、校長が「生きぬく力」という理念を強調されていたことが強く印象に残っています。このことが大切なことは言うまでもないことですが、アイデンティティの確立期におけるスローガンとしてはどうしても悲壮感が漂います。そこで私としては、苦しい時期だからこそ「楽しむ力」が必要ではないかとの意見を申し上げました。この問題意識は、大阪観光大学の「憲章2022」に「自由を共に楽しみ、社会を共に生きぬく」というフレーズに反映されています。

卒業生と他校に移動される教職員の皆さんへの私からのメッセージもまた、このフレーズに集約されます。泉鳥取高校での年月を共有されたという事実が消し去られることはありません。どうか、その絆をしっかりと確認・共有し、今後の人生に活かしていただきたいと思います。



教師としてのふるさと

教頭 妻木 靖朗



私が府立泉鳥取高等学校に初めて赴任したのは、昭和62（1987）年の事でした。

高校時代の恩師に「初任校は教師にとっての母校だよ」と言われました。これは至言だと思います。個性の強い先輩方にもまれながら、教職員としてのイロハを学びました。臨海訓練、就職あっせん、不登校生徒へのケア、制服の制定、などなど若輩者の自分たちに思いう存分活躍の場を提供してくれました。環境に課題のある生徒が多く、ややもすれば社会から見捨てられかねない生徒たちと付き合い、生徒の生育環境を劣化させる「大人」や「社会」に怒りを持ちながら「生徒と向き合う」「生徒の話を聞く」「生徒を守る」「生徒と遊ぶ」ということを学べたと思います。

イズトリの生徒たちは、今も昔も、勉強は嫌いだけれど、人にやさしい生徒が多いのが特徴かな、と思っています。

平成8（1996）年3月に桃谷高等学校に転出し、様々な学校や職場を体験した上で、令和3（2021）年、26年ぶりに教頭として泉鳥取高校に戻ってきました。校舎は当時のままほとんど変わらず、社会科の部屋には自分の残した写真や修学旅行のしおり、辞書なども残されていました。

たびたび定員割れを起こしていたこの学校を、自分が学んできたスキルを活用して立て直そうと、池田教頭や校長先生とともに気合を入れていましたが、直後に再編整備が決まってしまいました。とても寂しい事ですが、卒業生の皆さん、胸を張って「俺らの母校はイズトリや！」と生きていってください。あなた方が思いを持ち続けることで、学校は命を保ちます。私も「教職員としてのふるさとイズトリ」を、皆さんとともに一生涯大切にすることを約束して、ご挨拶とします。

## メッセージ



昭和から平成へ 改元の思い出

5代校長 南 敬

私は、昭和62年から平成3年3月まで、泉鳥取高等学校の校長を務めました。その中でとりわけ印象に残っているのは、昭和天皇崩御、新年号「平成」のスタートです。歴史的変換点にたまたま遭遇した時の経緯は、忘れられません。

昭和天皇がお亡くなりになった時、大阪府教育委員会から弔旗を掲げるよう指示がありました。教職員に諮ったところ、当時の事ですから当然のように反対の意思表示でした。当時の教頭先生や事務長さんと相談して弔旗を掲げることとしましたが、校門や玄関では、もしいたずらなどされては困りますので、教頭先生と二人で屋上に掲げることに決めました。

当日は晴天でしたが、泉鳥取高等学校の校舎は、グラウンドより随分高いところにありますので、屋上に登りますと、足がすくむように感じました。

無事に弔旗の掲揚を終えて、ほっとしたことを思い出しました。

南敬先生は昭和5年生まれ、府立高校の理科教員として長年教壇に立たれ、泉北高校、高石高校に勤務されました。

泉鳥取高校が11年目を迎えた昭和62（1987）年4月、校長として着任され、平成3（1991）年3月にご定年を迎えるまで泉鳥取高校の校長として勤められました。当時は部活動も活発で、男女バレーボール部、器械体操部、吹奏楽部など多くの部が活発に活動していました。本校で初めての国際交流（ニュージーランドのマオリ族の皆さんの来訪）も実施されました。泉鳥取高校が最も大きい時代の校長先生で、歴代校長で閉校時最高齢の校長先生です。



平成29年、長年の教育に対する功績により瑞宝小綬章を授章されました。

このたび、ご高齢にもかかわらず、寄稿頂きました。紙上ではありますが、厚く御礼申し上げます。



平成2(1990)年9月8日国際花と緑の博覧会  
に来日したマオリの皆さんと交流する南校長

(30周年記念誌より)



# メッセージ



百年続かば百年

農園の思い出

9代校長 増田 恵一

その生徒はその日まで、ずっと一人で黙々と畝に生えた雑草を毎日除き続けていた。

『イモ堀り』のお手伝い募集』の張り紙は校舎内に貼り出されていたが、果たして何人の生徒が来てくれるだろうか。そうした不安と期待が混じる中、一人、また一人と生徒たちが農園にやって来た。畝の間には地元の幼稚園の三十人ほどの園児が一行にしゃがみこみ、生徒と一緒に土の中からサツマイモを探し出す。園児の驚きの表情が顔いっぱいに広がり、次の瞬間、笑顔とともに「わーっ」という歓声上がる。生徒達はそれがまるで自分達の妹か弟のように園児に寄り添い、大きなサツマイモを抱きかかえた園児達をそのまま青空の中に抱き上げた。

富士松孝佳教頭によって耕された校庭の隅の小さな畝は、やがて彼の情熱と努力によって、その2年後には府のサポート予算を獲得し、200㎡ほどの新たな農園の造成へと繋がる。そしてその農園が最初に園児たちの歓声に包まれたのは、平成14年の秋であった。以降それは、生徒達によって耕され、生徒や園児達に自然と接する喜びと成長をもたらしながら、地域交流の輪を広げていくこととなる。

当初より農園の管理や生徒の農園指導に当たられていた平野氏は、当時を振り返って次のように語られている。

「農園の行事を通して、生徒達に内在する優しさ、幼い子へのいたわりなどを引き出せたこと、教職員と生徒達との関係づくりに繋がったことは、この上ない喜びでありました。また、その発展として、体育祭では有志生徒のダンス演技の機会を作ったり、また、農作物を活用した地域交流として地元中学フェスタに参加した際には、ブレイクダンスの好きな生徒達にそれを披露してもらったりもしましたが、それらは、農園の活動を通じて支えられてきた『生徒達個々が活躍でき、認められる機会が多くなれば、きっと学校が楽しくなる』という思いでした。」

泉鳥取高校が百年続かば百年、二百年続かば二百年、生徒の笑顔と園児の歓声と地域の青空の中で在り続けたであろう農園は、閉校とともに今その歴史を閉じる。

農園を創設された富士松孝佳教頭、地域との様々な連携に尽力し、園との交流を実現された佐久間秀利教頭、また地域交流の行事を進めながら、農園を生徒とともに長きに渡って守ってこられた平野芳男先生の名をここに記させていただくとともに、当時の校長として、深く感謝とお礼を申し上げる次第です。



思い出は色あせない

第10代校長 竹本 猛

私が泉鳥取高校に在職した期間は、平成15年度から平成17年度でした。平成14年度から完全学校五日制になり、学校の特色づくり、学校の再編成、学校評価と教職員の評価の導入、首席や指導教諭（主幹教諭）の設置、国歌斉唱の在り方等の改革が矢継ぎ早に実施されていきました。

これらは調整型の校長から、自らの学校目標と計画を教職員に指し示すリーダーシップ型への校長へと変化し、教職員との関係性が日常的になり、私の能力不足もあり、精神的な負担はかなり重かったです。

また、多様化した生徒を抱えて、生徒指導に困難が多い時期でもありました。退学者の多さ、問題事象の多発、和泉鳥取駅での迷惑行為などがあり、泉鳥取の実践力をもってしてもなかなか対応に苦慮する場面がありました。中でもアルバイトなどで出席が常ならない状況となり、学習環境を悪化させ、進級できない生徒が増えました。そこで従来の進級規定を改定しました。多くの反対意見のあった判定会議を終えて校長室に戻りました。まもなく事務室が賑やかになったので、様子を見に行くと、会議では進級に反対していたと思った先生方が笑顔で「進級できた、よかったな」と生徒に電話をかけていたのです。教職員の愛を感じた色褪せない思い出です。

「和泉山脈の麓、自然田の丘に建てられた本校は、地元の教育への期待を受け、まさに阪南市の教育シンボルとして、次なる10年、20年を切り開くのが与えられた任務と自覚し、教職員も一層の努力を」と30周年記念式典の式辞で述べましたが、こんなに早く閉校となり残念でなりません。

府は競争原理に偏った教育行政を改めて、地元住民の要望を重視してほしい、そんな思いでいっぱいです。

最後に在職中に関わった教職員の皆さん、卒業生や退学した生徒、保護者の皆さん、かわりあったすべての皆様のご多幸をお祈りして、メッセージとします。

# メッセージ



お世話になった皆さんへ

11代校長 金銅 伸元

私がお世話になったのは、もう20年近く前になります。毎朝、南河内から始発電車に乗って大阪市内でUターンし、ここ泉南の地、阪南市まで2時間近くかけて通勤していました。

当時の泉鳥取高校には、様々な課題を抱えて自尊感情を持ちづらい、それゆえに学校生活に馴染めない生徒も多く在籍していました。できるだけ多くの者が卒業式の日までイズトリ生でいて欲しいとの思いから、赴任直後の始業式の式辞で私は、「午後には、フレッシュな新入生もたくさん入学してきます。その後輩たちを誘ってクラブ活動、サークル活動を頑張ってみるのも良し、図書館を覗いてみて本を読み、先生をつかまえていろんなことを教えてもらうのも良し。とにかく、もっと学校を、朝から夕方まで十分利用してください」と、声掛けをしたと記憶しています。

そんな生徒たちを毎日元気づけ、学校生活が少しでも楽しくなるように工夫と努力を続けてくれたのは二人の教頭を初めとする教職員たちと、学校の応援団としてのPTA役員の皆さんたちでした。遅刻しても担任からの電話に励まされて登校する者もたくさん居ましたね。多くの支援者たちに励まされ、生徒たちの中にも、自分たちの学校“イズトリ”を地元の方々にきちんと見てもらおうと、近隣中学に自作のトンボ玉を紹介に出かける者、地元の幼稚園児を招いて校庭の一角に栽培していたイモ堀り大会をし、そして市役所前で収穫野菜の販売をする者も居ました。また、近隣他校の生徒との合同チームでクラブ活動の試合に出る者など、それぞれの形で頑張っていた姿を懐かしく思い出しています。

当時の卒業生たちも今ではそれぞれの職場や家庭で、大事な仲間や家族とともに、自分たちだけの人生を歩んでいることでしょう。そして、晴れた日には遠く関空や泉州の海を望める高台のイズトリで過ごした3年間でみんなにとって良い思い出になっていることを私は心から願っています。



泉鳥取高校への思い

12代校長 児玉 博文

小高い丘の上に聳え立つ泉鳥取高校の姿を初めて見上げた時のことは忘れられません。まだ創立2年目のことです。勿論、校舎全体の完成には至っていませんでした。

その泉鳥取高校が、50周年を目前に閉校するとの報道には驚きました。阪南市で唯一の高校です。世に常はないとは言え、現実の厳しさを思い知らされます。本当に無くして良いのかとも今も思います。

私にとって泉鳥取高校は、教員生活のスタート地点であり、また校長としての出発点でもありました。苦しい事や辛い事がたくさんあったはずなのですが、不思議なことに思い出すのは楽しい事ばかりです。中でも若い頃の記憶は強烈です。

新米教員の私は絵に描いたように多くの失敗を重ねますが、先輩の先生方の厳しくもあたたかいサポートが懐かしく思い出されます。新しい学校をつくるのだと泉鳥取高校創設準備段階から関わってこられた個性あふれる先生方の顔が次から次へと浮かんできます。泉鳥取高校の基礎を作った先生方と言っても過言ではありません。それぞれの指導方法に硬軟の差はありましたが、この先生方に色々な事を教えて頂いたと思います。感謝の一言です。

生徒たちの存在も私に大きな力を与えてくれました。彼等との日々は常に煩悶を伴うものでしたが、放課後になると一目散に帰宅する生徒はいるものの、部活動も盛んで、笑いの溢れる、それこそ青春時代という言葉がぴったりの空間が広がっていました。

行事は、宿泊キャンプや山陰での水泳訓練、遠足は登山、修学旅行は野外活動（1期生は登山でした）と、なかなかハードなものが続きました。当時の先生方の「熱い思い」が伝わってきます。生徒たちには少々迷惑だったかもしれませんが。

最後になりましたが、卒業生のますますのご活躍を祈念しています。



# メッセージ



「人生の原点」

14代校長 寺脇 久人

昭和51年に開校した泉鳥取高校は、泉州の地元から「イズトリ」と呼ばれ地元に着し愛された学校です。校訓は「自主研精」で、恵まれた自然のもとでの人格の形成を目指しました。私は平成26年4月からの3年間、校舎にかけられた「つながる 笑顔 イズトリ」の懸垂幕を眺めながら登校したことを思い出します。

開校から約半世紀が経ち、我が国の社会状況は大きく変化しました。そして、現在社会の大きな課題の一つでもある急激な少子化は、否応なく教育界を変革へと向かわせました。教育行政は、時代によって大きく変化することは明かですが、特に本府の教育行政は、公立高校の機能統合や校区の自由化、私立高校の授業料無償化、大阪市立高校と支援学校の本府への移管など、矢継ぎ早に従来とは違った方向へと大きく舵を切り、私達を巻き込んでいきました。その背景には、物事に対するプロセスを大切にする姿勢よりも、新自由主義と言われる成果主義や効率化、コスバ、ごく当たり前のように使われる自己責任論等々が根底にあると考えます。加えて、IT・デジタル化など情報化する社会に伴い国民・府民の意識が大きく変わってきたことも確かです。

このことを踏まえながらも、そして時代がどのように変わろうとも、人として最も大切なことは「知育・徳育・体育」であり、不易流行であるとも思います。一生懸命に勉強・努力し、人のことを大切に思い、思いやる心を大切にする、惻隠の情です。そして、心身ともに健康を心掛ける。自己責任の一言で片付けるのではなく、それが人間教育の原点だと考えます。

イズトリの皆さんは、大切な高校時代を泉州の恵まれた自然と豊かな人情に育まれながら過ごし、今も多くの方が泉州の地で明るくおらかに暮らしています。このような時代だからこそ、高校時代の寛容さや優しさをいつまでも誇りに、人生の糧となることを期待します。

結びに、閉校記念誌の刊行に尽力された皆様にお礼を申し上げます。また、本校に関わる全ての皆様のこれまでの惜しまない愛情に深く感謝するとともに、今後とも卒業生を末永く見守っていただければ幸いです。



「閉校に寄せて」

15代校長 峯近 卓美

大阪府立泉鳥取高校には、2017年4月に着任し2021年3月までの4年間お世話になりました。

校長として初めて生徒たちに話をした着任式、話した内容は全く覚えていませんが、話を聞く生徒たちの姿は強く印象に残っています。生徒全員がしっかり私の方を見て、全くと言っていいほど視線を外さないその姿に「なんて気持ちの良い生徒たちだろう」と感動し、「この生徒たちなら色々なことができそうだな」と思ったことを覚えています。

こうしてスタートした泉鳥取高校での日々は私の教育に対する考え方に強いインパクトを与えてくれました。気持ちの良い生徒たちと厳しさの中にも優しさを持って、寄り添う教職員が共に創りあげる教育活動の数々、その中でも基礎学力定着をめざす習熟度別少人数展開授業や、放課後の有志教職員による進学に向けて特別補講習などの数々の取り組みは、学校経営を考える上でどのようにしてこれらの取り組みを成し得てきたのかという疑問を常に私に抱かせていました。しかし多くの方からその経緯や先輩方のご苦勞を教えていただくことで疑問は解け、学校経営に必要なことが何なのかを知ることができました。この経験がその後の私の学校経営には欠かせないものとなっていたのは言うまでもありません。

時代の趨勢とはいえ泉鳥取高校が閉校されることは本当に残念でたまりません。しかし閉校されても、今までに培われた伝統やその輝かしい歴史は「自主研精」の精神のもと決して絶えることなく、いつまでも受け継がれていくものと確信しています。泉鳥取高校、本当にありがとうございました。



# 特別対談 泉鳥取の教育



創立10周年 生徒全員での人文字



# よってたかって 生徒支援が伝統

閉校記念特別対談として、泉鳥取高等学校の教育を見直し、伝えるために、今回は卒業生のうち、学校教職員として活躍される方を中心に対談をすることとしました。対談のメンバーは以下の通り。

(2024年7月26日 泉鳥取高等学校 2階3年教室 にて)

児玉 博文 (1977~1985年国語科教諭、2008~2010年第12代校長)

松浪 啓介 (本校7期生 現 府立岸和田支援学校校長)

中山 輝彦 (本校18期生 現 府立泉鳥取高等学校首席)

明渡 弘太郎 (本校40期生 現 岸和田市立光陽中学校 教諭)

橋本 敏和 (本校校長 第16代)

進行 妻木 靖朗 (1987~1996年社会科教諭 2021~教頭)

## 7期生松浪くんと児玉先生

(司会) 皆さん、お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、泉鳥取高校の教育を語る、ということでお集まりいただきました。本日お集まりいただいたのは、全員教育現場におられる人、ということです。よろしくお願いします。まずは、お一人お一人に近況を聞かせていただきます。児玉先生、いかがお過ごしですか？

(児玉) 現在は大阪狭山市が行っている熟年大学で講師として教えています。1週間に1回なんですけど、その授業の準備が大変ですね。勉強意欲の非常に高い方々が受講されるので、なかなかおろそかにできません。



児玉博文さん

初めて泉鳥取に赴任したときは、学校が2年目で、元気でしたね。学習意欲の高い元気な学校、と感じました。生徒の数も多く、クラスが溢れかえっていました(1期生は10クラス、2・3期は12クラス)。生徒たちが元気で、パワーがあった。部活動も盛んでした。私は剣道部の顧問をしていました。でも、先生方はそれに輪をかけて元気でしたね。

(司会) 児玉先生はこの学校に教員として赴任されたんですが、松浪先生は生徒として入学されました。泉鳥取を受検するきっかけは何だったんでしょうか？

(松浪) きっかけですか。住んでいたのが泉南市なんですけど、通学時間を30分以内にしたいかったです。なおかつ、電車に乗って行ける学校ということで選びました。

(鉄道好きですか?) はい、てっちゃんです。

(司会) 入ってみて学校の印象はいかがでしたか？

(松浪) 入ってみると、クラスが9クラスで1学年500人近く居て、まず人数に圧倒されましたね。私も早い段階で友達もできましたし、友人関係は楽しかったですね。自分のクラスだけではなく、いろんなクラスの友達ができました。アットホームな学校。という感じでした。小学校から少林寺拳法を習いに行っていたので、部活動はしないで少林寺拳法を学校の外で活動していました。



松浪啓介さん

(司会) 児玉先生、教員として生徒の松浪くんはどんな生徒とみていましたか？

(児玉) 松浪くんは非常に純朴、純粋な生徒で、現在もそのまんま育ってきた感じで、今も変わりません。当時から子どもが好き、と言っていたのでね、それをずっと通してきた人、という感じですね。自分の夢を追いかけて、「子どもらがかわいい」という気持ちを持ち続けている。その夢を実現して、しかも今、支援学校の校長まで勤められている、すばらしいことです。

(松浪) 私は高校に入るときから先生になりたいと思っていました。高1の時の懇談から教員養成系の大学に行きたい。と言っていました。先生には「思いはええけど、勉強せんと大学通らへん」と言われたけど、あんまり勉強しなかったかな？(その時の担任は?) ええ、児玉先生です。

## 18期生中山くんと妻木先生

(司会)中山先生は高校を選んだ時、  
どうして泉鳥取を選んだんだろう？

(中山)それ、全部書かれへんですよ

(笑)中学校の先生から学力的に行ける学校をあげてもらってその中から選択しました。住んでいるのが学校の裏で、鳥取東中学校の出身だから、砂川高校や泉南高校より「近いからいい」と選びました。当時は定員割れするような状態ではなかったです。下手したら40人ぐらい入試で落ちましたね。泉鳥取は阪南市在住のやんちゃな中学生には人気で、希望者が多かったですよ。



中山輝彦さん

(司会)ちょうど中山さんが入学したときに制服が変わって、学ランからブレザーになんたんやね。それは影響なかった？

(中山)それはあんまりなかったです。中卒の生徒がたくさんいた時期で、府立高校が定員割れするなんて、考えられない時代だったから。制服まで考えてる余裕はなかったです。



司会 妻木靖朗

(司会)中山さんが入学した学校の様子はどうでした？

(中山)1年の時びっくりしましたよ。結構すごいところへ来たなあ、と思いました。(妻木)先生は当時おられたんでお分かりだと思いますが、なかなかやんちゃな生徒も多かったんで、先生たちは大変だなあと思った。ただ、とんでもない生徒は、途中でいなくなって、2年生になる頃には楽しくなりました。でも、高校2年で文化祭に外部から暴走族が乱入された事件がありましたけど(※『我らの泉鳥取』No.24参照)。生徒目線でいえば、先生の仲はすごくよかった。仲の良い先生集団でした。

(司会)学校の先生になろうと思ったきっかけは？

(中山)学校の先生になりたいと思ったのは、ぼくは小中学校の時、算数数学得意で、友達に結構教えていたので、それが好きやったんで、先生になりたかった。でも泉鳥取に来て、教員になりたいといったら、恥ずかしいやないですか。高校卒業してから、海外を放浪している時、山から車で転落する事故に遭って、助けてもらったんですけど、助けてくれた人が大阪大学の学生さんだったんです。当時ぼくは20歳でした。阪大の学生と出会うことってあんまりないでしょ。物理の話や数学の話をして、ああ大学に行ってみたいな、と思って帰国してから受験勉強しました。気が付いたら高校・中学校の教員免許が取れる学校に受かったんです。なので教員免許取りました

大学卒業したときは、就職氷河期で、普通に企業に就職しました。3年程たったら、大学の友人が教員採用試験に合格したと知って、「俺も本気で勉強したら受かるかも!？」と思い。企業を辞めて教員採用試験の「小中共通枠」で受験、合格しました。先生になりたい理由に「イズトリの先生になりたいな」という思いもあって。そのあと人事交流で、3年間だけ高校で働ける制度があることを知って、エントリーしてイズトリに来ました。

(司会)実際に勤務してみてどうでした？

(中山)やっぱり楽しそうでした。皆さんもお分かりだと思いますけど、生活指導が困難な時ほど教員は仲が良くなりますね。仲が悪かったら生徒に対応できないから(一同納得)。そんな中で母校愛みたいなのがでてきたんで、高校の採用試験受け直して、正式に府立高校教員になったんです。

(児玉)実際にイズトリに勤めて、先生方はどうでしたか？

(中山)やっぱり仲良かった、というか連携がしっかりしてました。やっぱり仲良くしないとやっていけなかった。

## 40期明渡くんと中山先生

(司会)では、次に明渡さんにも、イズトリを選んだ理由を聞いてみましょう。

(明渡)やっぱり学力です(笑)。中学校の時は勉強好きじゃなかったんで、イズトリか前期日程のりんくう翔南か、阪南市の人間なのでイズトリを選びましたね。



明渡弘太郎さん

(司会)入学して見て、他の生徒はどんな感じでしたか？

(明渡)中山先生の話聞いた後ですけど、入ってみて、周りの生徒がそんなに荒れてなかったです。

(中山)いや、君は荒らしてた方やろ(笑)。

(明渡)そんなことはないですよ。学校としては、授業は静かに受けていました。同級生には割合明るい子が多かったように思います。

(児玉)中山さんは明渡くんを教えたの？

(中山)というか、2年生の時の担任です。

(児玉)ああ、そういう関係か。

(司会)学校の先生になろうと思ったきっかけは？

(明渡)イズトリですね。イズトリの中で勉強の楽しさとか、中山先生の影響もかなりありましたね。中山先生は



授業がわかりやすかったんです。今でいう授業力の高い先生でした。勉強は楽しいな、と思ったのがきっかけです、

(児玉)授業が楽しいと思わせるって凄いね。素晴らしいことだ。

(明渡)そうですね。

### 先生の一言 行事の一瞬で人生が変わる

(司会)この仕事って、怖い仕事で、私たちの一言で、その子の人生を変えてしまうことがあります、松浪先生、何かございませんか？

(松浪)支援学校の先生になろうと思ったのが2年生の時、教育講演会があって、滋賀県のびわこ学園の福井達雨先生の話聞いたんです。その話がとても感動的で、あの話を聞いて、障がいのある生徒の受ける教育について興味を持ったので、あの出会いがなかったら、支援学校の先生になってなかったと思います。おそらくは小学校の先生をめざしたんじゃないかな？ぼくにとってはすごく大事な体験だったし、この学校に来ていなければ、支援学校に行っていないと思います。

(司会)学校の講演会などでも人生の変わるときがある、ということですね。

### 「よってたかって」支援がイズトリ流

(松浪)そうです。それと、やはり担任の先生をはじめとする先生方のフォローですね。私の場合、1年から3年までずっと児玉先生が担任でした。児玉先生は、生徒の言ったことをすぐに否定せずに、一緒に考えようと言ってくれました。大学に行くときもそうでした。中山さんの頃は大学に行く生徒は多かったのかな？

(中山)いや、そんなにいなかったです。

(松浪)児玉先生はたまたま3年間担任だったこともあったけれど、大学受験を決めたとき、その合格のために一緒に考えてくれた。それに他の先生も加わって、夏休み呼び出してきて、勉強もさせてくれた。一人の生徒の情報をみんなで共有して、「よってたかって」生徒の事をしっかり見てくれるんやな、と感じましたね。



(中山)僕の場合は卒業してから、大学へ行きたい、と元の担任の先生に相談してから、卒業生なのに、本当「よってたかって」でした。

(司会)生徒が何かしたい、と言ったら結構「よってたかって」フォローする、っていうのは、僕らが教員やってた頃も、今も、そう変わらずにやってますよね。

(一同うなずく)

(明渡)結構イズトリの先生は、丁寧って感じがするんですよ。今勤めている学校では、結構生徒数が多いんですよ。でもやんちゃな子どもだけじゃなくて、進路に悩む子にもしっかりフォローしなければ、と思います。

(司会)この学校で学んで、今役に立っていることは？

(中山)勉強が不得意な子は沢山いて、普通先生方は「これ出来たら次はこれ」という風に教えていくと思うんですけど、普通のステップではなかなかわからない子にはわかりづらくて、なだらかなスモールステップで問題を作ってちょっとずつ理解してもらふ風にしないと。苦手な子供の気持ちがわかるのは、ここにいたからかもしれませんね。

(司会)橋本校長は、2016年に教頭に来られて、2021年から校長です。もともと工業高校の先生ですが、この学校に来た時の印象はどうでしたか？

(橋本)来るまでは、いろんな噂を聞いていて、「大変な学校なのかな？」と思っていたんですが、生徒たちはこれまで経験した工業の生徒より落ち着いているし、先生の言うことを良く聴く、ええ学校やな、と思いましたね。教員間も結束しているし、覚悟した割には大変なことはなかったですね」

(司会)いままで皆さんの話を聞いてみると、生徒が何かしようと相談すると、一人の生徒に「よってたかって」指導・支援するというのが、イズトリのスタイルですね。



橋本校長

### 創立当初の教職員たち

(児玉)今、話を伺っていて、昔の事を思い出したんですけど、ここに着任した時、この学校の基礎を作った先生方ですかね、創設の時の準備室から参加され、私に強烈な印象を残した5教科7人の先生がおられるんです。その先生方、全部タイプが違います。もともといた学校では納得できず、新しい学校をつくりたいと思った先生方にいろいろ教わったんですが、例えば当時、生徒がタバコ1本吸って見つかったら、補導委員会をします。そのあとに補導会議、これすべての案件でやっていました。で、補導委員会の間全員先生が待っている。そのあ

と補導会議、ほぼ毎日この会議があって、終わったらだいたい9時過ぎてるんですよ。中には電車がなくなって帰れない先生もいました。侃々諤々、その生徒のために会議をするんだけど、7人の先生を中心に全員がしゃべる。若手も刺激されてしゃべる。7人の先生方と私は教育観も考え方も違うから、生意気なことを言ったり、言い返したり、でも生徒のために一緒にたになってやらしてくれたのがこの学校の基礎を作ったと思います。ただ、子どもが好きやということはみんなに共通してたと思います。それは今、話を聴いていて思い出しますね。

(司会)確かに強烈な人々でした。例えば欠点を出す、出さないで進級判定会議でもめて、会議が終わったら日付が変わってた、なんてこともありましたね。

(児玉)こっちの体力が保たない、って感じてましたが、それでもみんな若かったから平気でしたね。大体平均年齢が28歳くらいだったから。

(司会)運営委員会もない、すべて職員会議でやってしまう。そんな学校でした。ある意味組織を作って組織的に動く、というより教職員の善意が支えていた学校だったと思いますね。そんな中で、ある意味生徒に寄り添うことが伝統になっていった感じがします。ただ逆に個別に必死になって動くけれど、組織的な動きが極端に弱い学校で、何か取組みをしても、その先生が出ていくと、取組みそのものが消えてしまう、というところもあったように思います。

(明渡)先生同士は仲良かったと思います。それと、生徒との関係性が非常に近い学校だったと思います。ほくも今中学校で働いていますが、登下校指導なんかでも先生との距離が近いというのはうらやましい。

(司会)生徒がいつの時代も人懐っこかったと思うんですけど。

(明渡)そうですね。先生らのこと好きでしたもん。

(児玉)部活動はどんな感じですか？

(中山)今は、もうサッカー部二人くらいです。児玉先生たちがおられたときは活発でしたけど、ぼくが教員としてきたころには部活動はずいぶん不活発でした。昔、加藤（みちよ、中山の3年担任）先生に聞いたんですが、あれ20期生くらいかな、「あんたらの時代は、やんちゃが学校に来て「悪さ」してたけど、今は学校に来ない」って、そのころから部活動がどんどん不活発になったのかも知れません。

(児玉)なんでやろうね。アルバイトが忙しくなったのかな？

(中山)というより、元気がなくなった、という感じだと思います。

(司会)昔はやんちゃやったけど、元気やった。アルバイトさせたら結構使えたんよね。だから就職したら伸びたという評判は企業訪問するとよく聞きました。

## 閉校を聞いて それぞれの思い

(司会)それでは今回、いよいよ閉校ということになるのですが、この中で最も最初にこの話を聞かれたのは橋本校長です。橋本校長、聞かれたとき、どんなことを感じられましたか？

(橋本)教頭から校長になった時で、ちょうど今時分かな、前年に国立大学（和歌山大学）に合格してくれて、広報に使って各中学校を回ろうと思った矢先に府教育庁に呼び出されたんです。再編整備を経験した先輩に聞いたところ、再編整備には意向打診があると聞いていたんですけど、いきなり再編整備する、と言われたんです。先生や生徒たちに何と云えばいいか、と思いました。自分の中で納得するのに2年かかりました。新入生が入ってこない状況を迎えて、今いる生徒が不利にならないように、どうするか、を考えるようになりました。

(司会)教頭も長くやられていて、校長となったらいろんなことしてやろう、と思ってた矢先でしたものね。私は橋本教頭の後任として、26年ぶりに泉鳥取に帰ってきましたが、ここに赴任してきたと思ったとたんに、「閉校」と聞いたんです。まず浮かんできたのは卒業生です。あの子ら帰る場所なくなるやん、と。

(中山)私はショックというより腹立ちでしたね。3年定員割れして統廃合というルールがあるのに、3年以上定員割れしているのにつぶれない学校があるというのが理不尽だと思いました。ルールがずれてる、と感じました。看護学校への合格や国立大学への合格など、少しずつ成果を出していたので。先輩たちに申し訳ないなと思いました。

(校長)ほんまによく広報頑張ってくれてた。

(松浪)最初は閉校になると聞いて、そんなにピンと来てなかったです。募集しなくなり、生徒らがいなくなると、寂しくなってきました。同窓会はどうするのか？と友達に言われましたが、同級生の同窓会は続けられるけ





ど、組織としての同窓会はなくなるのかな、と思いました。佐野支援学校に勤務してた時、企業回りをしていたのですが、イズトリの卒業生が工場長や社長なんかをされてて、就業体験とかいろんなことでお手伝いしてもらったのです。人のつながりが大変貴重と思います。学校はなくなっても人としてつながってほしいなあ、と思っています。

(児玉)昔の「大阪府教育改革プログラム案」によれば、市には1校残す、と言ってたのに、ルールなんてどうとでもなるんやな、と思いました。砂川高校の再編整備の時、私は砂川高校の教頭をしていたのですが、りんくう翔南になって、資料がりんくう翔南に保管されてますけど、卒業生は訪ねて行ってくれるのでしょうか？やっぱりやりきれない寂しさがあります。

(司会)最後の卒業生47期生をはじめとして、先輩後輩に残しておくメッセージをお願いします。

(松浪)社会に出たときにイズトリの先輩に出会うこともあると思いますが、ここの先輩は面倒見がよくて、話を聴いてくれると思うので、そのつながりを大切にしてほしいと思います。

(明渡)私の好きな言葉で「人間至る処青山あり」(釈月性)というのがあります。どこにいても生き抜くことはできるので、この言葉を贈ります。

将東遊題壁 釈月性

男児立志出郷関 学若無成死不還  
埋骨豈期墳墓地 人間到处有青山

だんじ ころざし きょうかん いす  
(男児 志 を立てて 郷関 を出れば 学もし成らざれば  
かえ うす ただ ぶんぼ  
死すとも還らず 骨を埋む あに只墳墓の地のみならん  
じんかん いた ところせいざん  
や 人間 至る 処 青山あり)

(中山)47期生はかわいそうだと思います。20歳過ぎててもまだまだ相談したいこともあるのに、帰ってくる場所がないのです。だからこそ、先輩たちが45期生以降の後輩の面倒を見てほしい、という気持ちがあります。

(児玉)私の青春時代はここなんです。その青春時代の場所なくなるのは寂しいなあ。やはりこの間、教員になっていろんなこともありましたが、校長としての苦悩もありましたが、そういうもので育てられた思いがあります。卒業生の皆さん、何らかの形で集まれる場所があればいいのにな、と思います。青春を過ごしたこの場所の事を記憶に残して行きたいと思います。

(橋本)愛すべき学校だったと思います。助けていただいたこともあるし、勉強もさせていただいた学校です。ここで学んだイズトリの精神というのは大切にしていきたいと思います。

(司会)残念ではありますし、思い出は尽きませんが、やはり振り返ると、泉鳥取の教育は、生徒と先生の距離が近い、生徒に寄り添う、徹底的に「よってたかって」付き合うということは、昔から今まで受け継がれている、いわば伝統ということは確認できたと思います。イズトリに関わった先生方や卒業生でこのことを共有して、この対談を終わります。



左から明渡（40期）、中山（18期）、橋本校長、児玉元校長、松浪（7期）、妻木教頭

思い出（40期～47期）



## 40期生（2015年～2018年）



### 40期の思い出

徳和目 晃啓

40期の最初、まずは1年の夏にピンチヒッターとして担任に入りました。2組の生徒たちは私の気持ちによく応えてくれる子たちだったので、「元々の担任に、クラスの子たちの頑張っている姿を届けたい」という私の思いを汲み取ってくれ文化祭ではクラス一丸となって取り組む姿を見せてくれました。

そのまま2年でも担任を持つこととなりましたが、2年で一番印象に残っていることは修学旅行、3年間で一番の波乱があったのではないのでしょうか。出発前、学年全体にインフルエンザ流行。当日はなんとか行きましたが、何とか出発した1日目の札幌観光。記録的な降雪で観光に制限がかけられました。ただそこは力強いイストリ生、頭に雪を積もらせながら、笑顔で札幌の街を散策していました。最終日も悪天候の影響で、小樽観光を急遽中止とし、急いで空港に向かいました。飛行機が離陸できない状況が続いており、新千歳空港で待機となりました。その間生徒達は、空港で北海道を満喫していました。何とかその日のうちに出発する最終便に乗ることができ、帰ることができました。到着は日付が変わる少し前、保護者の皆様にもご協力いただき、生徒達を帰すことができました。本当に貴重で楽しい経験でした。

3年生では担任したクラスが最高でした。特に文化祭では皆協力的で本番のかなり前から放課後遅くまで準備に取り組んでくれました。その結果、舞台部門、ポスター部門で最優秀賞に選ばれました。生徒達が喜んでいる姿が嬉しかったことはもちろんですが、私の担任経験の中で、過程も成果も最高の行事となりました。LEDライトを使ったポスターはすばい、と他の先生方からたくさん言われましたが…。

卒業式直前にサッカー部の活動中に手の小指を骨折して、ギブスをつけての卒業式となりました。その指に紅白リボンをクラスの子たちが巻いてくれ、華やかな手元で参列したことも良い思い出です。

閉校してしまうことは寂しいですが、40期みんなとの楽しい思い出は残り続けます。

教員になったばかりだった私はたくさん成長させてもらいました。ありがとうございました。

（日根野高等学校）

### 「道」

明渡弘太郎



はじめに、大阪府立泉鳥取高等学校閉校記念にあたり、このような機会をいただきありがとうございます。

私が以前「いずとり閉校らしいで」と聞いた際、信じられない気持ちや、信じたくない気持ち、それでも終わりを迎えるのだといういろいろな感情が交錯しました。しかし、最初に浮かんできたのは40期生との思い出でした。

3年間の高校生活の中で、印象に残っているものは、「唐揚げ」。2限後の休憩時間になると、2階東側階段付近に現れる売店販売。そこで売られている紙コップに入れられた4個入り130円のアツアツ唐揚げ。それを求め、集まる生徒たちと始まる唐揚げ争奪戦。毎日のように食べたあの唐揚げ、あの場所にいつものおばちゃんが来ることは無いんだと考えると寂しいです。北海道修学旅行、体育祭、文化祭、学校行事はどれも楽しかったけれど、やはり仲間達と過ごした、何気ない日々が一番記憶に残っています。

いずとりの授業は「分かった」と感じるが多かったです。他校とはカリキュラムが違うかもしれない、それでも「分かった」という達成感が自信へ繋がりました。それまでは苦手で逃げていた勉強に、向き合おうと思えました。進路に悩んでいる際、相談に乗ってくれる先生の姿に憧れ、教員の「道」を目指した高校2年生の冬。

現在私は、大阪府公立学校教員となり、中学校で家庭科教員として勤めています。3年目を迎える今、中学3年生という生徒にとって人生の岐路に立つ大事な時期の担任をしています。周りの教員に支えられ、失敗もあります。それでも生徒たちと過ごす日々はとても楽しいです。次は私が生徒の進路に寄り添う番です。近づけるだろうか、かつて私の選んだ「道」に勇気を与えてくれた先生のように。



## 41期生（2016年～2019年）



41期を振り返って  
学年主任 野間 健二

平成28年（2016年）4月に244名でスタートした学年でしたが、平成31年（2019年）3月に208名が卒業していきました。5～6年前とはいえ、まだまだ閉校という現実の影も形もない時代でした。また、コロナ禍の影響を一切受けずに卒業した最後の学年でした（それぞれ進学や就職をしてからいろいろ大変なこともあったと思います）。

生徒の気質は、総じて人懐っこく、教師に対して友達感覚の生徒も多かったですが、いろいろな問題を抱えた生徒も多くいました。

41期生を迎えた春は桜が見事に満開だったのを記憶しています。

初めて担任を持つ先生2名を含む7名でスタートした学年でしたが、2年次には生徒数227名となりました。進路変更をした生徒の中には、もう少し頑張らせることができていたらという生徒もいました。

2年時の夏には水難事故で2名の生徒が亡くなるというとても心が痛むことがありました。この年の12月、修学旅行は沖縄に行きました。生徒がホームステイ先にいる一日目は、仕事ではなく学年教師皆で旅行をしているような気分だったのを覚えています。（その後は緊急入院をする生徒が出るなどいろいろとあって大変でしたが！）

3年時は210名となりました。それぞれの進路先は進学103名（大学15名、短期大学22名、専門学校66名）、就職87名（学校就職75名、縁故、自己就職9名、家業3名）、公務員（自衛隊）1名となりました。

令和6年（2024年）現在、41期生は24歳を迎える年となります。卒業して学校に遊びに来た卒業生からの近況報告では多くの人が仕事に学生生活にと頑張っているようです。これからの活躍を期待しています。

（貝塚南高等学校）



閉校によせて

西野（福林）怜奈



このたびの泉鳥取高等学校の閉校は、卒業生のみならず教職員の方々や地域の皆様にとっても数々の思い出と共に、名状しがたい寂しさを感じておられると思います。今回、閉校記念誌の発行に伴い少しでも高校生活の思い出を綴らせていただきます。

私は卒業してまだ4年程しか経っていませんが、高校生活をとっても懐かしく感じています。

恥ずかしながら、高校時代の私は何事にもモチベーションが低く「休み時間が短い」「階段が多すぎる」「移動教室遠すぎる」等くだらない不満ばかりで高校生活を楽しめていない気でいました。ですが社会人になった今、道で学生を見かけると友人と過ごした高校生活の思い出です。移動教室で友人と談笑しながらダラダラ廊下を歩いたり、授業中に先生に見つからないように手紙を交換し合ったり、放課後に教室で集まってお菓子を食べたり、どれもなんてことない日常だったのに思い出を聞かれると、いちばんにその光景が浮かび、その都度自分にとってかけがえのない大切な思い出なんだと気付かされます。

このように高校生活の思い出を振り返るのは泉鳥取高校とお世話になった教職員のみなさまのおかげだと感謝しています。

最後になりますが、教職員のみなさまへ

今後益々のご健康とご多幸を心からお祈りしております。大変お疲れ様でした。

そして、卒業生のみなさんへ

ご卒業おめでとうございます。高校生活で培ったものや思い出、出会った仲間を大切に素敵な人生を歩んでいってください。



## 42期生（2017年～2020年）



42期イズトリの思い出  
学年主任 奥田 訓之

242名でスタートした42期生、初々しいのは生徒だけでなく、7人中4人が初担任という中、生徒も担任団もやる時は全力でやる、そんな学年でした。実際、『ハナミズキ祭』では、チャレンジゲーム「イズトリタイムショック」を繰り広げた1年5組が、巨大イエローリトルグリーンメンを作った1年1組が、物品バザーと展示の部で1年生ながら大賞を受賞しました。そんな学年だから、体育祭やクラスマッチで盛り上がり、奈良の校外学習を満喫するのは当然、それだけでなく、多くの生徒が、病院や介護施設、幼稚園、美容室、博物館での職業体験に参加する等、早期に進路について取り組みました。イズトリといえば、校舎から見下ろす大阪湾の眺望、放課後4階からゲートタワービルを見ながら、

「やっぱハルカスって大きいから、こっからでもあんな大きく見えるんや」って勘違いして言ってみたり、先生方の間でも、空気が澄んでいる時にのみ見える、淡路島に建つ白い塔（平和大観音＝現在は撤去）を見て、「あれが見えたら来年は転勤がない」なんて迷信？を話してみたり、そんな日々を思い出します。

高校生活の一大行事、修学旅行は2泊3日の北海道でした。国際審判員の指導の下体験した本格雪合戦は、「寒すぎ」そんな思いが強烈に残っていますが、その後のスキー・スノーボード実習で自分の成長を実感し、小樽観光も満喫しました。この年の9月、台風21号が大阪を直撃したことは衝撃でした。被害が大きく停電が続き、登校できない人もいました。3階からも関空の連絡橋に衝突するタンカーが見えました。

3年生になり、私は卒業を見届けることなく転勤、学年主任を中山先生にバトンタッチしました。ただ、卒業式で惜別の歌「正解」を歌い上げた姿を見て、最後の一年も全力で取り組んだことは容易に想像できました。

閉校という一つの締めくくりを迎えますが、泉鳥取高校で全力で取り組んだ3年間はみんなの心の中で生きていると思います。（北かわち阜が丘高等学校）



音楽室の廊下

万代 愛美



何年経っても“忘れられない大切な思い出”がたくさんあります。吹奏楽部に所属し、上達してきた冬、先輩は就活や受験で1人になる時間が増えていきました。帰りの廊下が真っ暗で怖くて廊下の電気を全て付けて帰っていました。

先輩が卒業した春、新歓は顧問の杉田先生の伴奏でトランペットをソロ演奏しました。それから新入生や同級生が入部してくれて、夏にはプロと一緒に合奏をしたり念願の合宿をしたりしました。秋のハナミズキ祭3日目には中庭で「みんなに聞いてもらいたいことがあります！」の企画で部員からサプライズで感謝の気持ちを叫んでくれて嬉しくて号泣でした。1年前は怖かった廊下もみんな帰るから楽しく、学校が高い所に立っているのが校舎から見る景色が綺麗でした。春になり「体育祭で演奏してみたいです！」と伝えると、先生からOKをいただき、校歌やファンファーレなどを合奏する事が出来ました。

それからの日々は一人ひとりいろんな壁はありましたが、順調にイベントに取り組みました。イズトリの先生が応援してくれているいろんな企画を組んでくれたからこそ、“忘れられない大切な思い出”がたくさんできました。どんなに小さなことでも見てくれる人はいたし、背中を押してくれました。

学校生活もイズトリには癖のある先生が多くて授業も楽

しかったですし、友達とお弁当を食べたり、朝練でお腹が空き始めた2時間目の授業が終わればすぐ食堂へ向かい大きなおにぎりや唐揚げを買い食いしたりしました。修学旅行に校外学習、体育祭や球技大会、文化祭も得意不得意があったからこそクラスや学年の個性が出たり助け合いがあって行事にも楽しく参加できました。

本当に毎日が充実した3年間でした。イズトリが閉校することはとても悲しいですが、“忘れられない大切な思い出”をくれてありがとうございました。

## 43期生（2018年～2021年）



ジコチューでいこう  
学年主任 松井 孝徳



卒業から4年目を迎え、社会で活躍している生徒も増えてきた頃でしょうか。43期生といえば、泉鳥取高校47年の歴史の中で、初めて最後の海外修学旅行に行った学年です。行き先は、当時の大阪の公立高校で海外修学旅行の定番の行き先であった、グアムや台湾ではなく、ベトナムのダナンを訪れました。ダナンは、ベトナムでも有数のリゾート地として知られています。

実際に訪れたのは、2019年9月4～8日の3泊5日で、内容は学校交流や文化体験、マリネクレーション、ミニクラスマッチ、有名観光地の散策など、せっかく行くなら全部体験したいと盛り沢山となりました。当時は開発途中であったものの、異国の雰囲気だけではなく、町全体が急速に発展する独特のエネルギーを感じ取れました。生徒達も、日本とは違った環境の中で、自分の持っている知識を駆使して、現地高校生との交流や、お土産の購入、マリネクレーションと全力で楽しんでいました。一方で、旅行の楽しみでもある食事は、生徒達に聞くと残念ながらイマイチのようでした。可能な限り生徒達の好みに合わせて調整を重ねたのですが、ホテル施設内での自由食の際には、日本食料理店で多くの生徒と顔を合わせました。私も含め、やはり慣れた味が恋しいのか、海外旅行のアルアルでしょうか。

最終学年は、コロナ禍により体育祭は中止、せめて文化祭はと、大きく内容を変更しながらも、辛うじて実施できました。本当なら、最終学年で自分たちが盛り上げたい行事だったと思います。例年にはない土曜日授業など、皆様には多くの苦勞をかけましたが、前向きに協力していただいたおかげで、無事に卒業まで辿り着きました。大変なことが多くありましたが、思い出すのは楽しかった事ばかり。イズトリで身に付けたチカラを思う存分発揮し、家族の方々と一緒にそれぞれの人生を謳歌して欲しいと思います。私たちも訪れたミーソン遺跡でPV撮影した某アイドルの曲名にちなんで、ジコチューでいこう(ただし、他の人に迷惑をかけないように！)素敵な3年間にありがとうございました。(鳳高等学校)

ベトナム修学旅行  
43期 小田嶋 唯



私の高校生活3年間はとても充実した良いものだったと思います。

特に記憶に残っている出来事は、2年生の時に行ったベトナムへの修学旅行です。現地校との交流があり、私は友人と2人で書道のパフォーマンスをさせていただきました。当時私達は書道についての経験は全くなく、担任の先生から「きっと貴重な体験になり、良い経験になるだろう」という言葉で思い切って行う事にしました。実際に筆を持って書くとなると、普段書いているよりもとても集中が必要で、始めた当初は字も他の人に見せられる様なものではありませんでした。そこから修学旅行までの3ヶ月間放課後、夏休みはひたすらパフォーマンスに向けて取り組みました。そのおかげか当日はとても良いものを完成させることが出来ました。また、学校交流では、歌やダンスのパフォーマンスを見たり、ベトナム伝統の遊びを一緒にしたりしてとても楽しかったです。

その他にも、ベトナムならではのトゥエントウンという伝統的な乗り物に乗ることができました。トゥエントウンはタライを編んで作られたタライのような形をした乗り物です。ベトナムの景色を見ながらゆっくりと進んでいて、それが新鮮でとても良かったです。

最終日に訪れたミーソン遺跡は、世界遺産にも登録されており、ヒンドゥー教の神様を祭るための神聖な場所だったそうです。多くは戦争で失われてしまっていますが、残っている建築物をみると、歴史の重みに圧倒されました。

私はこの修学旅行へ行って普段では体験出来ない貴重な経験、時間を過ごすことが出来ました。



閉校してしまうのはとても寂しいですが、行事を通じてさまざまな経験ができたこの高校を卒業できて心から良かったと思います。



# 44期生（2019年～2022年）



## 44期と過ごした3年間

担任 谷内 恵亮

44期生を3年間担任させていただきましたが、3年を振り返ってみると、たくさんの思い出が蘇ります。体育祭や文化祭などの行事だけでなく、生徒との普段からのたわいもない会話、生徒からサプライズでもらった出産祝いなど、どれも大切な思い出です。その一つ一つの思い出が、私を教師として成長させてくれたと思います。44期生と過ごした3年間で、本当にたくさんのことを生徒たちから学ばせてもらいました。

生徒たちから学んだことの中で、特に3年生の担任をしているときのことが印象に残っています。クラスで大学の特待生を目指し、3年生になってから学校で勉強を始めるようになった生徒がいました。私自身、勉強する習慣が付けば良いと思いながら、一緒に勉強をしたり、教えたりしていました。はじめは苦戦する問題もたくさんありましたが、生徒は諦めることなく、根気よく勉強を続けていました。そしてメキメキと力をつけていき、3学期には特待生を目指せるレベルまで成長していました。試験の結果、成績上位者には選ばれるも、残念ながら特待生にはあと一步届きませんでした。1年間、この生徒が物事に本気で取り組んだ結果、大きく成長した姿を間近で見ることができました。それまで「やればできる」という言葉は、言うことは簡単でも、実際は難しいことだと思っていましたが、本当にやればできるということを証明してくれました。卒業前に生徒からは勉強を教えてくださいとお願いされましたが、私自身もたくさんのことを生徒から教わりました。本当にありがとう。

卒業生の皆さんにとって、泉鳥取高等学校はたくさんの思い出がある大切な学校であるように、私自身にとっても、たくさんの思い出や経験を得ることができた大切な学校です。残念ながら、泉鳥取高等学校は閉校となってしまっていますが、この学校で得たことや学んだことを忘れず、今後もみんなでさらに成長していきましょう。

（鳳高等学校）



## 普通とは違う高校生活



44期生 脇川 世衣

1年の冬に新型コロナウイルスが流行したことで、2年の体育祭、校外学習がなくなったり、文化祭が縮小されたり、修学旅行もなくなったり、ようやく行けたUSJでの校外学習では停電が起きたりと「普通」とは少し違った高校生活でした。そんな風に高校生活での貴重な思い出作りの機会が減ったことはとても残念でしたが、世の中が暗い雰囲気になっている中でも、44期生みんなはずっと元気で今を楽しんでいるという印象が強く、私はそんなみんなが好きでした。

この学校では本当に良い出会いがたくさんありました。勉強、勉強で1人の時間が多かった私のことを見放さずに、「頑張って」と声をかけてくれる人がたくさんいて、休み時間にも勉強していて遊ぶことが少なかった私に「朝だけでも」と朝早く学校に来て一緒に話してくれる人がいて、放課後に勉強している間も待って一緒に帰ってくれる人がいて、本当に恵まれた環境だったと思います。

時間を作って勉強を教えてくれたり、勉強中の私の様子を見に来て応援してくれたり、そばで支えてくださった先生方には感謝しきれません。私が3年の間大学進学を諦めずにいられたのは、ずっと私のことをそばで支えてくれた先生方や友人たちのおかげです。

この学校に入学した時からぼんやりと「教師になりたい」という夢は持っていたのですが、そんなぼんやりした夢を3年間持ち続けることが出来たのは、先生方のおかげです。3年間ずっと先生方のかっこいい姿を見てきて、ぼんやりしていた「教師になりたい」という夢は「こんなところをまねしたい」、「こんなかっこいい先生方に並べるようになりたい」、そして「私がとても助けられたように私も生徒を助けられるような先生になりたい」と、どんどん夢が膨らんでいきました。

まだまだ、将来については漠然とした不安がありますが、今までお世話になった皆さんの人に胸を張れるような、今の自分がほんの少しでもかっこいいと思えるような人になれるように進んでいこうと思います。

## 45期生（2020年～2023年）



コロナに苦しんだけど…

学年主任 濱崎 祥成

45期生の学年主任になることが決まり、新入生同様に希望や不安を抱え、新年度を迎えました。そんな中、新型コロナウイルス感染症の影響で学校は休校になり、入学式もできない。いつになっても再開しない。あの2か月はとても長く感じたことを覚えています。

やっと再開しても最初の2週間は分散登校。全員が教室にそろっての授業は6月中旬からでした。例年5月に行っている体育祭もその年はできず、何も行事がなく、さらに夏休みも短くなり、授業が続く日々。やっと開催できた行事が文化祭でした。例年とは違う形でしたが、行事に取り組む生徒たちの姿を見て、改めて行事の大切さを感じました。

学年団の先生方は、行事に対してとても積極的で、さらに今まで行事が縮小されてきた生徒に少しでも楽しんでもらおうと様々なアイデアを出してくださいました。その中でも2年生の文化祭で行ったクラス合同の物品バザーは特に思い出に残っています。企画から白熱した議論が繰り広げられ、自分のクラスだけでなく他のクラスのためにも夜遅くまで準備を手伝ったり、アイデアを出したりと、学年団の絆の強さを感じました。当日はもちろん大成功。生徒たちも喜んでくれていたのではないのでしょうか。3年生でも様々な行事を45期らしく生徒も先生も盛り上げてくれました。

コロナの期間は制限が多く、生徒にとっても教員にとっても苦しい期間でした。しかし、コロナがあったからこそ経験できたことや色々として試行錯誤して生み出したものもあるのではないかなと思うようになりました。コロナじゃなかったら…と、たればを言うのではなくその時代に合わせた生き方を考えることも大事だと気づかされました。コロナという状況の中で一生懸命高校生活を送った生徒諸君、一緒に45期生、泉鳥取高校のために働いてくださった先生方には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

（堺工科高等学校）

担任の先生方へ

45期 譜久村 未来



私達45期生は、新型コロナウイルスの影響で入学したのが、4月ではなく6月でした。入学式もなく、やっと始まった高校生活の最初は、分散登校でした。6月から始まった影響で授業日数は足りず、1年生の夏休みは2週間くらいで、学校行事も体育祭、校外学習もなく、文化祭も半日でした。正直、1年生の頃の思い出は、勉強しかありませんでした。

そんな中、2年生に進級し少しずつ新型コロナの影響が緩和されていき、マスクをし、密も避けながらの学校行事は行うことができました。高校生の思い出のだいご味である修学旅行は北海道へ行く予定でした。新型コロナの影響で修学旅行そのものが中止になると思っていましたが、行き先は岐阜に変わってしまったけれど、先生方のおかげで行くことが出来ました。

3年生では先生や生徒が進路について話すことが多くなっていました。私たちが決めた進路についていいアドバイスをしてくれたり、放課後遅くまで、面接の練習に付き合ってくれたり、欠点をとらないように色々教えてくれたり、ありがとうございました。

1年生の頃から騒がしかった45期生の高校生活を勉強だけでなく、華やかなものにしてくれた、川口先生、村田先生、中谷先生、福重先生、田中先生、福井先生をはじめ、泉鳥取高校の先生方、本当にありがとうございました。私達45期生は、少なくとも私は、大阪府立泉鳥取高等学校に入学して後悔はありません。閉校しても、また会える日を楽しみにしています。





## 46期生（2021年～2024年）



46期生との思い出  
学年主任 田畑 貴史

募集定員240名に対し、入学者160名。大きく定員を割った46期生でした。最初の印象は「素直で礼儀正しい」生徒が多いという印象でした。学年職員室にノックして「失礼します」と入室してくる、当たり前のことですが、特に指導をするわけでもなくほとんどの生徒が正しく入室してくることに驚きました。

1年生の体育祭では、コロナ禍の影響でマスクをつけたの競技参加や何かと制限もありましたが、競技内容を工夫し、大いに盛り上がりました。校外学習は奈良へ行き、鹿にお辞儀をする生徒たちや、追いかけて逃げ惑う生徒など、普段とは違う一面を見ることができました。初めての文化祭も創意工夫をしながら、映えスポットを作っていました。



2年生になり、生徒たちも学校へ慣れたのか、遅刻と欠席が激増。どう伝えれば出席するのか、結局これは永遠の課題かもしれません。体育祭や文化祭、行事を重ねるうえで、派手になるのは女子のメイク。修学旅行では、東北と東京へ行きました。東日本大震災被災地を訪れ、当時の現状を肌で感じました。東北では温泉旅館へ宿泊。初めて温泉に入ったという生徒もいて、大浴場を利用できるようにしてよかったと思いました。東京ではディズニーランド。夜のパレードまで見られるように行程を作り、目一杯思い出作り。最終日は、東京自由散策でみんな迷子になっていましたね。

3年生では、最後の行事に生徒も力が入って、体育祭では、応援団や代表者による騎馬戦で大盛り上がり。文化祭も中庭に巨大モニターを設置し、今までにない盛り上がりだったことを覚えています。

閉校はとても残念ですが、この泉鳥取高校での経験を今後将来に活かして大きく羽ばたいてくれたらと願います。（三国丘高等学校）

46期生を振り返って  
46期生 梶本 鈴



三年間を振り返ると、入学時は緊張で胸がいっぱいでした。新しいクラスで一番最初に行った行事の体育祭。学年競技は一年生：大縄飛び、二年生：ローハイド、三年生：サイクロンリレーをしました。これをきっかけに新しいクラスの子達とも関わる機会が多くなり、クラスが団結できたと思います。応援団では、上手いかわいさもたくさんありました。しかし、多くを乗り越えた本番は、温かい声援に囲まれており、応援団に入ってよかったなと心の底から楽しむことができました。先生方も大盛り上がりしており、先生方の新しい一面も見ることができて、すごく楽しい時間でした。三年生の文化祭では、学年が減ったこともあって、少し寂しくなるかなと思っていました。でも、どのクラスもバザーを開き、先生方も中庭にステージを作ってくれました。文化祭の最後にはみんなでエンディングムービーを見て、私達の最後の文化祭は、今までで最高の思い出に残る文化祭になりました。修学旅行では、東北と東京に行きました。

特に覚えているのは、一日目のホテルで食べたビュッフェです。カニにテンションが上がり、カニばかり取っている人が何人もいたのが印象的です。陸前高田で見た震災の傷跡



にショックをうけ、私たちもいずれ来るであろう震災に備えようと思うことができました。ディズニーランドでは、みんなでお揃いのカチューシャをつけて色んなアトラクションに乗ったりしました。全体でのレクリエーションや、消灯前のみんなとの楽しい時間はこれからの人生でもう訪れないかもしれない、かけがえのない時間でした。こうして振り返ると、46期生のみんなと過ごした日々は毎日が色んな思い出に溢れていました。行事を重ねる度に深めることが出来たみんなとの絆こそ、私たちにとっていちばん大切なものになりました。

閉校は残念ですが、イズトリで学んだことをこれからの人生で活かしていけたらいいと思います。

## 47期生（2022年～2025年）



できないことより  
できること  
学年主任 新明 直樹

イズトリ生の魅力は「正直に自分を表現することができる」だと感じます。できることは「できる」と言い、わからないことは「無理」と言う。文字にすると強い否定に感じますが、詳

しくは「経験不足でわからない」「予測がつかない」という表現に近いです。つまり経験さえ積むと「（やったことがあるから知っているの）できる」となります。

経験値の不足により、挑戦することに構えてしまう生徒が多い一方で、経験を積むと「余裕や」「私知ってるで」という返答も多く、覚えると自分のモノにしてしまうので、「経験不足なことをいかに体験させることができるか」ということに思考する日々です。「できることをできない」と言うことはなく、自分ができることをやり、自分を飾らず弱点も正直に伝えることができる。生徒でありながら尊敬でき、本当に「かっこええやん」と感じます。

最後の1年、生徒数がとても少なくなりました。「恒例行事をこれまでのようにできるかどうか」という不安を抱えているのは教員だけでなく、生徒も同様だったはずでした。体育祭を控えている時期に生徒から「先生、体育祭やりたい」「クラスマッチみたいになるかもやけど、私ら勝つし全力で楽しませてもらいます」という生徒の意気込みを見ていると「（人数が少なくても）ピンチどころか、規模の縮小は予測しながらも、この子らは楽しむ気満々やん」と感じ、できることを疑わず立ち向かおうとする生徒の力強さを感じました。「できないことを考えるじゃなくて、できることをやろうよ。それでええやん。そうしてきたやん私ら」と生徒が言っているように感じ、生徒に火をつけてもらえたと感じた瞬間でした。

こうした、その瞬間の感情を自由に表現し、先生に習い、友人に習い成長を続けている生徒とずっと関わりたいと願う毎日です。「私じゃ無理やねん」「おれあかんねん」を「私ががんばってるやろ」「おれこういうの得意やねん」という表現に変えるために、最後の学年をやり残すことのなく全力で全うします。生徒にとって大切な3年間の集大成とするために。（2024年5月）



最後の卒業生として

47期 高橋 輝



2年前の春、不安と期待を胸に私達47期生は「最後の入学生」として入学してきました。

1年生。高校生活初めての行事、体育祭。最初で最後の3学年そろっての体育祭でした。可愛い衣装に身を包み、まばゆい笑顔で踊る先輩達の応援合戦や白熱の団対抗リレーなど、先輩達の勢いに只々圧倒され、憧れました。

何かにつけて「3学年そろっては最後の」と言われることに少し寂しさを感じつつも、その時はあまり実感が湧いていませんでした。

2年生。生徒も先生も減り、静かで寂しい日々を過ごしていました。閉校を寂しく思うのは先生もだと知ったのは文化祭でした。「閉校まで生徒を全力で楽しませるぞ!」という気合が先生達から感じられました。先生と生徒会との新たな企画は大盛況で、タバタ歌謡祭での先生とのイントロ対決や大画面でのスマブラ大会など、私も時間を忘れてパワーアップした文化祭を楽しみました。閉会式で流れたサプライズムービーは、心の底から楽しんでいる笑顔のイズトリ生で溢れていました。

豪華な修学旅行もとてもいい思い出です。北海道の大自然で迫力満点のアクティビティを堪能し、トマムリゾートでは豪華な食事やナイトプール、雲海なども楽しみました。司会を担当した先生クイズやビンゴ大会もみんな絶叫しながら参加してくれて準備が大変だった分、旅行委員としてとても嬉しかったです。修学旅行後、「修学旅行来年はどこ?」と聞いて先生を困らせている人がいたのには笑いましたが、「わかる!私めっちゃ行きたい!!」と心の中では叫んでいました。

こんなに楽しいイズトリが閉校になるのは本当に残念です。ですが、いい思い出をたくさんもらったからこそ、「最後の卒業生」として、笑顔で卒業していこうと思います!（2024年5月）。







1978年 臨海訓練(小西紀満撮影)

## 情報誌『我らの泉鳥取』



1976年 開校当時の校章 石膏型

令和3（2021）年8月、府立泉鳥取高等学校はりんくう翔南高等学校と機能統合することが大阪府教育委員会から発表されました。これにより単独の学校としては、令和7年3月をもって閉校となることが確定しました。令和4年（2022）年2月府議会で機能統合が承認されたのを機に、泉鳥取高等学校を後世に残すべく、出版を始めました、10周年から40周年の記念誌を参考にしつつも、周年記念誌にはなかなか残せない内容を中心に、泉鳥取高の「現在・過去・未来」を記録に残そうとしました。

出版は授業期間（授業のある時期）の1週間に1号の割合で発行を続けました。2024（令和6）年7月に最終号を発行し、休刊しました。



# 『我らの泉鳥取』一覧表

| 番号 | 発行日         | テーマ                     | 扱った時代       | 番号 | 発行日         | テーマ                 | 扱った時代        |
|----|-------------|-------------------------|-------------|----|-------------|---------------------|--------------|
| 1  | 2022年4月28日  | 創刊にあたって                 |             | 44 | 2023年5月29日  | 栄光の器械体操部            | 1981年～2015年  |
| 2  | 2022年5月12日  | 泉鳥取高校と命名                | 1976年       | 45 | 2023年6月6日   | 学年職員室               | 2003年～2023年  |
| 3  | 2022年5月23日  | 校章・校歌の秘密                | 1976年       | 46 | 2023年6月14日  | 自然居士のイチョウ           | 地域           |
| 4  | 2022年6月6日   | 卒業生の推移                  | 通史          | 47 | 2023年6月21日  | 見守り続けて47年 津田麗子先生    | 通史           |
| 5  | 2022年6月13日  | 教職員延べ564名               | 通史          | 48 | 2023年6月26日  | 閉校記念事業実行委員会設置要項     | 2023年        |
| 6  | 2022年6月20日  | 臨海訓練その1 クラスづくり          | 1978年～1995年 | 49 | 2023年7月1日   | 学校名懸垂幕 復活           | 2023年        |
| 7  | 2022年7月1日   | 臨海訓練その2 引率と補助生徒         | 1978年～1995年 | 50 | 2023年7月10日  | 食堂にいた大関 武双山         | 1992年        |
| 8  | 2022年7月4日   | 制服の変遷                   | 通史          | 51 | 2023年7月17日  | シークレット花火            | 2021年        |
| 9  | 2022年7月11日  | 毎日新聞 野球部を取材             | 2009年・2022年 | 52 | 2023年7月24日  | 初の学校紹介パンフレット        | 1989年        |
| 10 | 2022年7月25日  | 和泉鳥取駅 今昔                | 通史          | 53 | 2023年8月30日  | 修学旅行事前学習 アイヌの歴史文化   | 2023年        |
| 11 | 2022年8月3日   | 泉鳥取歴史散歩1 謎の鳥居           | 地域          | 54 | 2023年9月4日   | 関西国際空港 開港           | 1994年        |
| 12 | 2022年8月19日  | 府立高校最多？中高派遣教職員          | 1980年代      | 55 | 2023年9月11日  | 映像に残る泉鳥取（シグニチャー）    | 2023年        |
| 13 | 2022年8月29日  | ふりむけば 泉鳥取 ハナミズキ         | 1979年・1991年 | 56 | 2023年9月19日  | 鳥取の地名               | 地域           |
| 14 | 2022年9月5日   | バカでかい職員室                | 1977年       | 57 | 2023年9月25日  | 警察ボランティア            | 2018年～2023年  |
| 15 | 2022年9月12日  | 心に残る 就職指導               | 1992年       | 58 | 2023年10月2日  | 部活動列伝 吹奏楽部          | 1986年～2021年  |
| 16 | 2022年9月20日  | 人命救助                    | 2007年       | 59 | 2023年10月5日  | 閉校記念行事 バケモノの子鑑賞     | 2023年        |
| 17 | 2022年9月26日  | 祭り指導とはセドン               | 1989年       | 60 | 2023年10月16日 | 最後の修学旅行             | 2023年        |
| 18 | 2022年10月3日  | THE LAST RINNKA! 1年宿泊行事 | 2022年       | 61 | 2023年10月23日 | 生徒自治会ルネサンス          | 2013年頃       |
| 19 | 2022年10月11日 | インターハイ優勝！川植宗治さん         | 1988年       | 62 | 2023年10月30日 | 学校を一から見直そう1994新カリ   | 1994年        |
| 20 | 2022年10月17日 | 施設探訪(2)校舎は昭和52年に完成      | 1977年       | 63 | 2023年11月6日  | 金融教育1 日本銀行大阪支店      | 2023年        |
| 21 | 2022年10月24日 | 施設秘話(3)進路指導室の変遷         | 1976年・2003年 | 64 | 2023年11月13日 | 金融教育2 大阪取引所         | 2023年        |
| 22 | 2022年10月31日 | 震災や歴史を「学ぶ」修学旅行          | 2022年       | 65 | 2023年11月21日 | クラブ列伝フィールドワーク部(1)   | 1976年～2004年頃 |
| 23 | 2022年11月7日  | おいもが取り持つ地域連携            | 2001年～2022年 | 66 | 2023年11月27日 | 個々の寄り添いを中心に 2003新カリ | 2003年        |
| 24 | 2022年11月14日 | 最後の公開文化祭第17回ハナミズキ祭      | 1994年       | 67 | 2023年12月4日  | 第46回文化祭             | 2023年        |
| 25 | 2022年11月21日 | 創立十周年記念式典               | 1985年       | 68 | 2023年12月22日 | ボランティアの授業           | 2006年～2016年  |
| 26 | 2022年11月28日 | 創立二十周年記念式典              | 1995年       | 69 | 2024年1月29日  | クラブ列伝 書道部総合文化祭奨励賞   | 2017年        |
| 27 | 2022年12月5日  | 創立三十周年記念式典              | 2005年       | 70 | 2024年2月8日   | バケモノの子を見たぞ！         | 2023年        |
| 28 | 2022年12月12日 | 創立四十周年記念式典              | 2015年       | 71 | 2024年2月27日  | バブル崩壊               | 1991・1992年   |
| 29 | 2022年12月19日 | 井上純男名誉会長を悼む             | 1979年・2022年 | 72 | 2024年4月9日   | 令和6年度スタート           | 2024年        |
| 30 | 2022年12月23日 | 国語科中心の卒業文集 飛翔           | 1979年～1995年 | 73 | 2024年4月16日  | 教育相談委員会             | 2002年～       |
| 31 | 2023年1月10日  | 海外修学旅行（ヴェトナムダナン）        | 2017年       | 74 | 2024年4月23日  | 料理旅館 砂川荘            | 1977年～2000年  |
| 32 | 2023年1月16日  | 阪神淡路大震災 対岸の神戸が…         | 1995年       | 75 | 2024年5月7日   | 森口良作追悼記念花壇と泉祥会      | 2003年        |
| 33 | 2023年1月23日  | 連結机                     | 通史          | 76 | 2024年5月13日  | 部活動列伝 女子バレーボール部     | 1979年～2018年  |
| 34 | 2023年1月30日  | 修学旅行今昔                  | 通史          | 77 | 2024年5月21日  | 第46回同窓会総会           | 2024年        |
| 35 | 2023年2月6日   | 旅行規程                    | 1976年～2000年 | 78 | 2024年5月27日  | 10学級要求（1980年）       | 1980年        |
| 36 | 2023年3月15日  | 第45回卒業証書授与式             | 2023年       | 79 | 2024年6月3日   | 生徒保健委員会（古資料発見）      | 1980年代       |
| 37 | 2023年4月10日  | 新入生のいない はじめての春          | 2023年       | 80 | 2024年6月10日  | 最後の体育祭              | 2024年        |
| 38 | 2023年4月18日  | 母の日は 同窓会総会              | 2023年       | 81 | 2024年6月17日  | 泉鳥取の人権教育            | 1976年～2024年  |
| 39 | 2023年4月24日  | オオイチョウ（大公孫樹）の木          | 1985年       | 82 | 2024年7月1日   | イズトリ☆スクールウォーズ       | 1984年～1990年  |
| 40 | 2023年5月1日   | 部活動盛衰記                  | 通史          | 83 | 2024年7月10日  | PTA新聞 つばさ           | 1976年～2024年  |
| 41 | 2023年5月8日   | 新型コロナ 5類相当へ             | 2023年       | 84 | 2024年7月19日  | 特別インタビュー あいはらさん     | 1985年～1988年  |
| 42 | 2023年5月15日  | 泉鳥取の情報教育                | 1985年～2023年 | 85 | 2024年7月23日  | 閉校記念式典 最終号          |              |
| 43 | 2023年5月23日  | 第45回同窓会総会 久々の盛況         | 2023年       |    |             |                     |              |



炬火を掲げていざ謳う

No. 1

2022年4月28日（木）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

# 我らの泉鳥取

創刊にあたって

## 泉鳥取高校の 現在・過去・未来ご紹介



ごあいさつ

大阪府立泉鳥取高等学校

校長 橋本 敏和

令和4年2月の定例府議会において、正式に泉鳥取高校の機能がりんくう翔南高校に統合されることとなりました。したがって今年度入学した生徒が最後の入学生となり、彼ら47期の卒業とともに本校は閉校となります。

1976（昭和51）年に開校して以来、阪南市（開校当時は泉南郡阪南町）唯一の高等学校として、泉南地域の学校として13,000人以上の卒業生を輩出してきました。また、この学校に勤務した経験のある常勤の教職員は550名をはるかに超えます。また、地域の様々な団体や組織とも連携を深めてまいりました。



泉鳥取高校のシンボル アメリカハナミズキ

泉鳥取高等学校のこれまでの歩みを振り返り、尽未来際に残すべく、この情報誌を創刊することといたしました。

情報誌の名前は「我らの泉鳥取」ですが、サブタイトルとして「炬火を掲げていざ謳う」としたのは、普段めったに歌うことのない校歌の3番からとりました。

最終的には閉校記念誌を編纂し、皆様にお届けいたしますが、閉校記念誌ではなかなか掲載できない、日々の取組みについてご紹介していきます。今後、様々な卒業生や旧職員のエピソードを交えながら3年間にわたって情報を提供します。

また、卒業生の皆さん、旧職員の皆様には、取材に赴くこともありますので、その折は、ぜひともご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。







炬火を掲げていざ謳う

No.2

# 我らの泉鳥取

2022年5月12日(木)

編集・発行 泉鳥取高等学校(教頭)

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

## 府立第104高校

# 府立泉鳥取高等学校と命名

昭和51年1月1日

昭和50年3月13日、府議会で府立第104高校の建設予算が通りました。昭和50年4月開校準備事務所が設置され、6月5日に泉南郡阪南町自然田854番地で校舎第一期工事起工式が執り行われました。本校の創立記念日6月5日は、この日を当てています。

大阪府立泉鳥取高等学校の開校と命名は昭和51年1月1日で、石川正敏初代校長をはじめ、各分掌長や学年主任など10数名に辞令が発せられました。

JR(当時国鉄)の駅名が和泉鳥取駅であるのに、学校名が「泉鳥取」となったのは、当時は漢字3文字までで学校名をつけていたためだといわれています。

当初準備室は和泉高校内に設置されましたが、2月末にはいよいよ新校舎に事務室が移され、本格的に開校準備が着々と進められました。

昭和51年4月1日、ついに開校され、1期生10学級450名が入学しました。記録によると阪南町からの入学者が120名であり、これは、全体の27%にあたります。

校訓の「自主研精」は、昭和51年度の学校要覧に見え、開校当初からの校訓であることが分かります。

体育館の竣工は昭和52年、1期生の入学式は、現在体育館のある位置で、青空の下挙行されました。



第1回入学式の写真ほぼ同一から撮影した令和3年現在。

昭和51年の写真では玉田山と住宅地が見えている。



た。周辺の住宅地はまだ造成中の状態で、家屋は一軒も見当たりませんでした。学校敷地内にも1本の植栽もなく、玉田山の濃い森の様子が際立っていました。

入学式の後、1本の桜の木が植樹されました。この桜は健在で、裏門スロープ横にあり、今も春になると満開となり、入学生徒たちを温かく見守っています。



炬火を掲げていざ謳う

No.3

# 我らの泉鳥取

2022年5月23日（月）

編集・発行 泉鳥取高等学校（教頭）

〒599-0216 阪南市緑ヶ丘1-1-10

泉鳥取高校校章・校歌の秘密

## ひらがなの「い」

創立20周年記念誌によると、この校章は、「いずみとっとり」の頭文字であるひらがなの「い」の字を、飛翔する鳥に具象化したもので、勇躍するたくましさと表現しています。また、開校した1970年代、シンボルマークのデザインに左右非対称（アシンメトリ）なものが流行した時代であったため、このような形となったようです。本校がオーシャンビューであることから、海鳥の象徴であるカモメがモチーフとなっています。

右図は、創立20周年記念事業に着手した際、偶然に発見された、校章制定に向けたイメージ図です。



あ あ 我らの 泉鳥取  
炬火を かけて いざ謳う

誠 に 生きる 友がらが

夕 づ つ 溪谷に 影 淡く

あ あ 我らの 泉鳥取  
大空 高く 翔 け 征 かん

理 想 に 集 う 我 が 健 児

田 面 に 渉 る 風 清 く

あ あ 我らの 泉鳥取  
希 望 に あ ふ る 学 舎 は

朝 日 に 輝 る 茅 渟 の 海

自 然 の 丘 に 緑 萌 え

大阪府立泉鳥取高等学校 校歌  
作詞 南 保江原案  
校歌選定委員会改作  
作曲 合田 書子

校歌については、「校歌選定委員会」を校内に設置し、関係者に対して歌詞の公募を行った。その結果、南保江さんの歌詞が選ばれ、校歌選定委員会の改作を経たのち、音楽科合田（岸本）書子教諭作曲で完成した。





炬火を掲げていざ謳う

No.4

2022年6月6日（月）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

# 我らの泉鳥取

## 生徒数の推移

### 卒業生総数13,354人（2021年度末）

泉鳥取高校の卒業生は、2022年3月の卒業生167人を含めて、13,354人に上ります。

その推移は下のグラフを見ていただくとわかる通り、11期生がピークとなっています。入学生のピークも1986年入学の11期生で576人が入学しています。

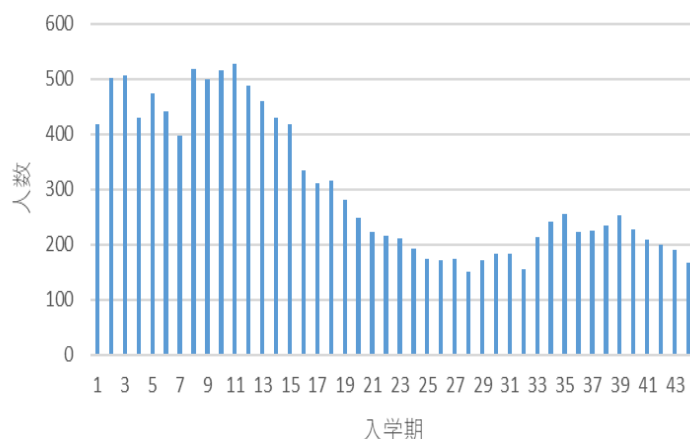
最盛期は1988（昭和63）年で、1年（13期）から3年（11期）まで48人12クラス募集、総定員1,726人となっていました。中途退学者や転学者もいたため、1,726人が在籍していたことはありませんが、それでも1,600人以上の生徒が、校内にひしめき合っていました。

教室に50名近くの生徒が入って授業を受けるため、連結机で1列7人、7列という非常に狭い状態で授業を受けていたのです。

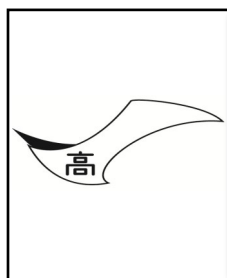
下の写真は当時の食堂の写真ですが、昼休み、食堂で座って食べられるのは幸運にも授業が早く終わり、しかも食堂の近くで授業を受けていた者に限られるような状態でした。

2022年5月現在の生徒数と比べてみましょう。今の全校生徒が443人（1年132、2年145、3年166）ですので、全校生徒が昔の11期生の77%程度となります。

卒業生の推移



1987(昭和62)年当時の食堂 生徒がひしめき合っている



炬火を掲げていざ謳う

No.5

2022年6月13日(月)

# 我らの泉鳥取

編集・発行 泉鳥取高校 教頭(妻木)

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

連綿と続く 卒業生と先生

## 教職員 延べ564名(2021年度末)

うち8名が重複して着任

|         |     |
|---------|-----|
| 校長      | 1 6 |
| 教頭      | 2 1 |
| 国語      | 7 3 |
| 社会      | 5 2 |
| 数学      | 6 6 |
| 理科      | 5 9 |
| 芸術      | 2 2 |
| 家庭      | 2 3 |
| 情報      | 2   |
| 保健体育    | 4 8 |
| 外国語     | 7 7 |
| 養護(保健室) | 1 2 |
| 実習教員    | 1 5 |
| 事務長     | 1 8 |
| 主査      | 1 3 |
| 主事・副主査  | 2 2 |
| 技術員     | 9   |

泉鳥取高校に着任し、1年以上在籍した先生はいったい何人なのでしょう？

2021(令和3)年度までの積算で延べ564人。各教科別の人数は右の表のとおりです。うち二度学校に赴任した先生が8人います。

第3代校長吉岡光雄先生。吉岡先生は初代教頭からの内部昇格です。内部昇格で教頭から校長となった先生は2人おられ、あと一人は現在の校長、橋本敏和です。他に教諭として勤務していた先生が管理職(校長、教頭)として帰ってきた先生が2人、定年を迎えて再任用で帰ってこられた先生が2人います。また、首席から教頭に内部昇格した先生が2人です。

本校の教職員数が最大であったのは、1988(昭和63)年で、生徒数は入学者数でいうと、1学年12クラス、1クラス45~47名定員で、1年575人、2年575人、3年576人の合計1,726人規模のマンモス校、その当時は職員総数が86人、うち校長1、教頭1、教科教員72、養護1、実習4、事務長1、主査1、主事2、技術員3といった教員数でした。

令和4年度は、1年生4クラス、2年生5クラス、3年生6クラスの15クラス規模で校長1、教頭2、首席2、教科教員(首席除く)34、養護1、実習2、事務長1、主査1、主事級1の45人となっています。



初代教頭で3代校長の  
吉岡光雄先生



第16代校長 橋本敏和先生  
第18代教頭でもある







炬火を掲げていざ謳う

No.6

# 我らの泉鳥取

2022年6月20日（月）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 臨海訓練その(1)

# 1年宿泊行事とクラスづくり



令和4(2022)年、泉鳥取高校は、最後の入学生(47期)を迎えました。47

期生は、クラスづくりのため、1年宿泊行事を行います。これは泉鳥取高校として、26年ぶりの1年宿泊行事の復活となります。

昭和51年(1期)、52年(2期)で、一つの屋根の下、集団生活を体験するため、和泉山脈縦走、キャンプ宿泊を実施しました。昭和53(1978)年入学の3期生からは鳥取県岩美郡岩美町の東浜海水浴場において、臨海訓練を実施することになりました。これは、当時和泉高校や佐野高校が臨海訓練を実施し、1年生のクラスづくりをしていることから、その取組を参考に実施したのです。

第9学区は北は忠岡町、岸和田市から南は岬町まで5市4町と地理的に大変広い地域で、言葉も微妙に違います。このような広いエリアから集まる生徒を一つの学校にしていこうためには、行事が大きな役割を果たします。

宿泊の中で、他人との付き合い方を学ぶこと、きちんとした食生活を伝えること。そしてこれまで自尊感情が低かった生徒に、遠泳などを通じて自信を持ってもらうこと。以上を目標に取り組みました。

クラス別の民宿に泊まり、神社での肝試し等のクラスレクリエーションを行い、教職員や同級生に対する一体感が高まっていきました。令和3年度のPTA役員には、卒業生がおられましたが、いずれも「一番の思い出は、臨海訓練です」と断言されていました。

しかし、この行事を実施するには、多くの引率教職員のための旅費、前団6クラス、後団6クラス、それぞれ2泊3日ずつ水泳訓練を実施する教職員の体力と教職員数、さらにはサポートしてくれる補助生徒が必要で、海岸状況の下見、生徒班分けのための泳力確認、事前の会場設営、補助生徒の募集と打合わせ、引率教員全員の救命救急法講習など実施には多岐にわたる準備が必要でした。

教職員が高齢化したこと、家庭訪問数の増加による教職員旅費のひっ迫など、多くの否定的要因が重なり、平成7(1995)年に鳥取での臨海訓練は終了、1年生の宿泊行事は平成8年を最後に終了しました。

今回は、事前の準備と「補助生徒」についてみていきましょう。



1990(平成2)年の臨海訓練。遠泳前に気合を入れます



炬火を掲げていざ謳う

No.7

# 我らの泉鳥取

2022年6月27日（月）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/izumitottori/custom91.html>

## 臨海訓練2

# 引率と補助生徒



東浜海水浴場沖合の飛び込み台

臨海訓練には多くの教職員が関わりました。平成6（1994）年度臨海訓練の教職員用しおりが残っていたので、これを例にとります。なお、それまで前後団の2団編成で行っていた臨海訓練が平成5（1993）年から10クラス一挙に実施することになりました。

実施日時は7月26日から28日の2泊3日、参加生徒は19期1年生360人（10クラス）の在籍生徒のうち354名が参加。引率は学年団の担任10名、副担任10名、さらに団長の有吉校長、養護教諭、その他の教員が23名で生徒たちの水泳指導を行い、総計43名の教員が参加しています。当時の所属教職員（行政を除く）66名のうち65%の教員が参加しているのです。

バディシステムを取り入れてパートナーを意識させ、点呼の時、必ずパートナーがいるかどうかを確認するなど、慎重を期していても、なかなか目が届かない部分もあり、2・3年生で運動部員や、泳力の優れた生徒を「補助生徒」として協力してもらいました。平成6（1994）年の補助生徒は男子18名、女子14名、うちバスケットボール、ラグビー、バレーボールと情報処理部の各クラブ員が中心でした。

生徒は泳力によってSA（スペシャルA）、A、B、C、Dに分け、それぞれの班に教員一人、補助生徒一人がつけました。教職員と補助生徒は統一されたTシャツを着用、すぐにスタッフと分かるようにしていました。このTシャツは教職員と同じデザインで色違い、教職員は白色、補助生徒は黄色のTシャツを着て、1年生の支援

を行いました。

水泳指導は危険が伴うので、事前の準備で竹ブイ（竹を束ねて掴まれるようにしたもの）や筏を設置、さらに動力船を4隻配置。遠泳ではすべての船を周辺に付け、3kmの遠泳をSA、A班で行いました。そのすべてに補助生徒が頑張ってくれました。今思えば、補助生徒の皆さんがいなければ、臨海訓練という行事は成功しなかったでしょう。補助生徒は、教職員とともに、1年生の行事の運営スタッフとして縦横無尽に活躍してくれました。この行事を経て、2年生、3年生の自覚も高まり、学校の中核となってくれました。



1994年臨海訓練の準備体操 黄色いTシャツが補助生徒である。







炬火を掲げていざ謳う

No.8



# 我々の泉鳥取

2022年7月4日（月）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 制服の変遷

泉鳥取高校の制服は、2度変わっています。

開校時の昭和51（1976）年から平成4（1992）年までは、男子は詰襟標準服、女子は紺色のブレザーにプリーツのスカート、ダブルのベストに緑のリボンでした。写真①は、10期生卒業アルバムのクラス写真撮影時のスナップですが、季節は5～6月ということもあって、女子は合服となっています。

平成に入って、海外でも着られえて、制服指導も簡単なブレザーの制服に変更しました。この時は、保護者から意見を聞き、生徒からデザインを募り、会議室で生徒向けの内覧会を行い、制服変更を生徒も考える、という形で決定していきました。最終案は、膨張色を避けるために紺のブレザーをベースに、本校だけのオリジナル生地でスラックスやスカート、ベストをデザインしたものとなりました。ネクタイはロンドンの救急隊員と同じワンタッチで、ネクタイとリボンは着用を義務付けませんでした。この時、ポロシャツも検討課題となりましたが、就職試験等でネクタイが必要と判断して、ポロシャツの導入は見送りとなり、結局この写真の形となり、18期生から採用されました。

三代目の制服は平成31（2019）年から採用されました。これまでの紺からグレーとなり、デザインが全く変わりました。しかしながらこの制服にすべての学年が変わった令和3年度、泉鳥取高校はりんくう翔南高校と機能統合、閉校が決定しました。



写真①最初の制服、10期生のアルバム撮影から



写真②二代目の制服

平成5(1993)年～平成31(2019)年。



三代目現行制服



炬火を掲げていざ謳う

No.9



# 我らの泉鳥取

2022年7月11日(月)

編集・発行 泉鳥取高校 教頭(妻木)

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

部員たった1人 最後の夏の大会か？

## 毎日新聞 泉鳥取高校野球部を取材



西坂くん(45期)と濱崎監督

去る7月6日、毎日新聞に「部員たった1人 3年後閉校の大阪府立高野球部が挑む『最後の夏』」という記事が載りました。

第104回全国高等学校野球選手権大会大阪大会の参加校は177校、このうち合同チームがあるのでチーム数としては165チームが甲子園をめざして戦います。泉鳥取高校でたった一人の野球部員、西坂俊樹さんと顧問の濱崎祥成教諭の特集が毎日新聞に掲載されたのです。詳細は記事を参照していただくとして、今回の大会には、泉鳥取高校は、りんくう翔南、藤井寺工科、農芸高の4校合同チームで出場します。毎日新聞の取材に

西坂君は「このまま下級生が入部しなければ今大会後に自然消滅するため、本人だけでなく、学校にとっても“最後の夏”になる可能性がある」「最後に勝って、いつか『部員1人で頑張った泉鳥取という高校があったな』と記憶に残る試合にしたい」と述べています。

もともと泉鳥取高校には、野球部がありませんでした。平成の初めころ、阪南市の協力を得て、一度野球部設立の動きはありましたが、設立は平成21(2009)年まで待たねばなりません。この年に硬式野球部を創部したいという生徒9人名が集まり、納谷教諭の下に「野球愛好会」がスタート。平成22(2010)年12月硬式野球部が誕生しました。平成23(2011)年、36期生が7名入部し、同年度夏の大会へ初出場を果たしました。その後も人数不足に苦しみながらも、平成26(2014)年には3学年あわせて13名という状況の中、夏の大会(第96回大会)1回戦、貝塚南との試合で9-1で初勝利を収めました。

しかしながら、その後高校生の減少や部活動の沈滞化の中、合同チームでの参加が続きました。今年度は、りんくう翔南、藤井寺工科、農芸と合同チームで参加します。

現在、野球部に所属する生徒はいませんが、1年生、2年生で高校野球の大会に出たい、という人がいれば、硬式野球部に加入すると、令和5(2023)・6(2024)年度大会に参加は可能です。

中学まで野球をしていても、高校で野球部に加入しなければ、高校球児にはなれません。「単なる野球がちょっとうまい大人」になるか、「もと高校球児」となるか、泉鳥取1年生2年生の野球経験者はもう一度考えましょう。



平成27(2015)年春季大会にて  
(40周年記念誌より転載)

第104回全国高等学校野球選手権大会 大阪大会

泉鳥取・りんくう翔南・藤井寺工科・農芸 VS 大教大天王寺

7月16日(土)11:10～ 久宝寺緑地硬式野球場(八尾市)

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。





炬火を掲げていざ謳う

No.10



# 我らの泉鳥取

2022年7月25日（月）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>



国鉄 ⇒ JR西日本 本校最寄り駅

## 和泉鳥取駅 今昔

和泉鳥取駅は昭和38（1963）年に和泉砂川～山中溪の中間駅として開業しました。昭和5（1930）年、阪和電気鉄道（南海山手線）として開業したこの路線線には、和泉砂川駅（旧信達駅）に「泉南の砂川奇勝」という奇岩のならば奇勝があり、昭和10（1935）年には遊園地もオープンしましたが、戦争の足音とともに客足は落ち、阪和電気鉄道も昭和15（1940）年に国鉄に吸収され、戦争中には砂川遊園地も閉鎖されました。戦後はそのまま国鉄として、和歌山と大阪を結ぶ大動脈となりました。その中で駅は開業しました。

平成29（2017）年まで、改札は上り方面にあり、下りホームから改札を出ようとすると、細い通路で上り側に出なければならず、登校時は1,000人以上の生徒でごった返しました。また、終礼終了後、電車の接続が悪く、中には慌てて閉まるドアに駆け込んだり、すでにドアが閉まっている電車にあいている窓から乗ろうとして、電車を緊急停止させた不届き者もありました。校長、生指部長、保護者、本人が天王寺鉄道管理局（天鉄局）までお詫びに行ったものです。

昭和62（1987）年4月にJRが発足。その後平成4（1992）年にはみどりの窓口が設置され、便利な駅になっていきました。平成29年には東口が開業、上り下りの改札が分けられたため、若干乗降はスムーズになりました。また当初は普通電車しか停車しませんでした。現在では紀州路快速も一部停車しており、登下校には便利になっています。

開校当時、泉鳥取高校の近くには、食事をする店も、売店もほとんどありませんでした。コンビニエンスストアというものが日本でほとんど見られない頃です。駅前に西浦商店というパン屋がわずかにあるだけ、食事をするといっても、バス停前のオーシャンという喫茶店、唯一のうどん店（まるはち）といった、食事の困難校でした。

現在はコンビニ2軒、ラーメン店、イタリアンレストラン、魚割烹、スーパーなどもでき、ずいぶん便利になりました。

この絵は、大阪府八尾市在住の山元剛さんが写真を参考に描かれた色鉛筆画です。昭和51年、すなわち本校開校の頃の様子です。改札の改良は行われましたが、ホームの風景はほとんど変わっていません。



昭和51（1976）年当時、和泉鳥取駅の113系快速（山元 剛さん画）



炬火を掲げていざ謳う

No.11



# 我らの泉鳥取

2022年8月3日(水)

編集・発行 泉鳥取高校 教頭(妻木)

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 泉鳥取歴史散歩(1)

# 謎の鳥居

JR和泉鳥取駅の裏に、大きな石造り鳥居が建っています。この鳥居は何物か？泉鳥取高校関係者なら一度は不思議に思ったことでしょう。

この鳥居は、山中溪から雄ノ山峠を越える紀州街道に沿って建てられています。種を明かせば、波太神社に対する遥拝鳥居なのです。雄ノ山峠越えは、古く平安の昔から、熊野詣での道でした。熊野権現の分身を祀った九十九王子社のうち山中溪には馬目王子と地藏堂王子がありました(現在は残っていない)。この道から古い由緒のある波太神社を拝するのために作られたものです。波太神社は延長5(927)年に撰上された『延喜式』にも名前が記載されており、戦国時代には、信長の紀州攻めの本陣が置かれた、古くて由緒正しい神社なのです。

その後、近世に入ってから、紀州徳川家が参勤交代で利用する紀州街道となり、紀州の殿様もここから波太神社を拝しました。8代将軍となる徳川吉宗(当時は頼方)も、14代将軍となる徳川家茂(慶福)もここより遥拝したのです。(ちなみに和泉砂川駅近くの大鳥居は金熊寺近くにある信達神社のお旅所です)



波太神社。拝殿は明治時代のもの。

本殿は寛永15(1633)年に造営された三間社流造。

和泉鳥取駅裏の遥拝鳥居

波多神社拝殿前

豊臣秀頼寄進と伝わる石灯籠







炬火を掲げていざ謳う

No.12



# 我らの泉鳥取

2022年8月19日（月）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>



## 府立高校最多？

# 中高派遣教職員延べ9名

昭和60年代、高等学校に入学する予定者が急増する時代となりましたが、それは一時のことで、すぐに15歳人口は減少することが予測されていました。

そこで府教育委員会は、新規教職員の採用を抑え、経験年数の少ない中学校教員を一定期間（5年間）高等学校に派遣する、中高派遣の制度を1986年度に立ち上げました。泉鳥取高校には、1986（昭和61）年度以降、延べ9人の中学校教員が派遣されてきたのです。

当時をよく知る阪南市立鳥取東中学校校長、田窪宏年先生は、泉鳥取高校に派遣された最初の中学校教員です。先生は当時の感想を次のように語っています（12期生1年より担任、卒業時3年9組担任）。

「中学校と高校はずいぶん違うなあ、と感じました。中学校では、生徒の中に入り込んでいくのに対して、高校は大人として扱う場面が多いんだと最初は感じました。」

田窪先生が最初に担任を持った学年に新任教員として赴任した私（妻木）は、初めて担任を持ったのがたまたま田窪先生のクラスと隣同士でした。田窪先生が、初担任を持つ私に対して、『教員で一番面白い仕事は、担任やで、うだうだ話しながら、生徒の情報を集めて、その子の指導に役立てたとき、ほんま楽しいで。』と言われたことを、今でも覚えています。

田窪先生は放課後長い時間をかけて教室の掃除をされており、その時間帯に、生徒とコミュニケーションを図り、生徒の人となりを掴もうとされていました。当時の居残り生徒たちは、いまだに田窪先生と年賀状のやり取りをしているそうです。

田窪先生のあと、中高派遣の中学校教員が8名、本校に来られ、



1990（平成2）年当時

12期生卒業アルバムより

生徒に対してぶつかっていく中学校の先生方の指導を見せていただき、大いに力となりました。

田窪校長先生は「鳥取東から泉鳥取へ、毎年20名ちかくの生徒がお世話になっていましたので、中学校としては閉校はきついです。また、自分の思い出も含めてつらいですね。」と話しておられました。



三年九組田窪学級

副担任は村田悟先生

（卒業アルバムより）



炬火を掲げていざ謳う

No.13



# 我らの泉鳥取

2022年8月29日（月）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## ふいむけば 泉鳥取 ハナミズキ

本校は、「ハナミズキ」を学校の花「校花」としています。当初は成長が早く、美しいことから校内を彩る花として昭和54年に採り入れられました。毎年4月の中旬から咲き始め、中庭一面の花々は、教職員や入学直後の1年生の心を癒します。ハナミズキについて、第6代校長 故森本敏史先生が、創立20周年記念誌に思いを書いておられるので。引用します。



平成3年の4月、本校に赴任してまだ日も浅い下旬のある日（中略）最後まで理科でどうしても（講師の穴を）埋められないまま、ついに見切り発車になってしまっていたのです。無理を承知で、とにかく当座は教科で分担をお願いして、できうる手立てはすべて尽くしたのですが、ことごとく駄目でした。（中略）連絡会（職員朝礼）の終わるころ、天気が急変して、はたと雨が止み雲が慌ただしく逃げ去って、（中略）突然、その場に立ちすくんでしまったのです。何と校庭のハナミズキが見事一斉に開花しているではありませんか。雨に濡れた花片は息をのむほど鮮やかで、雫が宝石のようにキラキラ輝いて、しばらくはただ唖然と見つめるばかりでした。あの重くのしかかっていた鬱積がいつしか幻のように蒸発してしまっているのです。きっと講師は見つかる、変わって確信のような活力がもくもく湧いてきて、一気に眺望が開けたような、爽やかな気持ちになりました。（中略）以来とりわけハナミズキにこだわるようになったのです。

森本先生は、写真撮影が趣味で、平成3年から5年の卒業アルバムに相当数の写真を撮影されています。ハナミズキにもこだわり、多くの作品を残しておられます。平成5年度、中庭のハナミズキの幹が太くなるように、鉢を大きくする改良工事を行い、最後までハナミズキを大切にされました。

歴代の校長、教職員、そして生徒たちに愛された花です。



20周年記念誌の表紙（題字 毛藤 佳宏）

（校舎 小谷 智彦、ハナミズキ 妻木 靖朗）



10周年記念誌表紙のハナミズキ（赤木 龍吉）





No. 14



2022年9月5日 (月)

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

# 我らの泉鳥取

施設秘話 (1)

# バカでかい職員室

— もともとは図書室の予定だった —

泉鳥取高校の職員室はB棟（特別教室棟）の3階にあります。大変広い部屋で、校内の部屋としては、視聴覚教室の次に大きい部屋になります。

通常高校の職員室は1階にあるのが普通ですが、なぜ泉鳥取では3階にあるのでしょうか？

創立当初に在籍されていた先生に何うと、「すべての教室が一番見やすい部屋を職員室にした」ということのようにです。今の職員室は、設計段階では図書室として設計されています。現に、特別教室棟の平面プランが同



一の府立高校（東百舌鳥高校など）では、図書室として使用されています。そういう学校の職員室は、校長室の隣にあり、国語科・数学科・英語科などの教員と教務部員、教頭が入っていました。全員が一堂に会する職員室は、そもそも高校にはなく、職員室に座席のない先生は、各教科の準備室に居ました。

泉鳥取高校では、生徒とフロアの違う職員室では対応できないことが多かったこと、45人12クラス募集で教職員数が70名を超し、すべての教職員が生徒に対応するため、全教職員が一堂に会する職員室にすることを目的にしたため、どうしてもこれだけの床面積が必要だったということです。創立後20年くらいまで、大職員室には多くの生徒が集い、先生方とコミュニケーションを取っていました。「先生、しんどい。帰らせてよ」とか訴える生徒も多かったのですが、休み時間が終わると「次の休み時間も来るわ」…結局先生と話したいだけだったり。しかしながら、生徒との接触はこれでも十分ではなく、平成15年頃には学年生徒指導室を学年職員室として設置し、よりきめ細かい対応を目指すこととなりました。



職員室から見た一般教室棟

### 3階の平面図





炬火を掲げていざ謳う

No.15



# 我らの泉鳥取

2022年9月12日（月）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

連綿と続く 卒業生

## 心に残る 就職指導

### 全求人票を読みぬいて



泉鳥取高校は、昔から就職を希望する生徒が多い学校です。それに関するエピソードを一つ。平成になったころの学校推薦の就職日程は、7月1日求人票学校宛て送付解禁、20日全員対象就職説明会、その日の午後から求人票公開開始、8月20日以降に校内調整、学校推薦会議、9月5日応募書類発送、16日就職試験解禁という日程で進みました。

15期生の松井豊くんは、平成4（1992）年、受け付けたすべての求人票を閲覧しました。バブル崩壊直後とはいえ、求人は受付件数700件を超えており、男子の求人約400枚の求人票を読み切ったのです。私が「どんな企業がいいのかな？」と聞くと、「先生、俺な、交代制勤務でもええし、住み込みでもええから、しっかりした会社に行きたいねん」とリクエストをしていました。

バブル崩壊直後のことで、下手な企業は紹介できません。堅実な東証一部上場の製鉄会社を4社紹介しました。本人は喜んで求人票をコピーして帰宅したのです。でもまた2～3日経つと、また進路資料室に彼が来ています。「以前に紹介した求人になにかあったのか？」と聞くと「先生に勧めてもらった求人、家で見ててな、もし自分が50歳になったとき、そこで働いている姿を想像でけへんねん」

普段は明るく、楽天的に見える松井くん、すべての求人票を閲覧し、保護者とも相談し、しかも30年後の自分をイメージしていたのです。就職担当一同で感動しました。結局彼は、東証一部上場の建設機械レンタル会社に就職しました。

現在松井くんは48歳、今回久しぶりに連絡が取れ、現在も元気にしており、岸和田市内で大工として独立しています。

就職してからのお話を聞かせてください。

建機レンタルの会社で、入社直後阪神淡路大震災が

あって、その復興のための機械や車両の段取りにきりきり舞いました。でも、『人の役に立って 卒業アルバムより』ことが実感できました。しかし、ある日先輩の給料明細を見てしまったんです。今から思えばとんでもないことなのですが、賃金の上昇が少ないと感じてしまったんです。その後友人の会社の立ち上げに参画し多くの収入を得ましたが、最終的にはモノづくりの大工に落ち着きました。結局収入より、やりがいがあったり、好きだったという仕事が長持ちします。

#### 今の生徒にメッセージをお願いします

今から思えば、収入も大事だけれど、自分で「楽しい」って思える仕事を見つけてほしいです。やはり仕事を通じて人の役に立っていくのだから、好きで続けられる仕事を見つけてほしいですね。

#### 泉鳥取高校の閉校について

本当に残念です。あの学校で学んだことは多かったから。先生にも出会えたのだから。閉校になるけれど、今の生徒には精いっぱい頑張ってもらいたいですね。（令和4年9月4日 泉佐野市内で取材）



1992年の進路資料室。現在の生徒指導室の場所。後ろに見えているのは企業別資料。





炬火を掲げていざ謳う

No.16



# 我らの泉鳥取

2022年9月20日（火）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 危機一髪！！ 連係プレーで人命救助

泉鳥取高校の生徒は、昔から人懐っこく、弱い人に親切という生徒が多いという印象が、先生方や就職先の企業でよく語られます。平成19(2007)年4月、泉鳥取高校に入学した直後の32期生が、なんと和泉鳥取駅で人命救助をして、JR西日本、大阪府から表彰されました。

平成19(2007)年4月18日(水)の午後3時50分、下校しようとした1年生の西出知浩さん、葛原哲弥さん、太田純文さん、大野由承さん、塩崎雅和さん、西村太一さん(32期生)がホームで電車を待っていると、ホームを歩いていた重度の知的障がいのある人が突然の病気発作によりホームから転落しました。

6人のイズトリ生は、一人は緊急停止ボタンを押し、4人が線路上に飛び降りて持ち上げ、一人はホームの上から引き上げ、一人は119番通報したうえで、全員電車が来るまでにホームに戻りました。しかし、ホームに入ってくる電車が快速で和泉鳥取駅を通過するため、緊急ブレーキを掛けましたが、ホームを過ぎてから停車、もし彼らが線路上に降りて助けていなければ、この人の命はなかったのです。特に役割を決めていたわけではないですが、とっさの判断で見事な連係プレーを見せました。

電車が入ってくるときに線路に降りることは非常に危険です。しかし彼らは冷静に人を助け、自分たちも戻ってきました。この行動について、JR西日本から人命救助の感謝状をいただき、さらに大阪府知事表彰を受けました。



平成19(2007)年5月21日 大阪府知事表彰

副知事とともに記念撮影 大阪府庁本館



平成19(2007)年4月20日 産経新聞



炬火を掲げていざ謳う

No.17



# 我らの泉鳥取

2022年9月26日（月）

編集・発行 泉鳥取高校 教頭（妻木）

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

連綿と続く 卒業生と先生（2）

## 祭り指導と「はせドン」

生徒とともに指導を受けた先生



泉大津市田中町御披露目（sakura.ne.jp）

昭和60年当時、高校では祭りによる欠席者に対して「祭り指導」を行っていました。

当時祭礼は、岸和田だんぢり祭（旧城下）が9月14・15日、城下以外の岸和田市内や泉南市以北の祭礼が10月9・10日などと日程が決まっており、祭礼に参加すると、1日は学校を休まなければなりません。飲酒や喫煙事例も多く、「好ましくない行事」とみていたのです。どの府立高校でも祭りの欠席指導を行っていたのです。

ただ、生徒たちは「学校は3年、祭りは一生」と、祭り指導を覚悟して、事前に担任に休む旨を伝え、あとで「祭り指導」を受ける生徒が多くいました。泉鳥取高校での指導内容は、漢字のプリント課題と、校内での床磨きでした。

その中で、教員で「祭り指導」を受けていた先生がいました。体育の長谷川晃先生です。昭和53年4月本校教諭として着任し、平成元年4月に転勤されるまで12年連続担任、男子バレーボール部顧問をつとめられました。だんぢりが大好きで、大学の卒業論文もだんぢりをテーマにしたものでした。教員になってからも、10月10日前後は休んでだんぢり祭りに参加しました。

「生徒に『祭りで休むな』というからには、自分もきちんと指導を受ける」と、生徒とともに漢字の課題を提出し、床を磨いていました。

法被を着てだんじりから離れてちゃらちゃらししている生徒に「法被着てんねやったら、曳かんか！！」とどなったりしていました。祭りが本当に好きなうえ、そのお茶目さもあって、体育の厳しい先生でしたが、生徒に人気がありました。「あの先生、おれらの気持ちわかってくれらあ」

転勤した後も、泉大津市田中町だんじりの後ろ梃子としてがんばっていた平成元（1989）年10月、だんじり祭り中に心筋梗塞で急死しました。享年33歳。通夜には1000人を超える生徒、卒業生が集まりました。また告別式の日、学校の視聴覚教室で先生を慕う生徒たちが「見送り会」をしました。

その後、公立の学校が土日休みとなり、祭りの日程も変わったため、学校を休まなくても祭りに参加できるようになり、さらに祭りが地域の文化行事として見直されていった結果、「祭り指導」は姿を消しました。



長谷川晃先生

9期生卒業アルバムより





炬火を掲げていざ謳う

No.18



# 我らの泉鳥取

2022年10月3日（月）

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

THE LAST “RINKAI”



## 1年宿泊行事 大成功！！

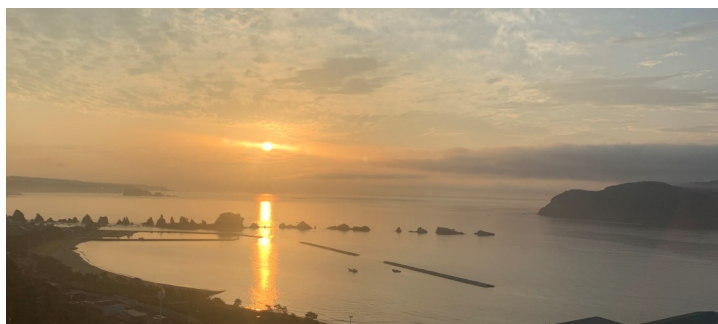
—2022年7月12日・13日 南紀白浜—

去る7月12日・13日の両日にわたって、南紀地区で実施した1年生の宿泊学習ですが、大きな事故も感染もなく、無事に終了しました。「ラスト臨海」のイメージで、クラスづくり・学年づくりをめざした行事ですが、その効果はどうだったのか、生徒と教員から感想を伺いました。

### 教員も学ぶ 宿泊の場

首席 中山 輝彦

行事のきっかけは、教頭とのよもやま話でした。妻木教頭は過去に教員としてこの学校に勤務経験があり、「当時は臨海訓練を通じて、クラスづくりや集団作りをした」と話します。確かにイズトリ卒業生の思い出話をすると「臨海」の思い出を語る人が多いのです。そこで学年主任や担任団に「臨海」の話をし、「最後の学年、集団作りとクラスづくりのために宿泊行事を復活させたい」という思いで実施しました。昔の臨海訓練のように遠泳があるわけではありません。しかし、クラス対抗のレクリエーションや、授業でない場面での生徒とのふれあひがあり、集団としての距離感がずいぶん短くなったように思います。さらに言えば、宿泊行事引率経験のない教職員にとっても、修学旅行を前に、とてもいい経験となりました。



### 宿泊学習に行って

47期 1年4組 増田 唯奈

一日目は、アドベンチャーワールドでジェットコースターや観覧車に乗ったり、パンダやペンギンなどいろいろな動物を見たりしました。

次に本州最南端と言われる潮岬に行きました。潮岬はとても景色が綺麗で「夕方だともっと綺麗なんだろうな」と思いました。ホテルについてまず部屋が綺麗で驚きました。ご飯はとても豪華で美味しかったです。その後、学年全員でレクリエーションをしました。レクチャーゲームなどをしました。盛り上がったし、周りのこと話したりできて楽しかったです。

二日目はクジラ博物館に行きました。クジラ博物館では捕鯨で使う道具やセミクジラやシャチの全身骨格見本、クジラのひげ板などたくさんの展示を見て、いろいろ学ぶことができて良かったです。次に橋杭岩を見に行きました。橋杭岩のでき方を知り、自然の素晴らしさを感じました。最後に『とれとれ市場』に行きました。そこで『かげろう』や『うすかわ饅頭』を家族のお土産として買いました。この二日間を通して、私は自然の素晴らしさやクジラの事を学ぶことができ、学年やクラスの仲をより一層深めることができたと思います。





炬火を掲げていざ謳う

No.19



# 我らの泉鳥取

2022年10月11日(火)

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## インターハイ優勝！ 川植宗治さん(11期)

— 円盤投げ 51.00m —

泉鳥取高校は、他校と同様に創立以来部活動にも力を入れてきました。とりわけ創立後20年頃までは、陸上競技部が圧倒的な成績を残していました。昭和63(1988)年、高校生日本一となるインターハイ優勝者が登場しました。現在でも学校の玄関に写真が飾られている、11期生川植宗治さんです。川植さんの活躍を陸上部顧問だった故由井 潔先生の記事から思い出してみましょう。記事は20周年記念誌の抜粋です。

(前略) いよいよ「イズトリ」の名が全国に知れたのが11期生の川植君の快挙でした。1年の時には円盤投げで近畿総体1年の部優勝、同槍投げ2位。しかし冬期練習前に腰痛に苦しみ、2年時は近畿インターハイ8位に終わりました。2年の時には玉田山での走り込み、精神的に強さが増し、全国インターハイに向けて着々と力がついて行きました。円盤投げの全国インターハイ優勝ラインは毎年だいたい52~53mです。彼は全国大会の4日前に学校のグラウンドで53mを記録しました。全国インターハイ当日は、過去最高の調子になり、見事決勝の一投目で全国一を決めてしまいました。25名の部員の熱い声援の中での見事な投てきでした。彼は多くの有名大学の誘いを断り、地道に力強く歩み始めました。決して全国一になった事で他人を見下したり、天狗になったりせず、いつも後輩思いのやさしい先輩であり、今は良き父親です。イズトリらしいと思います。(中略)

19年間、陸上部員と生活を共にし、色々な事を学びました。手助けしてやれず学校を中退していった生徒も多数いました。体を悪くし、練習している仲間に声をか



一九八八年 高校総体での川植さん この投てきで優勝、日本陸連春日弘章を受章されました。高校卒業後も社会人として陸上競技を続けました。

けながら毎日整地をし続けてくれる部員もいました。くびにした部員が、校舎のかげからそっとグラウンドを見続けていた、という話を後で聞きました。みんなありがとう。イズトリの陸上部を大切にしてくれてありがとう。今後の陸上競技部のますますの発展を期待し、OBとともに見守っていきたいと思います。(1995年20周年記念誌より抜粋)

平成30(2018)年11月、泉鳥取教職員OBの宴会での由井先生。この4か月後の平成31年3月に急逝された。







炬火を掲げていざ謳う

No.20



# 我らの泉鳥取

2022年10月17日(月)

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

施設秘話(2)

## 校舎は昭和52年に完成



第1期工事竣工直後の写真(小西紀満先生撮影)

校舎については2期の工事で接続されました。現在でもA棟は6組と7組教室の間、B棟は3階職員室とトイレの間に、当時のジョイントが確認できます(下の写真参照)。

小西先生は開校の昭和51(1976)年に着任され、平成3(1991)年度に貝塚南高校に転勤されるまで、膨大な写真資料を残されました。このため、10周年記念誌から30周年記念誌には小西先生の写真が使われています。

またこの『我らの泉鳥取』でも写真を取り上げていきたいと思います。



故 小西紀満先生  
12期アルバムより

泉鳥取高校が創立されたのは昭和51(1976)年でしたが、それ以来、ずっとこの学校の写真を撮り続けてきた教員がいます。理科の故小西紀満先生です。先生は折々に触れた写真を撮影され、多くのネガフィルム・リバーサルフィルムを残されましたが、なんといってもその写真がきちんと整理されていることです。今も小西先生の写真はあちこちにありますが、社会科準備室に膨大な資料がありますので、それからピックアップします。

左の写真は、最初の入試を実施したころの泉鳥取高校です。昭和51(1976)年2月に1期工事は竣工していますが、まだ校舎の半分しかありません。このあと昭和52(1977)年2月に校舎の半分の第二期工事が竣工し、同年5月に食堂棟が、同年6月にプール、同年8月に体育館が竣工しています。つまり昭和52(1977)年度には、現在の校舎のほぼ全部が竣工しています。下の写真は、左の写真と同じ角度からとった現在の校舎です。



A棟・B棟の校舎の継ぎ目



現在の校舎 ブロック塀がなくなり すっきり

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。



炬火を掲げていざ謳う

No.21



# 我々の泉鳥取

2022年10月24日（月）

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

施設秘話（3）

## 進路指導室の変遷

— 狭い進路が食堂そばから2階西南 広々とした空間に —

泉鳥取高校の施設については、昭和51(1976)年の創立以来、若干の変更があります。最も変わったのが、進路指導室の位置と、学年職員室の設置です。本日は進路指導室のお話をしましょう。

開校当初こそ進学者と就職者の比率は4：6程度、難関大学への合格者も出していましたが、その後4期生以降には就職を希望する生徒が増加し、7期生で進学：就職が25：75となり、10期生から15期生の頃には、15：85という学校になっていきました。

当時の進路指導室は、現在生徒指導室になっている、A棟の食堂寄りにありましたが、普通教室1教室分しかなく、就職用の資料と進学用の資料が同時に置けない狭い部屋でした。ですから、指導室は、主に就職指導室として使用し、現在は3年生の学年職員室となっている場所に進学用の過去問題を保管していました。平成3(1991)年頃には、1学年の生徒数が10クラス規模となったため、進路指導室を一般教室に移し、2階に2教室分のスペースを確保しようとしたのですが、この時には校内調整がうまくいきませんでした。

平成15(2003)学年職員室を設置する際、当時の進路指導室と技能員室の間にあった「カウンセリング室」に進学資料室を移動させましたが、まだ手狭でした。その後平成27(2015)年、校内の調整ができ、進路指導

室、進路資料閲覧室がA棟の西南部にでき、一時期に比べて3倍の面積を持つ進路指導スペースとなりました。進路に関わる講義のできる講義スペースも確保することができて、しっかりとした進路指導ができるようになっています。

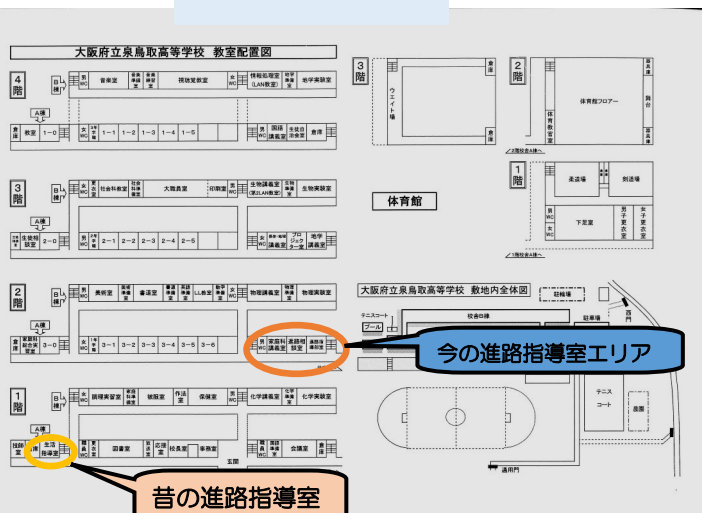


進路指導室と閲覧室



昔の進路指導室

室の進路指導室と技能員室の間にあった「カウンセリング室」に進学資料室を移動させましたが、まだ手狭でした。その後平成27(2015)年、校内の調整ができ、進路指導







炬火を掲げていざ謳う

No.22



# 我らの泉鳥取

2022年10月31日（月）

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

総合的な探究の時間と連携

## 震災や歴史を「学ぶ」46期修学旅行

— 丁寧な旅程計画で生徒たちも大満足 —

令和4年9月28日から10月1日、46期の修学旅行が行われました。心配されたコロナ感染者も出ず、全日程を完了しました。旅程は下記の通りです。今年度は「総合的な探究の時間」での事前学習を実施し、気仙沼出身で箕面ユネスコ協会会長 坂口一美さんの講演を聞いたうえで、陸前高田市に入って震災学習を実施しました。

学年団は、慎重に旅行行程や食事内容を見直し、きめ細かい打ち合わせで、生徒たちが満足できる旅行を提供できたと思います。



日本三景の松島

9月28日（水）松島 ⇒ ホテル志戸平

9月29日（木）陸前高田震災学習 ⇒ 中尊寺  
⇒ 鳴子温泉 鳴子観光ホテル

9月30日（金）東京ディズニーランド

10月1日（土）東京都内班別行動



ホテル志戸平 美味しいバイキング

世界文化遺産 国宝 金色堂



陸前高田 奇跡の一本松



気仙中学3階音楽室



東京自由行動 東京駅丸の内口



ネズミ夢の国



日本最速320km/h 東北新幹線やまびこ

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。





炬火を掲げていざ謳う

No.23



# 我らの泉鳥取

2022年11月7日(月)

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## おいもが取り持つ地域連携

— 農園部・家庭科と幼稚園 —

去る10月31日、阪南市立はあと幼稚園の園児21人が本校農園の芋ほりに来校しました。また、11月29日(火)にも31人が来校します。家庭科「生活文化」の幼児と触れ合う実習の一環として、幼稚園児たちとともに生徒たちは芋ほりを楽しみました。

この農園は平成13(2001)年、「スクールカラーサポートプラン」予算を活用して、使用されなくなっていた屋外バスケットボールコートを造成したものです。

もともと平成11(1999)年、富士松教頭を先頭とした教職員有志が校舎南側の植栽に畑を作ったことが泉鳥取高校と農園の出会いでした。その後大規模な造成の後、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーなどを栽培し、文化祭で収穫祭なども行ったのです。

平成14(2002)年度には農園同好会が発足(2005年、農園部に昇格)して、農園の管理を行うことになり、同年阪南市立朝日幼稚園との連携が実現しました。以来19年にわたって、朝日幼稚園と連携をしてきましたが、令和4(2022)年3月、朝日幼稚園が閉園したため、同年から「はあと幼稚園」と連携しています。現在は、地域連携事業で最も大切な行事となっています。



みんなで記念撮影(10月31日)

阪南市立はあと幼稚園

阪南市石田にある幼稚園で、もともと波太、あかね、東鳥取の3幼稚園を統合した時に、3園の頭文字を取って命名された。令和4(2022)年には朝日、尾崎の2園も統合されたが、名前はそのままとなっている。



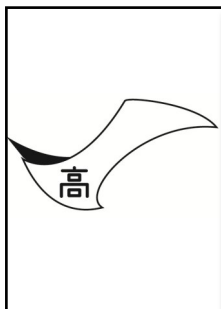
お見送りです



たくさんとれた!

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。





炬火を掲げていざ謳う

No.24



# 我々の泉鳥取

2022年11月14日(月)

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

最後の公開文化祭 平成6年

## 第17回ハナミズキ祭

— 以後、平日実施 非公開に —

30周年記念誌の30頁に「平成6年度文化祭に関しては、校内に残された多くの文書、資料が黙して語らず、(後略)」とあります。実際には、外部からの侵入者によって、文化祭そのものが破壊されたのです。実際に平成6年第17回ハナミズキ祭を体験した者として、この文化祭がどんなものだったのかを書き残しておきます。

当時、文化祭は、2学期の端境期に開催していました。開校以来、文化祭は土日の二日間に実施(ただし、土曜日は授業をしていた時代)で、外部からの観覧は、日曜日のみ、招待券方式をとっていました。下の招待状は1986(昭和61)年当時の招待状です。生徒一人につき2人まで招待できました。招待者は保護者・家族に限らず、友人でもOKでした。

この年、ある生徒Aが多くの生徒の招待券をかき集め、自分の友人を多く校内に入れたのです。日曜日の午後3時ごろ、Aと地元で対立していた外部の人間BがAのグループを襲撃するために校内に乱入、大乱闘となっていました。教職員では対応できず、警察に出動を要請、パトカー2台が駆け付けたものの、パトカーも襲撃されてしまいました。その後徐々に沈静化し、外部からの侵入者は校外に去りました。文化祭は即座に中止され、その後警察による現場検証が行われました。これ以降、平成7(1995)年以降、文化祭は平日開催、非公開となりました。

それまでの文化祭は、担任のリーダーシップのもと、各クラスが覇を競っていました。中学校時代に文化祭に積極的に参加したことがない生徒も多い中、達成感を持ってもらうため、本番2週間前から、担任は頑張る生徒とともに遅くまで残って、

展示を仕上げました。あるクラスは下足室前に巨大な恐竜型の迷路を作り、あるクラスは焼き物の登り窯を食堂前ののり面に作ったりしました。中庭の時計台を札幌の時計台風にアレンジするような取り組みもありました。下の写真は16期生の3年が、自分たちの取り組みである「アラビアン・ナイト」のスタンドグラス的展示、もう一つは平成7(1995)年に作られた札幌時計台風のデコレーションです。

平成2(1990)年以降、教職員の出入りが激しくなり、変化が起きました。1994(平成6)年は担任主導の大作クラスと、生徒主導のクラスが混在し始めたところで、臨海訓練の廃止も目前、学校行事の質の変化が始まっていた矢先の事件でした。この後、文化祭は非公開、平日開催となり、学校行事の沈滞が激しくなっていたのです。泉鳥取高校の分水嶺ともいえる事件でした。

放射能をやっつけろ! '86年6月22日 泉鳥取高校  
大地の鼓動より自由への戦い!

### 第九回 文化祭招待券

|          |           |         |
|----------|-----------|---------|
| 招待者      | 年 組       | 番 氏名( ) |
| ご来 氏名( ) | 年 令       | 才       |
| 場 者      | 有 職・学生( ) | 校)      |



公開していた当時の招待券。昭和61年のもの。当時は生徒一人につき二枚を配布、生徒の名前と入場者の名前を記入するようになっていた。



一九九五(平成七年)札幌時計台風

一九九二(平成三年)十六期三年





炬火を掲げていざ謳う

No.25



# 我らの泉鳥取

2022年11月21日（月）

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 創立十周年記念式典

### — 意外に残らない周年記念式典 —

学校では節目に「周年行事」を行います。本校では10年ごとに記念事業を行っていますが、この式典のことは、意外に卒業アルバムや記念誌には残らないものです。今回は昭和60(1985)年に挙行された10周年記念事業を記録したいと思います。

昭和60(1985)年12月12日（土）午前10時より本校体育館において、創立10周年記念式典が挙行されました。式典の式次第は下の通りです。式と記念行事は正午に終了、午後は記念の懇親会が岸和田のロイヤル宮殿で行われま



岸本忠一校長による式辞

- 式次第
- 一、開式の辞
  - 一、黙 禱
  - 一、校歌演奏
  - 一、学校長式辞
  - 一、来賓祝辞
  - 一、花束贈呈
  - 一、生徒代表喜びの言葉
  - 一、来賓紹介
  - 一、祝電披露
  - 一、賛 歌
  - 一、記念品・目録贈呈
  - 一、閉式の辞
- 第二部  
記念行事  
「ハナミズキ春・夏・秋・冬」  
(バトン部、器械体操部  
によるパフォーマンス)

した。予算は約600万円。式典は3年を中心に生徒660人、教職員77名を含む877名、祝賀会が184名の参加でした。

記念行事は、メジャーな芸能人を呼ぶのではなく、すべて生徒たちの手作りで披露されました。

舞台発表で参加した生徒は、吹奏楽部21名、バトン部12名、器械体操部40名。さらに5名の

放送部、15人の生徒が裏方スタッフとして関わり、舞台狭しとパフォーマンスを繰り広げました。同窓会・PTA中心の実行委員会から学校に対して、体育館用紅白幕13枚と、現在も残る校歌碑、棕櫚の木の植樹が記念品として贈呈されました。また当日参加の皆さんには10周年記念誌『ハナミズキ』、記念のキーホルダー、記念の寒暖計・湿度計、風呂敷を引出物としてお渡ししました。当時の写真を見ていると、20周年以降と違い、先生方や生徒の皆さんの熱気ある息吹が感じられます。

### 十周年記念 校歌碑 ⇒



式典の全体像（体育館）



今も職員室に残る引出物



ダンス部・体操部による演舞

### 昭和60(1985)年の出来事

- 1月20日 アメリカ合衆国 ロナルド・レーガン大統領就任、 3月11日 ソ連 ミハイル・S・ゴルバチョフ書記長就任
- 8月12日 日本航空123便墜落事故 520名が犠牲に、航空機事故史上最悪の事故となる。
- 11月2日 阪神タイガース、日本シリーズで西武ライオンズをくだし、2リーグ分裂後初の日本一となる。





炬火を掲げていざ謳う

No.26



# 我らの泉鳥取

2022年 11月28日 (月)

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 創立二十周年記念行事

— 次世代への息吹 —



創立20周年記念式典は、平成7(1995)年10月21日(土)貝塚市民文化会館(コスモシアター)において開催されました。

10周年記念式典に比べて、生徒数も卒業生数も旧職員数も増えており、体育館での式典では入りきらないことが予想されました。泉の森ホールや波切ホールがまだなかったため、当時泉南地域で最も大きいホールであった貝塚市民文化会館(コスモシアター)を借りて式典を行いました。残念ながらカラーの写真が残っておらず、PTA通信「つばさ」より転写した白黒の写真となっています。

20周年記念事業では、情報処理室に新たに導入されたLANで、新カリキュラムの設計で設置された就職希望2年生の選択授業「文書処理」を展

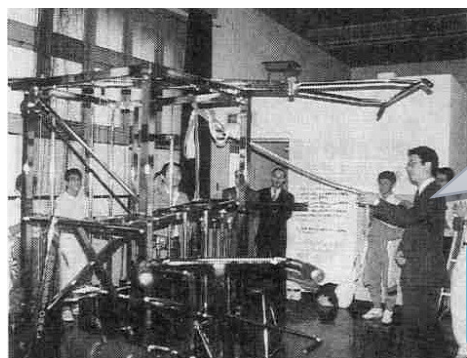


パソコンはMS-DOS本体に乗っているのが記念品の簡易プリンタ(一八期生卒業アルバム)

開するために、ワープロソフトと簡易プリンタを40台分寄付いただきました。さらに運動クラブの基礎体力向上のため、泉鳥取高校では初めてトレーニングマシンを体育館に設置しました。また、PTAのOB会である泉祥会からは、体育館外壁のソーラー時計の寄付を受けました。式典後のアトラクションは、河島英五さんを招いてコンサートを実施、1年生の澤村直之さんが飛び入りで河島さんのギターを借りて演奏、大いに盛り上がりしました。

決算書によると、20周年記念式典では生徒979人、教職員74人の他、旧職員やPTA関連の出席者を含めて合計1,187人が式典に参加、祝賀会への出

席者は185人、事業の総額は1700万円に及び、泉鳥取高等学校で行われた行事で、参加者数においても予算においても、泉鳥取高校史上最大の行事であったということが出来ます。



トレーニングマシンを見る故井上前会長

式次第

- 一、開式の辞
  - 一、校歌斉唱
  - 一、学校長式辞
  - 一、PTA会長挨拶
  - 一、来賓祝辞
  - 一、来賓紹介
  - 一、祝電披露
  - 一、よろこびの言葉
  - 一、記念品贈呈
  - 一、閉式の辞
- 生徒代表

式次第



炬火を掲げていざ謳う

No.27



# 我々の泉鳥取

2022年12月5日（月）

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 創立三十周年記念行事

### — 学校の顔 レリーフ完成 —

創立30周年は平成17(2005)年に事業を実施しました。式典は11月5日（土）平成8(1996)年に落成した泉の森ホールにおいて行われました。この時に設置したモザイクの校章が、現在学校のシンボルとなっています。また、体育館の舞台幕が一新されました。予算規模は900万円、式典参加者は560人（うち生徒243人）でした。なお、ゲートタワーホテルで開催された祝賀会は137人の参加でした。

#### 第二部

ダンスカンパニー

「コンドルズ」公園

- ・開式の辞
- ・校歌演奏
- ・学校長式辞
- ・実行委員会委員長挨拶
- ・来賓祝辞
- ・来賓紹介
- ・祝電披露
- ・記念品目録贈呈
- ・喜びの言葉
- ・閉会の辞

#### 式次第



長木秋絵生徒会長「喜びの言葉」



ゲートタワーホテルでの祝賀会



歴代校長の鏡開き

|    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| 九代 | 五代 | 二代 | 七代 | 八代 |
| 増田 | 南  | 八木 | 有吉 | 花岡 |

#### 平成17(2005)年の出来事

中部国際空港開港、愛・地球博開幕

スマトラ島沖地震で1,000人以上の犠牲者

JR西日本 福知山線事故

東北楽天ゴールデンイーグルス スタート

中央競馬ディープインパクト菊花賞を制し、三冠達成



30周年記念のモニュメント

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。





炬火を掲げていざ謳う

No.28



# 我らの泉鳥取

2022年12月12日（月）

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 創立四十周年記念行事

### — 最後の周年行事 —

40周年記念式典は、平成27(2015)年12月12日（土）エブノ泉の森ホールにて実施されました。なお、この記念式典が本校最後の周年行事となりました。この記事は、PTA新聞『つばさ』第152号（平成28年2月29日発行）から抜粋したものです。

予算規模は約600万円、590名（生徒482名）の参加を得ました。また、実行委員会からは学校に対して、会議室のエアコンとプロジェクター、グラウンド倉庫が贈呈されました。

## 創立40周年記念式典



生徒自治会会長

PTA会長 祝辞

記念式典

平成二十七年、本校は創立四十周年を迎えました。昨年十二月十二日（土）にエブノ泉の森ホールにて記念式典が開催され、参加者には、記念のマフラータオルとDVDが贈られました。

挨拶や祝辞に続き、記念事業実行委員会（同窓会とPTAで組織）から記念品の目録贈呈が行われ、PTA副会長北浦さんから「グラウンドの倉庫」「棟」会議室のエアコン一式」会議室のプロジェクター一セット

トの目録を贈呈しました。倉庫はすでに設置されましたが、エアコン等は年度内に工事が行われ、新年度から稼働の予定です。夏の暑い時期の就職指導や説明会等の環境が大いに改善されます。

式典に引き続き、記念行事として「津軽三味線」和太鼓「パベツション」によるパフォーマンスが上演され、生徒たちも本格的な演奏やすばらしいパフォーマンスに、歓声を上げていました。

### 平成27(2015)年の出来事

大韓航空ナツリターン事件

ラグビーワールドカップイングランド大会

ロシア、シリア反政府勢力を空爆

ISIS(イスラム国)の度重なるテロ

東京オリンピックエンブレム盗作や国立競技場再設計などの東京オリンピック関連のトラブル頻発

ノーベル賞生理・医学賞を大村智、物理学賞を梶田隆章が受賞。

つながる 笑顔 イズッピン



当時のゆるキャラ

イズッピー



炬火を掲げていざ謳う

No.29



# 我らの泉鳥取

2022年12月19日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>



30周年記念誌より

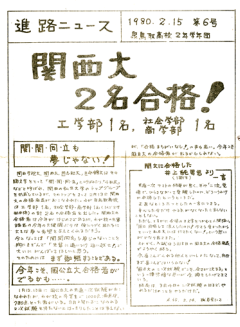
哀 悼

## 井上純男名誉会長を悼む

本校1期生 長年「同窓会の顔」として活躍



1期生卒業記念品の時計台



→一九八〇年 井上  
さんの大学合格を伝  
える三期生進路  
ニュース

一〇月二七日、ご家族の連絡で大阪府立泉鳥取高等学校同窓会の初代会長で、名誉会長である井上純男さんが去る一月三十一日、一年半の闘病をへて亡くなられたとの連絡が入りました。

ご家族によると、泉鳥取高校に連絡をしようとも思ったのですが、コロナの件もあり、ひっそりと見送ったとのこと。享年六十三歳、急ぎ足の人生でした。

井上さんは、泉鳥取高校の一期生で、昭和五四（一九七九）年卒業後、関西大学に進学されるとともに、本校初代同窓会長に選出されました。以来令和二（二〇二〇）年に二神勝現会長にバトンをタッチするまで実に四一年にわたって同窓会の顔として、泉鳥取高校を支えてきてくださいました。

泉鳥取高校の周年記念誌での同窓会長の挨拶は、一〇周年から四〇周年まですべて井上さんでした。

また、大学卒業から私立高校（智辯学園和歌山高校）教員としての就職の間には、本校で非常勤講師もしていただきました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

### 二神 勝 同窓会長のメッセージ

井上名誉会長の訃報に接し、ただただ衝撃を受けております。

昭和54年、本校同窓会創設とともに会長に就任され、以来41年間にわたって同窓会をけん引してこられました。令和2年度に同窓会のバトンを受けさせていただきましたが、閉校やそれに伴う同窓会のこれからの運営もいろいろとご相談しようと思っていたところに、残念でなりません。

改めて井上さんに対しまして哀悼の意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



### 橋本敏和校長のメッセージ

井上名誉会長と初めてお会いしたのは、私が教頭として赴任した年の同窓会総会でした。その年に卒業したばかりの後輩を優しいまなざしでみつめられていたのが印象的でした。

昨年の夏に本校の廃校が決定した際にも真っ先に井上さんに報告させていただきました。その際、ぼつりと「残念ですね。」と言われたのが井上さんとの最後の会話となりました。その後、何度かお電話をしましたが連絡が取れず心配をしておりましたが、この度の訃報をお聞きし、驚き戸惑うばかりであります。時を同じくして泉鳥取高校も廃校の道をたどることとなります、在りし日のお姿を偲びつつ、ご冥福をお祈りいたします。

### 1期生が高校生だったころ…

- ・昭和51年 ロッキード事件 毛沢東死去 ロシア空軍ミグ25強行着陸、亡命。
- ・昭和52年 冒険家の植村直巳さん、単独北極点到達
- ・昭和53年 新東京国際空港（成田空港）開港 日中平和友好条約締結





炬火を掲げていざ謳う

No.30



# 我らの泉鳥取

2022年12月23日（金）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

国語科中心の卒業文集

## 飛翔

1期生から14期生にかけて、泉鳥取高校の国語科では、生徒の学習活動の取りまとめとして、『飛翔』という生徒の作品集を刊行していました。15期生でいったん終了しましたが、16期生の3年学年団と国語科が出版したのが『泉鳥のかくし味』、17期生の学年団と国語科で発行したのが『玉ねぎの産地にできた泉鳥を遠くながめて目にしみるかな』です。今では珍しくなった教科の学習活動の取りまとめや生徒の書いた小説作品、授業ノートや取り扱った教材、さらに生徒の短歌作品などをまとめたものです。



故 山口 弘先生

旧職員の話によると、この『飛翔』は国語科の故山口弘先生をはじめとする1期生の国語科担当者が授業から蓄積した取組みを発行したのがきっかけでした。第1号（昭和54<1979>年発行）の編集後記を見てみましょう。

二年間お預けになっていた文集づくりも三年目になりやっと念願が叶い、ここに国語科作成の文集、第一号ができあがりました。今年一ヶ年の各学年の作品をとりあげてみましたが三年生の卒業文集の意味もこめて三年生の作品にウェートを置いてみました。初めての試み故、内容・構成において不十分な点が多々あると思いますが、今後はより充実した文集にしていきたいと思っています。

第4号では1年生で取り上げた芥川龍之介の『羅生門』の続きを生徒が作り、「それからの下人」として発表していますし、スタジオジブリの「風立ちぬ」の原作の一つとなった堀辰雄『風立ちぬ』の感想や授業ノートが収められています。

国語科作成の『飛翔』最終号である第14号では、「泉鳥四〇〇人一首」として、卒業生全員の短歌が載せられています。時代を表す一首をご紹介しますと、

教室の 窓より見える 新空港

一番機より 早く飛び立つ

その後15期生を除く17期まで、学年団によって文集は作られましたが、生徒指導の多忙化や、当初の情熱を持つ教職員の転出、予算不足などがあって、17期生を最後に製作されなくなりました。

最後に17期生の作品から一つご紹介します。

卒業が 近づくにつれ やっと今

わかりはじめた 高校のよさ

（令和4年の『我らの泉鳥取』は本号までです。次号は令和5年1月8日再開予定です）





炬火を掲げていざ謳う

No.31



# 我々の泉鳥取

2023年1月10日(火)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 最初で最後の海外修学旅行

### ヴェトナム ダナン地方(43期生)



泉鳥取高等学校は、平成29(2017)年からイングリッシュ・カフェを設置するなど、国際化に力を入れていました。英語のコミュニケーション能力向上の仕上げとして、平成30(2018)年、海外修学旅行を企画しました。行き先は、同じアジアの地であるヴェトナムを訪ねることになりました。当時のPTA新聞「つばさ」の原稿から若干修正して掲載します。

平成30(2017)9月4～8日、ベトナムのダナンへ、3泊5日の修学旅行に行ってきました。1日目は海外の空港での乗り換えを経験し、目的地であるダナン空港へ到着。レストランで夕食をとり、ホテルへ。初めての本場ベトナム料理、戸惑いの声も多く聞こえましたが、それも経験!!と言いながら、パクチーをよける私...

2日目は現地のFPT高校と学校交流、各校パフォーマンスを行い、ベトナムの遊びを通じて交流しました。その後、世界遺産の街であるホイアンでFPT高校の生徒のガイドの下、B&Sプログラム(班別で散策)を行いました。その後、ショッピングモールで買い物を楽しんだ後は、夜のホイアンに訪れ、ランタンの灯った美しい道を散策しました。慣れない言葉や通貨、土地を楽しそうに過ごしていました。

3日目の午前、マリンスポーツやかご舟体験、ランタン作り等それぞれが選択した体験を行いました。午後はプライベートビーチでビーチレクリエーション。各クラス対抗でビーチフラッグや騎馬戦、借り物の競争等を行い、3組が優勝しました。この日は、ホテル敷地内での自由時間が長く、友達との部屋へ遊びに行ったり、プールで遊んだり大きく羽を伸ばしていました。

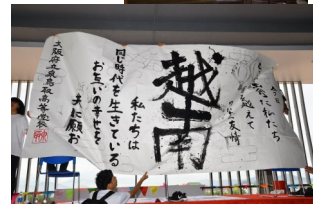
4日目は朝から世界遺産であるミーソン遺跡を訪れました。その

後、再びマーケットで買い物した後、飛行機に乗り、翌朝関西空港に無事帰国しました。

食事や文化の違い等、慣れないところもありましたが、ジェスチャーや知っている英語を駆使して必死にコミュニケーションをとり、日本円からベトナムドンへの両替まで出来るようになっていました。

生徒の修学旅行の感想からは、「食文化の違いへの戸惑い」が多かったですが、それ以上に「もっと海外を見てみたい。」「日本では見れないものがたくさんあった」と生徒の成長を感じれる感想も多々ありました。

日本の良さを改めて実感しながら、「海外の人々の暮らし」というグローバルな視点を肌で感じとり、大きく成長した修学旅行だったと思います(文:田畑貴史)。



次の44期生も続いてヴェトナムへの修学旅行を企画していましたが、新型コロナのまん延で断念を余儀なくされました。結局最初で最後の海外修学旅行となりました。





炬火を掲げていざ謳う

No.32



# 我らの泉鳥取

2023年1月16日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

平成7(1995)年 阪神・淡路大震災

## 対岸の神戸が...

平成7(1995)年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地震が発生、震源は明石海峡近辺、マグニチュードは7.3、最大震度7という大地震です。

### 学校の被災状況

泉鳥取高校のある阪南市近辺では震度は4、校舎も若干の被害を受けました。普通教室のA棟、特別教室のB棟ともに2つの校舎がつながっていますが、そのエキスパンションジョイントの床がめくれ、壁にひびが入りました。また、社会科準備室にあった縄文・弥生式の土器(レプリカ)が全て床に落ちて割れ、理科の実験器具にも被害が及びました。ただ、幸いなことに生徒・保護者、教職員を含めて人的被害はありませんでした。

次の日から授業は再開、当日は雨が降っていましたが、2日目には雨がやみました。その折、窓の外を眺めていた生徒が、「関空の向こうの空がかすんでる」と言っていたので見てみると、神戸のあたりが薄曇りになっていました。神戸市で大火災が発生し、その煙で対岸に見えるはずの神戸三宮がかすんで見えないのです。

### 僕らに何かできへんのかな? 生徒たちの声

授業を受けていた生徒は、被害を問の当たりにして、口々に「俺ら何かできへんねやろか?」「普通に授業受けててええん?」と教科担当に訴えていました。今から思えば、泉鳥取高校の生徒が人にやさしい、頼もしい、たくましい人が多いことに感動しました。当時の生徒たちが作った短歌がありますので、ご紹介します。

大地震 今年に入ったばかりで

この先どうなる神戸の人たち

震度七 初めてなのでわからない

その大きさとその恐ろしさ

(17期生 『玉ねぎの産地にできた泉鳥を遠く眺めてめにしみるかな』(国語作品集))より

今から思えば、災害発生時のボランティアに多くの人に参加するようになったのは、阪神淡路大震災からだたと認識しています。なお、教職員も災害復旧に10名以上がボランティアに参加しました。



黒煙を上げる神戸(Chance for Childrenサイトより)

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。

職員室前のジョイント。

割れているのが震災の影響





炬火を掲げていざ謳う

No.33



# 我らの泉鳥取

2022年1月23日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 連結机

— 机椅子一体型 意外に古い歴史 —

泉鳥取高校の現在の学級定員は40名ですが、今は1学級30人程度となっています。しかし、昔は1教室に51人入っていたことがありました。その秘密はこの「連結机」にあったのです。

物理実験室にあった昔の連結机。これだと教室に50個置くことができました。⇒



この連結机は、机と椅子が一体となっています。大阪府立高校では、新制高校スタート以来、この形の連結机(ただし、木製のもの)が使われていました。本校でも、昭和51年の開校から平成7(1995)年頃まで、すべての生徒の机が写真にあるスチール製の連結机でした(障がいのある生徒は除く)。1期生の卒業アルバムを確認すると、すでに1期生から、このタイプが使われていたことが分かります。

教室の設計もこの机を基本に作られており、1教室に7列×7脚=49脚の机を並べました。効率は良いものの、体の大きな生徒には窮屈で、椅子座面後方のビスを外したり、背もたれを押し曲げて座ることもありました。泉鳥取高校では、昭和61(1986)年入学の11期生が48人学級12クラス576人入学しており、原留生を含めると51人学級ができましたが、詰めれば全員の机が入りました。

この机(机椅子一体型)の歴史は意外に古く、イギリスでは18世紀にはすでに使われていたようで、アメリカでも使われていました。ただし、当時の者はすべて木製で、机の天板や椅子部分は天板がはねあげられ、テキストの出し入れができるようになっていました。この机が明治時代に輸入され、旧制中学校などで使われていたようです。生徒たちの学習に必要な最小限の面積の机、ということで活用されました。

平成5(1993)年に高校の募集定数が1クラス40名となり、平成7(1995)年頃から徐々に分離机(机と椅子が分離しているタイプ)が導入され、連結机は徐々に姿を消していきました。今から思えばよく辛抱してくれていたな、と思います。

子が分離しているタイプ)が導入され、連結机は徐々に姿を消していきました。今から思えばよく辛抱してくれていたな、と思います。



イギリス アンティークの連結机



44期生の授業風景



13期生の授業風景





炬火を掲げていざ謳う

No.34



# 我らの泉鳥取

2022年1月30日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

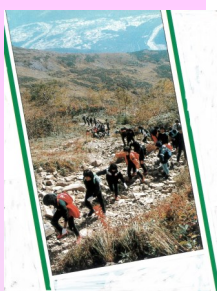
## 修学旅行今昔

### 登山、スキーに民泊、海外、震災学習

本校では当初から修学旅行は2年で行っていました。特に最初の頃は、観光よりも体を動かす「野外活動」として実施していました。その方が生徒の達成感が得られやすかったからです。1期生は岡山から鳥取での登山、10期生以降はスキーが中心となり、36期以降は沖縄も行き先に含まれました。今回は修学旅行の「初」を特集してみました。

#### 最初の修学旅行(野外活動)

1期生は昭和52(1977)年10月に岡山県蒜山、鳥取県の鳥取砂丘、大山で実施しました。その後も登山が続きました。写真は7期生が唐松岳・八方尾根登山を行ったときの写真です。



#### 初めてのスキー



初めてのスキーは昭和55(1980)年、志賀高原蓮池スキー場で実施したのが初めてで、昭和61(1986)年の10期生志賀高原発着・ブナ平以降平成11(1999)年23期生まで、信州でのスキー活動が続

きました。写真は18期生です。

#### 初めての航空機利用

長年信州でのスキー修学旅行を実施していた本校で、初めて飛行機を使ったのが、平成12(2000)年、24期生でした。北海道苗場でのスキーと東京観光でした。

#### 冬からの脱却 観光と体験

10期生から連綿と続いたスキー修学旅行ですが、平成13(2001)年、6月にラフティングなどの体験を取

り入れた北海道ルスツでの修学旅行を実施、久々に冬からの脱却を図りました。

#### 初のメンソーレ 沖縄

平成20(2008)年、36期生が初めて沖縄にわたりました。民泊、マリンリゾート体験、美ら海水族館などの観光と、これまでになかった取組みが行われました。



#### 初の(唯一の?)海外修学旅行

泉鳥取で初めての海外修学旅行は、令和元(2019)年の43期生です。ベトナムのダナンでの学校交流を中心に、ホーチミン、ハノイ等をめぐりました。

#### 断腸の中止 44期

令和2(2020)年は前年度と同じくベトナムに修学旅行を行う予定でしたが、新型コロナウイルスのまん延で行き先を沖縄に変更したものの、結局実施中止を余儀なくされました。

#### 何としてもやるぞ! 45期

令和3(2021)年の45期は、コロナによる延期や行き先変更が相次ぎましたが、何としても修学旅行を実施するべく、行き先を北海道から岐阜県に変更してスキー修学旅行を実施しました。



炬火を掲げていざ謳う

No.35



# 我らの泉鳥取

2023年2月6日（月）

編集：泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 旅行規程

少ない旅費のやりくりから始まった(1985年～2000年)

30周年記念誌の66ページに「旅行規程」という項目があります。学校行事として旅行（つまり旅費のかかる行事）の実施に関わる学校の内規なのですが、記念誌にはその硬直性から廃止に至るまでの事が書かれています。しかし、その規程がなぜ作られたのか、成立過程と背景には触れていません。実際に旅行規程を扱った当事者の一人として、その経過を残しておきたいと思います。

### 「旅行規程」って何？

「旅費規程」平成6(1994)年盤を見ると、1年の遠足（校外学習）は堺市以南で和歌山市以北でのバーベキューやハイキング、3年生はバスを使った遠足、2年生に至っては学校起点の徒歩行事となっています。また、臨海訓練は鳥取県東浜、さらに2年の修学旅行（野外活動）は長野県以西でのスキーと決まっていた。またクラブ合宿は夏に2泊3日までと事細かに決められていました。

旅行規程ができたのは昭和60(1985)年、規程を定めた理由は、学校に割り振られる旅費予算をなんとかやりくりするためでした。

新設校で遠隔地、さらに生徒指導案件や就職希望生徒が多いため、家庭訪問や企業訪問などの旅費がかさむうえに、臨海訓練でクラス数×2名とさらに水泳指導に25名の教員が付き添います。これらに支出する旅費を確保するために、旅費を伴う出張を事前に規定して、予算の焦げ付きをさせない、苦肉の策でした。

3年ごとに見直していましたが、その時に学校で行う宿泊行事について、学校全体を見渡して行事を見直すとともに、行事の意義の再確認という副次的な効果がありました。学校として必要な行事なのか、ずいぶん激しい議論をした記憶があります。平成7(1996)年に臨海訓練が廃止されて、旅行規程の必要性は下がり、平成12(2000)年に廃止されました。







炬火を掲げていざ謳う

No.36



# 我々の泉鳥取

2023年3月15日（水）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 第45回 卒業証書授与式

～来年は2学年に～

2月28日（火）、第45回卒業式が挙行され、45期生163名が卒業しました。。



### 校長式辞（要約）



皆さんは新型コロナウィルスのおかげで、大変な状況の中スタートを切らなければなりません。「入学式」は実施できず、「一斉休校」が学校の始まりとなりました。やっと登校できるようになったのは6月になってから

の教科書販売の日でした。

学校が始まって、本来高校生活で得られる行事での楽しい姿を学ぶ機会がうばわれました。3年間最大の行事である修学旅行も何度も時期や方面を変更し、実施を検討し、最終的には岐阜県へのスキー修学旅行を何とか実施できました。今日までマスクを外せることはありませんでした。制約の多い高校生活だったと思います。

今後の人生においても様々な苦勞や困難が立ちまわることがあるでしょう、しかし君たちは新型コロナウィルス感染症を乗り越えた世代として、これから先、泉鳥取高校の歴史に記憶されることと思います。

どんなときにも前向きで、負けない、最後まであきらめない心、「イズトリ魂」を大切にしてください。

「偉大な目標が人間を偉大にする」昨日の自分と比べて今日の自分は成長したのか。先月の自分と比べて今日の自分はどうか。去年と比べて今年はどうか。自分と他人とを比べるのではなく、自分自身の過去と現在と未来の前進を比べる。最後まであきらめない。それが「イズトリ魂」です。

本校で身に付けたその「イズトリ魂」のもと、常に最善を尽くし、必ずや希望や夢を実現できると確信しております。終わりに、卒業生の皆さんひとり一人が、それぞれの世界に向けて力強く旅立ち、その前途が洋々たることを願って式辞といたします。

### 卒業生 答辞（要約）

私たち三年間の高校生活は、コロナとの闘いでした。入学式もできないまま、約2ヶ月間自宅待機となり、新しい友達にも会えず、不安でした。六月に初めてクラスメイトに会えた時は、やっと高校生活が始まると思い、本当に嬉しかったことを今でも覚えています。その後もコロナウィルスの影響を受け、行事が開催されず、楽しい記憶が少ない1年間でした。

2年生では高校に入ってから初めての体育祭。団活動や競技、すべて楽しかったのを覚えています。校外学習は神戸に行きました。高校に入ってから初めての遠出は楽しかったです。文化祭は、校外学習で行った南京町をイメージした飾り付けや出し物をしました。初めてちゃんと行事を実施できた年で、いい思い出になりました。1月、修学旅行は、またコロナの影響で延期となりました。しかし、行き先と場所を変更して春休みに行った岐阜県、愛知県で2日間、スキー、スノーボードをしました。初めての体験ばかりで最高の思い出になった修学旅行でした。

そして3年生、体育祭では、どのクラスも優勝を狙い、応援がグラウンドいっぱいに響き渡っていました。応援パフォーマンス、憧れていた團長として動いていく中で、期待と不安に押しつぶされそうになりました。ですが一人一人が協力してくれたことで一致団結できました。みんなから貰った花束は私にとって一生の宝物です。高校生活最後の行事の文化祭。舞台でのパフォーマンスが可能になり、全クラス協力し合い、最高のパフォーマンスができました。

受験に向けて必死に勉強する友達、就職の面接練習をする友達、それを遅くまで残って一緒に考え、悩んでくれた先生方もいました。その度に「みんなが一生懸命に取り組んでいる姿を見る度に、私も」頑張ろうと思えました。感謝でいっぱいです。

在校生の皆さん、残り少ない高校生活存分に楽しんでください。

そして最後に家族のみんな。時には喧嘩をし、心配や迷惑もかけてきました。これからは私達が恩返しできるように頑張りますので、どうか温かく見守っていただけたらと思います。

最後になりましたが、学校生活を支えて下さった全ての方に改めて感謝申し上げます。これからも私たちを見守り、ご指導の程よろしくお願い致します。

卒業生代表 井上 心華 橘 寧々



炬火を掲げていざ謳う

No.37



# 我らの泉鳥取

2023年4月10日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 新入生のいない はじめての春

— 入学式なき新学年 令和5年度 —

令和5年度がスタートしました。今年度は募集停止となり、初めて入学式のない新年度を迎えています。教職員も多く転勤、定員も教頭1名、教科教員12名が減少、生徒総数も昨年度444名スタートだったのが、今年度は2年生と3年生、全校生徒224人となりました。ですが、今年からは始める取組みも多数計画されています。

### ・「人」は「人」との対面で育つ

長年学校の教育活動に大きな制約をもたらしていた、新型コロナウイルス感染症が来る5月8日に感染症2類相当から5類に格下げされ、本来の教育活動を取り戻せることになりました。

4月からは、授業中のマスク着用に対する協力要請が解除されます。小グループでの話し合いやワークショップなどが実施できるようになり、教育のバラエティが増加します。

今年度の教育活動で特筆できることは以下の3点です。

### ・金融教育モデル校

金融広報委員会が主催する「金融教育モデル校」事業が今年度取りまとめの時期に入ります。今年度は2年生を中心に、「総合的な探究の時間」や家庭科の授業を中心に、「お金と自分のかかわり」を探究、秋には金融に関わる大阪市内の見学会を予定しています。

### ・ウタリ協会との連携 アイヌ文化を学ぶ

2年生の修学旅行でアイヌ文化博物館を見学し、アイヌ文化を学ぶこともあり、当事者をお招きしてご講演いただく計画を進めています。「旧土人保護法」によりいわれなき差別を受けていた人々の怒りと、大切にしてきた文化を学び、多様な文化の共生について学びます。

### ・2年は5月 3年は11月の校外学習

修学旅行を実施する2年生は、それまでのクラスづくりに資するため、久々に校外学習を5月に実施します。また、思い出作りを行う3年生については、校外学習を11月に実施します。

今年度も「我らの泉鳥取」精力的に発行いたします。よろしくお願いいたします。



強風にあおられて花散らしました（4月7日）





炬火を掲げていざ謳う

No.38



# 我らの泉鳥取

2023年4月18日（火）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

4年ぶり 5月14日（日）

## 母の日は同窓会総会

— 今年はやります！お楽しみに！！—

新型コロナウイルスの影響で、2019（令和1）年を最後に実施できていなかった同窓会総会ですが、今年度は2023（令和5）年5月14日（日）、4年ぶりに開催できることになりました。

2019（令和1）年度同窓会総会に来られた方、また過去5年以内に参加された方には改めてご案内いたしますが、この通信をご覧になった方は、お知り合いにもお誘いあわせの上、当日お越しください。

泉鳥取高校の同窓会は、昭和54（1979）年、1期生が卒業してから、毎年「母の日」（5月の第二日曜）に食堂で開催してきました。下の写真は、1996（平成8）年の総会の様子です。食堂（白川豊子さん）の全面協力で、お昼ご飯を食べながらの懇親を深めてきました。バーベキューをしたこともあります。今年度の親睦の内容については、まだ未定ですが、楽しんでいただきたいと思います。



96年度、井上会長と有吉校長



家族連れも大歓迎 和気あいの懇親会

大阪府立和泉鳥取高等学校

令和五年度 同窓会総会

- 一。日時 令和五年五月一日（日）十一時から
- 二。会場 同校 食堂にて
- 三。内容 事業計画・予算等の決定  
すぐさま懇親会に移ります。
- 四。必要なもの 特にありません。



炬火を掲げていざ謳う

No.39



# 我らの泉鳥取

2023年4月24日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 大公孫樹（オオイチョウ）の木

— ずいぶん大きくなりました —



左は令和4(2022)年11月25日現在のオオイチョウ。

上の写真は昭和60(1985)年、7期生卒業アルバムから。赤い○で囲んだ部分がイチョウの苗木である。

泉鳥取高校は四季折々の花に囲まれた学校で、3月～4月のサクラにシダレザクラ、4月中下旬から5月にかけてアメリカハナミズキ、5月のツツジ、6月のアジサイ、初夏のユリ、真夏のヒマワリ、秋は紅葉にコスモスと四季折々の花と植物が心を癒してくれます。

中庭一番奥にうっそうと茂るオオイチョウ。2本つがいになっており、人の手で植えられたのはまちがないようです。卒業生の記念植樹なのかと調べていますが、木の周りに何の看板もないため、いつ、だれが植えたのかつまびらかではありません。しかし、泉鳥取高校では、自転車置き場のヤシの木と並んで、最も大きい木の一つとなっています。

右の写真は昭和60(1985)年、7期生の卒業アルバムです。泉鳥取の卒業アルバムでは定番となっている、学年全員の写真の一部を切り取りました。そ

のうち、赤い二重丸で囲んだ部分が、現在イチョウの立っている場所です。細い木が確認できます。これがどうやらイチョウの木のようなですね。

泉鳥取高校にはこれまでの卒業生や周年行事で多くの木が植えられています。正門横の桜は、5期生の記念植樹ですし、その向かいのフェニックスは10周年の記念植樹、裏門横の桜の木は、開校の記念に第1回入学式で植樹されたものです。

春のサクラから冬のツバキまで、これまでの技能員さんの丹精により四季折々の花や植物に彩られた学校となりました。







炬火を掲げていざ謳う

No.40



# 我々の泉鳥取

2023年5月1日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

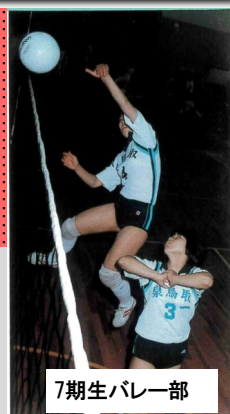
<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>



7期生剣道部

## 部活動盛衰記

ー これまでの部活動を振り返る ー



7期生バレー部

ここで、高等学校において、思い出の大きな部分を占める部活動についてみてみましょう。部活動について各周年記念誌を確認すると、時代によって大きな変動があります。

まず10周年段階では運動系16、文科系19、合計35のクラブがありました。続いて20周年には運動系14、文科系14、合計28のクラブがありました。ところが30周年段階では運動系7、文化系5しか活動していません。40周年になると、運動系12、文化系12の合計24のクラブが活動しています。これまでになかったダンス部やトンボ玉クラブ、復活した剣道部など、30周年の後、生徒自治活動が復興したことが分かります。

しかし、令和2(2021)年以降新型コロナのまん延で部活動は下火となり、現在は陸上、テニス、eスポーツ、サッカー、バスケット、家庭科、農園、ダンス、美術、軽音楽の各部とバドミントン愛好会が活動しています。

### 10周年記念誌に掲載されたクラブ

男子バレー、女子バレー、水泳、男子バスケ、女子バスケ、サッカー、硬式テニス、陸上競技、フォークソング、漫画研究、生物、美術、器械体操、軟式庭球、ラグビー、バドミントン、柔道、剣道、部落問題、写真、書道、華道、演劇、茶道、吹奏楽、歴史研究、バトン、手芸、新聞、合唱、女子ハンドボール、ギター、英語、放送、女子卓球



12期生 女子バレー部

### 18期生 男子バスケットボール部



### 20周年記念誌に掲載されたクラブ

男子バレー、女子バレー、水泳、男子バスケ、女子バスケ、サッカー、硬式テニス、陸上競技、軽音楽、漫画研究、生物、美術、器械体操、ソフトテニス、ラグビー、バドミントン、柔道、剣道、部落問題、写真、書道、華道、演劇、茶道、フィールドワーク、バトン、家庭、情報処理同好会

### 30周年記念誌に掲載されたクラブ

女子バレー、水泳、バスケ、サッカー、硬式テニス、陸上競技、軽音楽、漫画研究、フィールドワーク（生物）、美術、器械体操、農園



36期硬式野球部



24期陸上競技部

### 40周年記念誌に掲載されたクラブ

バレー、水泳、男子バスケ、女子バスケ、サッカー、硬式テニス、陸上競技、軽音楽、漫画研究、フィールドワーク、美術、空手同好会、剣道、写真・報道、書道、茶道、家庭科、農園、硬式野球、ダンス、トンボ玉、卓球



炬火を掲げていざ謳う

No.41



# 我々の泉鳥取

2023年5月8日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 新型コロナ 5類相当へ

— 2020年からのパンデミックを振り返る —

2023(令和5)年5月8日、これまで感染症法上、2類に準じる感染症として、史上まれにみる感染防止策を行った新型コロナウィルス感染症が、毒性と感染者数の低下から、3年ぶりに季節性インフルエンザと同様の5類感染症に位置付けられることになりました。2019(令和元)年12月以来続いてきました感染予防対策、感染後の措置についてても、5類に格下げされます。学校の教育活動では、対面の喫食や音楽での合唱、家庭科での調理実習等制限が加わっていた教育活動も以前のように展開できることになります。これを機に、泉鳥取高校における、新型コロナ感染症についての対応を振り返り、それを歴史としてとどめたいと思います。

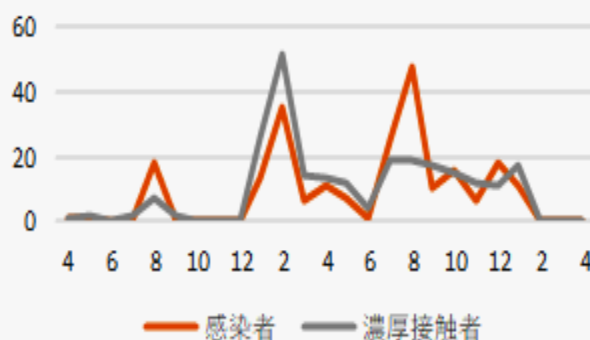
### 2020(令和2)年度 臨時休校から始まった

2020(令和2)年の3月、当時の安倍晋三首相は、突如「全学校の臨時休校」を発表、この臨時休校は4月まで続き、結局5月には分散登校、6月から徐々に授業再開となりました。生徒たちも先生方もマスクをしたままの授業となりました。家庭科の調理実習や音楽の合唱指導が行えず、体育の実技も対面で行う競技は避ける、日常の授業にも大きな影響が出ました。右のグラフは2021(令和3)年度から今年度にかけての本校の感染状況を折れ線グラフで表したものです。

### 人との対面が大切 人と出会う教育

2022(令和4)年度卒業の44期生はこの影響をものに

### 2021～2023年感染状況



受けました。入学式は行えず、修学旅行も体育祭も中止、文化祭も出し物を制限され、舞台発表なしで実施、部活動の練習も制限が大きく、全国大会が軒並み中止となり、高校での思い出を作る場面が極端に減りました。

クラスづくりや集団作りでもアイスブレイキングのワークショップもできないため苦心をしました。しかし、これは本校だけではなく、全国的にこの状況となりました。

逆に学習の遅れを取り戻すため、「一人一台端末」、つまりネットを通じた遠隔地での授業受講が可能となりました。

オンライン授業やオンデマンド授業が行われる反面、教育における「人と対面する」ことの重要性を改めて認識させられた3年間となりました。

### 新型コロナの「5類移行後」の対応①

|                    | 現在（～5月7日）                                          | 5類移行（5月8日～）                                                                                   |
|--------------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外来<br>発熱患者等の<br>対応 | ●「診療・検査医療機関」（いわゆる発熱外来）を中心に対応                       | ■ 広く一般的な医療機関で対応※<br>※自院での診療困難な場合には、当該医療機関が、診療可能な医療機関への受診を案内<br>受診前に医療機関に連絡し、受診時はマスクを着用してください。 |
| 費用                 | ・新型コロナに関する費用（検査等）は、自己負担なし<br>・初診料等は、自己負担あり         | □ 医療費等の自己負担あり※<br>※新型コロナ治療薬（ラゲブリオ、ソコバ等）の薬剤費のみ、自己負担なし                                          |
| 入院                 | ●入院受入医療機関が受入れ                                      | ■ 重症、中等症Ⅱ（酸素投与必要）の患者<br>→ 入院受入医療機関が受入れ<br>■ 軽症、中等症Ⅰで入院を要する患者<br>→ 入院受入医療機関に限らず受入れ             |
| 費用                 | ・医療費は、自己負担なし<br>・新型コロナ以外の費用や入院時諸費用等（差額ベッド代）は自己負担あり | □ 医療費等の自己負担あり※<br>※高額療養費制度の自己負担限度額から原則2万円を減額した額が自己負担の上限                                       |

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。





炬火を掲げていざ謳う

No.42



# 我らの泉鳥取

2023年5月15日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 泉鳥取の情報教育

府内でも早い昭和59年度から

平成6(1994)年より始まった教育課程では、教科「情報」が新設され、すべての高校で情報教育がスタートしましたが、泉鳥取高校では、府内でも早い昭和60(1985)年度から情報教育が始まりました。その当時は教科としての「情報科」はまだなく、商業科の科目である「情報処理」「文書処理」、工業科の「工業情報処理」等がパソコンを活用した授業として学習指導要領に位置付けられていました。本校では、情報教育の特別予算によって、パソコンが25台設置され、数学科と理科の教員が免許外申請を行って、選択科目「情報処理(商業)」の授業をスタートさせています。

昭和59(1984)年、本校にパーソナルコンピュータ富士通FM77が25台設置されました。ただ、現在とは全く異なり、アプリケーションソフトはなく、BASICという機械語で、自分でコマンドを入力してソフトを作成しないと動きませんでした。コマンドは3.5インチのフロッピーディスクで保存し、ブロック崩しやテニスゲームを皮切りに、BASICの基本命令を学んでいました。また、機械も25台しかないため、授業では2人で1台の機械を使わざるを得ませんでした。



平成4(1992)年度の学習指導要領改訂とほぼ同時期に、本校にLAN接続された新たなパソコンが設置されました。この時期になるとパソコンを動かすオペレーションシステムが導入され、MS-DOS(マイクロソフト社のドライブオペレーションシステム)が内蔵された、富士通FMR50型が50台導入されたのです。但し、現在のように多くのアプリケーションが前もってインストールされているのではなく、また、ハードディスクもついておらず、アプリケーションソフトを立ち上げるためには、5インチのフロッピーディスクを抜き差しすることが必要で、しかもそのソフトは別途購入、ソフトのコンパチビリティ(互換性)はなく、富士通用のソフトを購入する必要がありました。

当時、これまでの「情報処理」に加えて、就職する生徒の2年選択科目として「文書処理」を設定しまし

た。その授業のためには、機械の台数分のワープロソフトが必要でした。

ちょうど創立20周年の節目に当たったため、記念品としてワープロソフトを寄付いただきました。さらに、簡易プリンタをすべての機械に設置しました。



その後平成15(2003)年、学習指導要領の改訂で、全校で教科「情報」の授業が必修修化され、泉鳥取高校の情報教育に他校との優位性がなくなり、通常の全日制普通科における情報教育と同様の内容になりました。

ベシックで絵を描く生徒(1992年頃)



令和4(2022)年度の「社会と情報」の授業

生徒が調べた結果をプレゼンテーションしている



炬火を掲げていざ謳う

No.43



# 我々の泉鳥取

2023年5月23日（火）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 第45回同窓会総会 久々の盛況

— 80名の参加 古い同窓生も！！ —

去る5月14日（日、母の日）、府立泉鳥取高等学校第45回同窓会総会が本校食堂で開催され、5期生から45期生、旧職員や現職教職員含めて80名の参加で、成功裏に行えました。

今回阪南市の全面協力で、市内全域に広報をかけ、さらにコロナ前の総会に参加していただいていた同窓生にもお声をかけさせていただきました。次年度は、この校舎で行える最後の同窓会になります。



総会議事進行（教頭、校長、会長、副会長）

会長・校長挨拶、黙祷（井上名誉会長）ののち、活動報告、

昨年度の決算 会計監査報告 令和5年度役員選出

令和5年度事業計画 令和5年度予算 閉校記念事業実行委員会

の立ち上げについて

いずれも全会一致で可決成立しました。

### 久々の懇親会 古い卒業生も多く参加

今回、阪南市の広報でお願いしたためか、20期生までの古い卒業生が多く参加してくれました。

（5期～15期 19名、25期～43期 24名 45期（卒業生）16名）参加者からは古い先生と旧交を温めたいという意見が多くあり、今後連絡をとっていくこととなりました。

また、今回は校舎を解放し、思い出の教室の見学もしていただきました。

### 部活動OB・OG会 学校の見学等について

今回の同窓会をきっかけにあるクラブの卒業生から校内でOB・OG会をしたいというリクエストが来ています。この場合は、必ず事前に教頭までご相談ください。また、学校の見学も、事前に教頭までご相談ください。授業に支障が起きないように見学していただきます。



食堂業者（白川さん）の協力で

懇親会も盛り上がりました





炬火を掲げていざ謳う

No.44



# 我らの泉鳥取

2023年5月29日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

部活動列伝

## 栄光の器械体操部

— 府立高校でトップクラス —



本校の名物クラブといえば、陸上競技部、男女バレーボール部、男女バスケットボール部、器械体操部といったところが挙げられますが、今回は器械体操部を採り上げましょう。

器械体操部は昭和56(1981)年に高体連に加入後、昭和57(1982)年度から昭和60(1985)年度の高校総体において大阪府内公立高校でトップの成績を上げ、昭和59年60年度の二年連続で大阪府・上海市友好体操競技大会に参加しています。当時は部員数も50名を超えるような大所帯で、創立10周年記念事業ではダンス部と協力してパフォーマンスを行っています。その後も健闘を続け、平成の初期には府立高校大会の常連校として活動していました。



1期生卒業アルバム 器械体操部

平成7(2005)年には18期生の満田智久さんが府立高校体操競技大会自由の部で個人総合1位となりました。その時の賞状と演技写真は令和4(2022)年まで本校玄関に展示されていました。

しかしながら、平成18(2003)年度に保健体育科の高橋貴美子先生が転出されてからは、器械体操の指導ができる教職員がいなくなり、平成24(2012)年には休部、平成27(2015)年に部活動

としての歴史を閉じました。

満田さんは大学を卒業してIT関係に就職した後、両親の故郷である四国でミカン農家をされています。2022年6月、高橋先生とともに本校を訪問してくれ、玄関前に展示していた賞状・写真を持って帰られました。



器械体操部の廃部は「とても残念です。それに、顧問をしてくださっていた、濱本(泰治)先生が亡くなられたのもショックです。でもこの学校で、体操ができて、よかったと思っています」と語ってくれました。



↑ 18期満田さん賞状

↖ 在りし日の濱本先生

← 7期生卒業アルバムより

1994年上海市・大阪府友好体操競技大会



炬火を掲げていざ謳う

No.45



# 我々の泉鳥取

2023年 6月 6日(火)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

施設秘話(4)

## 学 年 職 員 室

— 生徒と教職員の距離を縮める役割 —

「我々の泉鳥取」No.21で進路指導室の移動の話を書きましたが、その時に触れられなかった「学年職員室」について振り返ります。

もともと泉鳥取高校には学年職員室はなく、2階・3階の1スパンの小部屋は生活指導室、4階の小部屋は進学資料室として使われていました。平成15(2003)年、進路指導室と生活指導室を整理し、学年職員室を設置しました。当時の思いを、30周年記念誌、27期学年主任だった平野芳夫先生の文章を参考に振り返りましょう。

**我々の学年で沸き起こった一つの指導法として、学年職員室を活用した指導でした。**

現在において、これは決して新しい取り組みでもユニークな取り組みでもありません。子どもたちはさまざまなストレスを抱えて登校しています。落ち着いた状態で、じっくり話し合える空間がどうしても必要であったわけです。空き部屋を利用して始まった学年職員室での様々な指導は、現在、全学年で行われています。(創立30周年記念誌 平野芳男氏の文章より)

1期から20期頃までの泉鳥取高校は、大職員室に生徒が三々五々訪れ、また教員が生徒を導いて、話し込んでいる状態がありました。ところが、個人情報等の問題もあり、大職員室に生徒を連れてきて話をすることがしづらくなり、さらに生徒と教職員の距離が次第に広がり、そのことが生徒理解をしづらくする状況を作り出していました。

学級数が減少し、教室に余裕が出てきた段階で、進路指導室を拡張・移動させるとともに、学年の職員室を作ったことが、その後の生徒指導に大きな役割を果たすことになりました。きめ細かい話し込みが行われ、荒れた状態だった学校が次第に落ち着きを取り戻していったのです。

27期生の時代は、生徒との話し込みがとりわけ尊重され、さらに農園も作られました。泉鳥取高校に

とって、新たなムーブメントが起きた時期ということになります。

今も学年職員室は、人間関係のトラブルの相談や聞き取り、遅刻指導や生徒指導、障がいや疾病のある生徒の合理的配慮等、様々な事象に対応し、生徒とのコミュニケーションの最前線として機能しています。



◀学年職員室の内部  
通常教室の半分の面積です。

学年職員室の入り口 ▶

行事予定等が見えるようになっています。







炬火を掲げていざ謳う

No.46



# 我らの泉鳥取

2023年6月14日（水）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

泉鳥取歴史散歩（2）

## 自然居士のイチョウ

— 大阪府指定天然記念物 樹齢480年 —

尾崎駅からバスに乗って和泉鳥取までくる道の途中に、ひときわ大きなイチョウの木があります。阪南市教育委員会では「自然居士のイチョウ」と呼んでいるこのイチョウの木についてご紹介しましょう。

猿楽能（能楽）の大成者である観阿弥かんあみが作ったとされる謡曲に『自然居士（じねんこじ）』というものが  
あります。もともとは実在していた仏教の沙弥しゃみ（半僧半俗の修行者）をモデルに創作された物語です。この自然居士の出生地という伝承があるのが阪南市自然田。自然居士を祀る祠が自然田の集落にあります。この傍らにある樹齢480年を超えるイチョウの木を俗に「自然居士のイチョウ」と呼んでいます。

（あらすじ）

自然居士は、京都雲居寺で七日説法を行っていました。その最終日、貧しい幼い者が現れ、衣を差し出し両親の供養を願います。自然居士も見物人も幼い者の心がけに涙します。しかしこの幼い者は衣を買うために自らを人買いに売って衣を得たもので、その幼い子を救うために自然居士は琵琶湖のほとりまで人買いの乗った船を追いかけて、人買いを諭します。

大津で人買いに追い付いた自然居士は衣を叩き付けますが、人買いにも一旦買った者は返さないという掟があります。自然居士もまた人助けに失敗したら二度と庵室に戻らないという掟があると言いはります。人買いは「言う事をきかないと痛い目に合うぞ」と脅すが「それも捨身の行」と譲らない。「殺すぞ」と脅しても「殺されても舟から下りない」としぶとい。人買いも困り果て、自然居士に舞を舞わせ、それで幼い者を返してやることにする。自然居士は舟を題材にした

中ノ舞、羯鼓の舞を見せ、めでたく幼い者を京都に連れ帰ることに成功しましたとさ。

「自然居士のいちょう」は、樹齢約480年、樹高16m、幹回り1.2mの雌株で、周囲は常に綺麗に清掃され、地元の人たちに大切にされています。

昭和56(1981)年6月1日、大阪府指定天然記念物に指定されました。（阪南市HP）





炬火を掲げていざ謳う

No.47



# 我らの泉鳥取

2023年6月21日（水）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 見守り続けて47年

### 薬剤師 津田 麗子 先生

— 開校から閉校まで —

今回は泉鳥取高校開校から、ずっと見守り続けていただいている方をご紹介します。学校薬剤師で津田薬局の津田麗子先生です。皆さんが飲む飲料水の検査や教室の明るさの検査（照度検査）、プールの水質の検査、教室の空気のチェック、布団やソファのダニ検査など、目立たないけれど大切なところで皆さんの健康を見守っていただいています。ご本人にインタビューさせていただきました。

津田先生は、本校開校以来ずっと学校薬剤師として、本校の環境改善にご協力をいただいています。

津田：あっという間ですね。開校と同時に学校薬剤師になりましたけど、前の学校医である田中公一郎先生と私は、学校の近くだから、ということで学校医と薬剤師になりました。私はほんとうにたまたま近所だったので、薬剤師会に言われてたまたま学校薬剤師になりましたけど、ここまでやるとは思いませんでした。

開校の頃の思い出をお願いします。

津田：まだ学校が出来たてで、きれいな高台に学校ができたんですけど、まだ運動場は石ころだらけで、子どもたちは運動場の石を拾っていました。当時は私も若くて何もわからない頃でしたから、養護教諭の北橋（久子）先生に学校保健についてずいぶん教えていただきました。

薬剤師としてのご苦労はどうでしたか？

津田：最初に困ったのが、水道です。当時は阪南町の水道水と大阪府水道局の水を混ぜて使っていました。当時の阪南町の水は、海水が混じっていて、塩分濃度が高かったんです。だから茶瓶でお湯を沸かすと石灰分や塩分が付着して、白い塊になります。飲み水として適切な水にするためにはどうすればいいか、大阪府の水道局とも交渉をしたりして、府水道の比率を上げたりしました。また、開校当時は、多数のクラス数（36学級）を想定して施設が作られています。受水槽も高架水槽も大きいものの、生徒は1年生が450人ほどしかいないので、水道蛇口から出る水の残留塩素濃度が足りず、飲料にはふさわ

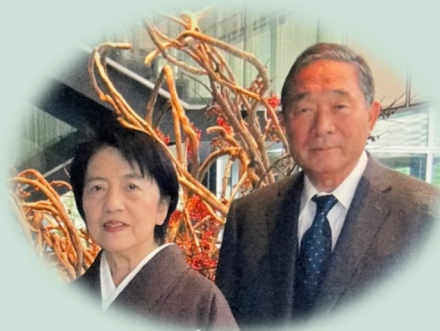
しくない状況が続きました。これは、養護教諭の先生と協力して大阪府に掛け合い、受水槽や高架水槽に仕切りをつけて、貯水量を減らし、残留塩素濃度を確保しました。このことは全国の学校環境衛生発表大会で発表させていただきました。

それ以外には、この学校は環境が良くて、ほとんど苦労したことはありませんね。ただ、一時教室の照度にコントラストが強く、カーテンの改良についてはお話ししました。

泉鳥取高校が機能統合でりんくう翔南高校統合されることについて、どう思われますか？

津田：この学校にお世話になって、長年いろいろと取り組んできました。そのおかげで叙勲（瑞宝双光章）までしていただきました。実は高齢ともなったので、そろそろ薬剤師を引退しようかと思っていたのですが、あと2年、最後まで泉鳥取高校を見守ろうと思っています。

本日はありがとうございました。



瑞光双光章叙勲時のご夫妻





炬火を掲げていざ謳う

No.48



# 我々の泉鳥取

2023年 6月26日 (月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 閉校記念事業実行委員会設置要項

令和5年5月14日の同窓会総会および同19日のPTA総会において、「大阪府立泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会」が正式に発足しました、現在在籍する生徒たちに対して、今後継続する学校と同等の学習や行事を保障し、未来に向けて泉鳥取高校を顕彰することを主な目的として、今後事業をスタートしていきます。

第1条（設置）大阪府立学校条例および再編整備計画に基づき、大阪府立泉鳥取高等学校（以下「本校」という）が大阪府立りんくう翔南高等学校に機能統合されるにあたり、**本校の取組みを継承・発展させることを目的として行う事業の円滑な実施を図るとともに、本校閉校に伴う行事を企画運営するため大阪府立泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会（以下「本会」という）を設置する。**

第2条（委員の構成）本会は、本校のPTA、同窓会及び本校教職員から選出された委員により構成する。

第3条（所在）本会は、大阪府大阪市緑ヶ丘1丁目1-10 大阪府立泉鳥取高等学校内に設置する。

第4条（役員）本会には以下の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 2名
- (3) 監事 2名
- (4) 事務局長 1名

2 委員長は、本校校長を以て充てる。委員長は委員会を代表し、会議を招集するとともに委員会の事務を統括する。

3 副委員長は、PTAの代表ならびに同窓会の代表を以て充てる。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある場合は、その業務を代行する。

4 監事は、PTAの代表ならびに同窓会の代表を以て充てる。監事は、委員会の会務内容を掌理し、会計を監査する。

5 事務局長は、教頭を以て充てる。第6条に定める事務局を統括し、具体的取組みを監理する。

第5条（役員会）上記役員は役員会を構成し、第1条に定める諸事業について、役員会により決定する。

第6条（事務局）本会に事務を処理するため、事務局を置く。事務局については、本校教職員により構成する。

第7条（事業）本会は、次の事業を行う。

- (1) 再編整備に伴う閉校記念事業の企画立案及び実施。
- (2) その他、委員会の目的を達成させるために必要な事業の実施。

第8条（会計）本会の会計は、PTAならびに同窓会からの寄付その他の収入を以てこれに充てる。

2 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、委員会設置初年度である令和5年度は5月19日をその始まりとする。

3 会計は本校事務長が行い、主査が補佐する。

第9条（その他）この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項については、別に定める。

（附則）この要綱は令和5年5月19日から施行する。

### 閉校記念事業実行委員会組織

委員長 橋本 敏和（本校校長）

副委員長 二神 勝（同窓会長）、今井あや（PTA会長）

事務局 教頭、事務長、主査、首席、学年主任、保健部長、自治会部長、その他有志



炬火を掲げていざ謳う

No.49



# 我らの泉鳥取

2023年 7月 3日 (月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 学校名懸垂幕 復活

今回は「大阪府立」付き

第13代山口陽子校長時代に設置しました懸垂幕昇降装置に長く「泉鳥取高等学校」という幕が掲揚されていきました。風雨による経年劣化のため学校名の懸垂幕だけが破損していましたが、今回同窓会より改めて学校名懸垂幕を寄贈いただきました。

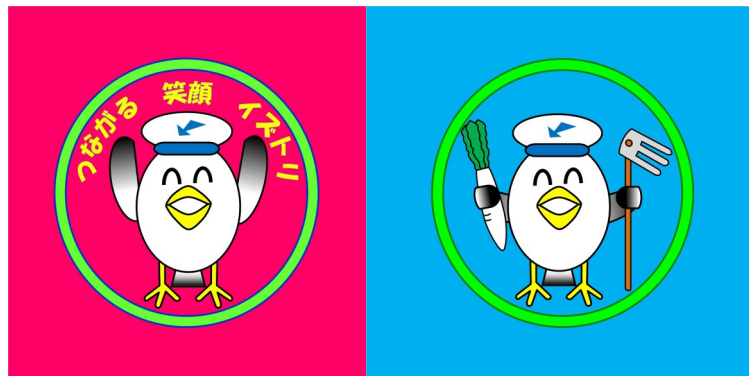


### 長い間 公立学校に長く名称の大看板はなかった

昭和から平成にかけて、長い間公立学校にはその学校の名前がわかる看板がありませんでした。平成に入ると、学校の広報的な意味も含めて、一目で学校の名前がわかるような看板が出てきました。

泉鳥取高校では1993（平成5）年に15期生が卒業記念品として、「せめて学校の校章だけでも大きなものをつけよう」と、体育館の軒に大きな校章を寄贈しましたが名前の看板は設置されていません。その後府立高校では懸垂幕昇降装置を設置する学校が相次ぎ、泉鳥取高校でも懸垂幕昇降装置が3基設置され、学校名の懸垂幕も登場しました。学校の広報活動として学校名の懸垂幕を掲示する学校が増えました。なお、下の写真にある「つながる 笑顔 イズトリ」は当時のキャッチコピーです。一番上には、当時のゆるキャラ、イズッピーが描かれています。

今回の学校名懸垂幕は、本校の正式名称、「大阪府立泉鳥取高等学校」としています。



当時のゆるキャラ イズッピー



40周年記念誌より





炬火を掲げていざ謳う

No.50



# 我らの泉鳥取

2023年7月10日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 食堂にいた大関 武双山

— 専修大学相撲部合宿 昼食は本校食堂 —



1996年頃の食堂スタッフ

泉鳥取高校の食堂は、開校当時から白川さんによって運営されています。平成3(1991)年にご主人がお亡くなりになり、お連れ合いの白川豊子さんが経営を引き継がれました。11期以降、生徒数が減少し、府立高校の食堂に入っていた大手給食会社が次々と撤退する中、泉鳥取高校の食堂は一度も休業することなく、営業していただきました。

2023年現在。白川さんは、泉鳥取高校の他、りんくう翔南、日根野、佐野工科、貝塚南の食堂経営を担われています。その食堂からちょっと珍しいエピソードを紹介しましょう。

1992年、本校食堂で見慣れぬ巨漢数人が3時間目に食事をしていました。当時教職員がお世話になっていたちゃんこ屋のご主人が専修大学相撲部のOBで、彼が連れてきた専修大学相撲部の部員たちです。相撲部員たちはちゃんこ屋で合宿、泉南市体育館で強化練習をしていました。ところが昼食を食べるような食堂がなく、白川さんが、生徒の来ない時間に彼らの食事を引き受けていたのです。

当時の食堂は昼休み以外に生徒が利用することを禁止していました。教職員は生徒の来ない3限目や4限目の空き時間に食堂を利用していたのですが、その日は3限目に相撲部員が食事に来ていたのです。その中に尾曾武人(お



そ・たけひと) くんというひときわがっちりした部員がいました。

ちゃんこ屋のご主人は、彼らとともに食事をしている教職員に対して、「こいつは伸びるよ、学生横綱とったら、すぐにでも角界にデビューする」と断言していました。

相撲ファンならお分かりでしょう。この尾曾君は1992年に大学横綱になり、直後に中退して武蔵川部屋に入門した、大関武双山(2023年現在親方藤島)なのです。幕内最高優勝1回、三賞に輝くこと13回、横綱を囑望されましたが、けがに泣いて、2004年大関で引退しました。現在は藤島親方として、本場所の審判として活動するとともに、後進を育成しています。

今でも白川さんは藤島部屋との交流があり、「武双山」の浴衣生地も大切に保存されているそうです。



1987(昭和62)年当時の食堂 生徒がひしめき合っている



炬火を掲げていざ謳う

No.51



# 我らの泉鳥取

2023年7月17日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## シークレット花火

ー学校行事相次いで中止の卒業生(43期)に向けてー



2020(令和2)年から全世界を吹き荒れた新型コロナウイルス感染症。3月には安倍晋三首相が全国一斉の臨時休校を指示し、学校への登校はその年の5月に分散登校、通常の授業時間で授業が行えるようになったのが6月になってからでした。

当時3年生だった43期生は、3年生で行う学校行事がほとんどすべて中止となりました。部活動も大きな制限を受け、柔道など対面での競技は練習すらできない状態となり、最終学年の思い出を作ることが大変難しい状態が続きました。

当時の峯近卓美校長は、この状態で卒業する43期生にエールを送るため、卒業式当日の夜、シークレット花火を計画しました。当時の朝日新聞の記事を掲載します。

大阪府阪南市の府立泉鳥取高校で26日夜、「シークレット花火」が打ち上げられた。この日卒業した3年生188人と在校生は昨年以降、新型コロナウイルスの感染拡大で学校行事の多くが中止になった。生徒たちへの励ましの思いを込め、65発が夜空を彩った。

同校の峯近卓美校長が、例年、阪南市内で花火を打ち上げてきた市民団体「はんなんもりあげ隊 be-fi」に提案し、同窓会なども協力して実現した。「密」を避けるため事前に予告はせず、生徒代表らだけが招待された。

峯近さんは「卒業生には夜空に咲く花火のごとく、自分の人生でも花を咲かせてほしい」と話した。

生徒代表としてグラウンドで花火を見た生徒会長の2年、脇川世衣(せい)さん(17)は「とても大きな花火で感動し



た。またみんなで花火を見られる日が来てほしい」と笑顔を見せた。(川田惇史:朝日新聞)

<https://www.asahi.com/articles/ASP2V72ZYP2VPPTB001.html>

峯近校長はアイデア校長というべき人で、老人会と連携して、本校食堂を近隣住民に開放(イズカフェ)したり、国際交流を推進するためイングリッシュ・カフェを企画したり、海外修学旅行を提案したりと、イベントを実施しました。

この花火もまた峯近校長の発案でしたが、秘密保持のため教職員にも告知せず、花火の燃えカスが落ちると想定されていた地域住民の皆さん以外には事前に連絡をしなかったため、住民から警察にも通報が入ってしまいました。

新型コロナのまん延はその後も続き、2023(令和5)年5月に5類に分類変更されるまで、教育活動に大きな影響を与えました。

泉鳥取高校でいえば、この長い自粛のために、部活動が停滞し、新入部員が2年間入部しなかったクラブも多く、機能統合(閉校)の発表もあって現在、ごく少数のクラブが活動することになってしまいました。







炬火を掲げていざ謳う

No.52

2023年8月23日(水)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>



# 我らの泉鳥取

## 学校を売り込もう！

— 初のフルカラー学校リーフレット —

泉鳥取高校では、10期生入学前から、中学校や就職先企業に対して学校の情報を提供するため、学校紹介リーフレットを作成していました。右のリーフレットは、1989(平成1)年度のリーフレットです。当時は予算がなく、白黒の4ページで、通学エリアや進路状況などを簡単にまとめたものでした。

1993(平成5)年度、学校紹介リーフが劇的に変化します。大阪府教育委員会が、学校広報用印刷物に別途予算を配当したのです。

予算総額は約25万円。それまでは町の印刷屋さんで、文字は活字を組んで印刷していたのですが、この別途予算で、フルカラー、文字は写真植字(写植:写真で文字原版を作成する方式)で作成できるようになりました。当時はまだパソコンが普及しておらず、あったとしてもフロッピーのワープロソフトを使うような代物か、ワープロ専用機で、印字はアウトラインフォントもなく、最も美しい印刷は写植でした。大変高かったですでしたが、美しいパンフレットが作成できました。

ちょうどそのころ、制服が変わり、教育課程も変更されました、このことも広報するためにはフルカラーのリーフレットは効果的でした。写真は当時の業者(ムラタフォトスタジオ)や故森本校長、有志教員が腕によりをかけて撮影しました。モデルは17期生、18期生の生徒たちです。

このたび、学校を整理していると、折り目のない綺麗なものが残っていたので、掲載します。この年以後、各府立高校は、創意工夫して学校紹介パンフレットを作成するようになります。

一九八九年のリーフレット



1993年のリーフレット

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。



炬火を掲げていざ謳う

No.53



# 我らの泉鳥取

2023年8月30日（水）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

修学旅行 事前学習

## アイヌの歴史と文化を知る

2023(令和5)年7月11日、47期生修学旅行の事前学習として、アイヌ民族文化アドバイザーの藤戸ひろ子さんを招いて、アイヌ民族の歴史と現在についての講演会を行いました。この取組みは公益財団法人アイヌ文化振興財団の支援を受けて実施されました。

「イラムカラプテ（初めまして）」アイヌ語のご挨拶から講演が始まりました。

47期、本校最後の学年団は来る9月9日から12日にかけて、北海道修学旅行を実施します。最初の訪問先が国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）ということで、北海道に残る先住民族であるアイヌ民族について、事前学習をすることになりました。昨年度は東日本大震災の被災地を訪問するため、気仙沼出身の方に講演をいただいたのですが、今回はアイヌ民族の藤戸さんにお話をいただきました。

明治以降、政府は北海道の開拓に力を入れます。しかしこの「開拓」は先住民族であるアイヌの人々の土地を奪う行為となりました。

もともとアイヌは、狩猟・漁労・採集で生活をしていました。これまでアイヌの人々に恵みをもたらした大地は、日本からの移民によって広大な田畑となり、



アイヌ独自の生産が破壊されました。さらに、当時の政府はアイヌを日本文化に同化しようとしてしました。このような動きの中で、アイヌ文化は次々に奪われ、現在ではアイヌ方言の中で旭川の言葉が話せる人が僅か5人ほどに減ってしまったのです。この流れを変えたのが、アイヌ文化を守るために奔走した、萱野茂さんをはじめとする人々の活動でした。

1997（平成9）年、国会はこれまでの法律を廃止し、アイヌ文化振興法を全会一致で可決、それ以降、アイヌ文化の紹介が全国で始まりました。

藤戸さんもこれまで様々な経験をされてきましたが、まずアイヌ文化を知り、それを楽しんでもらうことから差別がなくなっていくので、とにかくアイヌ文化を楽しんでほしい、という内容の講演でした。当事者にしかわからない、重たい内容もありましたが、アイヌの人々の生活に触れ、また修学旅行での楽しみが増えました。







炬火を掲げていざ謳う

No.54



# 我々の泉鳥取

2023年9月4日（月）

編集・発行 大阪府立泉鳥取高等学校 広報委員会

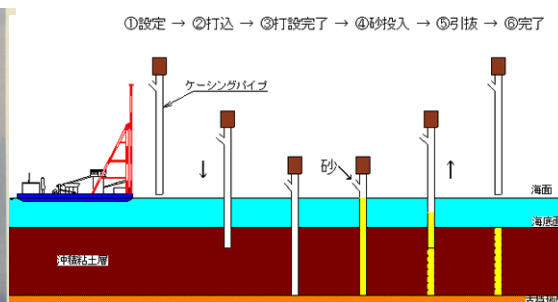
大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 関西国際空港（KIX）開港

— 大口の求人を狙え！ —

平成6年(1994)9月4日開港以来、西日本の玄関として、多くの乗降客と貨物を取り扱う関西国際空港。泉鳥取高校は関西国際空港が最もよく見える学校として、その発展を見守るとともに、空港関連の企業に人材を送り続けてきました。



サンドドレーン工法解説(奇神建設株式会社サイトより)

[https://www.yorigami.co.jp/communication/structures/ure1\\_1.html](https://www.yorigami.co.jp/communication/structures/ure1_1.html)

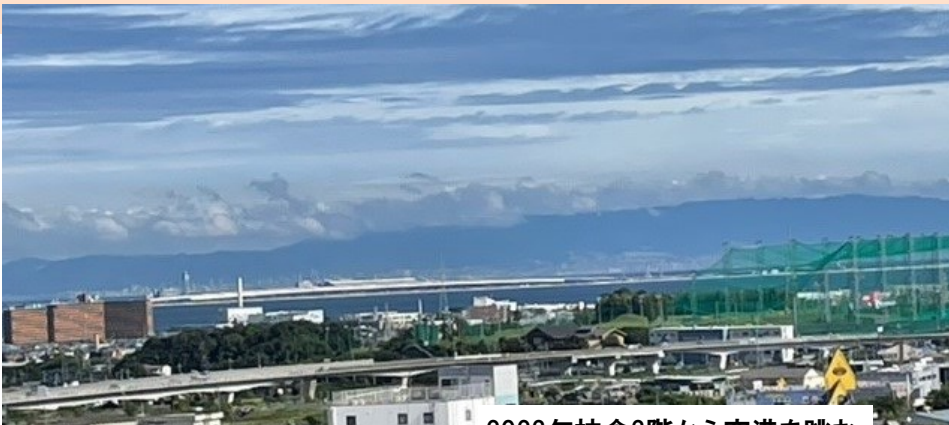
昭和62(1987)年に埋め立てが始まりました。左の写真は、泉鳥取高校から見た、関空の着工直後の写真です。サンドドレー

ン工法（砂の杭を打ち、埋め立ての土の重みで海水を追い出す工法）の砂杭の櫓が立ち並んで、静かな海が騒がしくなりました。関空の工事は大阪湾の地盤改良に手間取り、1期工事は7年の歳月が必要でした。

泉鳥取高校は、来るべき開港に伴って創出される6万人から8万人ともいわれる雇用を確保すべく、1988年頃から空港関連の事業所に企業訪問、求人依頼を続けました。

空港関連の初の求人は、1989年、地上業務（グランドサービス）の事業所、さらに航空貨物を取り扱う運輸

業者の求人から始まりました。最初



2023年校舎3階から空港を眺む

にグランドサービスの事業所に就職した卒業生（12期生）は、成田で勤務をして、関空開港に備えました。またターミナルビルに入る外食や土産物を販売するデパートなど、多くの求人を得ました。この時お付き合いを始め、現在までお付き合いのある企業が複数あり、今もなお、求人票を送っていただいています。

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。



炬火を掲げていざ謳う

No.55



# 我らの泉鳥取

2023年9月11日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 映像に残る泉鳥取高校

### 韓国アイドルグループCignature(シグニチャー)撮影に協力

韓国アイドルグループCignatureのミュージックビデオの撮影に本校が協力することになり、7月下旬に撮影を行いました。8月31日、このミュージックビデオの一部がYouTubeで公開されました。クレジットの関係上学校名は一切出てきませんが、撮影場所として卒業生等にお知らせすることについては、承諾を得ましたので、ここで紹介させていただきます。

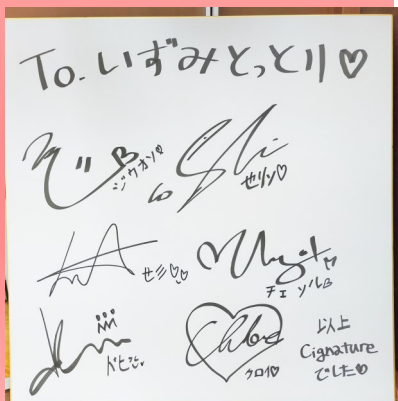
きっかけは、本当にひょんなことからでした。韓国側撮影スタッフのコーディネーターからある学校に突然電話があり、「日本の学校で、海と坂のある学校を探している」というものでした。当初予定していた学校が工事の関係で撮影に使えなかったため、急ぎ本校に連絡がありました。

泉鳥取高校としては、学校の姿がどんな形であれ映像に残してもらえるなら、と撮影に協力することになりました。ただし、職員の協力は全面ボランティア、学校の名前は出さずに撮影場所として使ってもらうことにしました。

Cignatureは現在7名のメンバーがいますが、当日は6名撮影しました。メンバーは

チェソル（ムン・チェソル）さん、ジウォン（キム・ジウォン）さん、セリン（チョン・ヨンジョン）さん、クロエ（ユン・ジウォン）さん、

セミ（ク・セミ）さん、ドヒ（クォン・ドヒ）さんの6名でした。



撮影場所は、屋上、視聴覚教室、A棟1階2階廊下、体育館、中庭、図書館、学校前の坂道、プールなどで撮影されました。たっぷりイストリが写っています。なお、現在YouTubeで一部公開されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=R2ToHyZFqDY>



体育館での撮影の様子





炬火を掲げていざ謳う

No.56



# 我らの泉鳥取

2023年9月19日（火）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>



校章イメージの鳥

泉鳥取歴史散歩(3)

## なぜ「鳥取」が阪南市に？

— 地名の起源 —

初めて泉鳥取高校に赴任した先生は「鳥取」の地名を見て驚いた人もいます。「なぜ大阪に鳥取？」この答えを阪南市HPと20周年記念誌から見てみましょう。

阪南市一帯は、古来より和泉国日根郡鳥取郷（いずみのくにひねぐんとっとりごう）と呼ばれてきました。この地名は930年代に編纂（へんさん）された『倭名類聚抄（わみょうるいじゅうしょう）』に見られます。（阪南市HPより）

### 全国各地にある「鳥取」

現存の資料によると、近世までに鳥取の地名を確認できるのは、河内国大県郡（現在の柏原市）、和泉国日根郡（阪南市）、越中国新川郡（富山県の東半分）、丹後国竹野郡（現在の京丹後市の一部）、因幡国邑美郡（現在の鳥取市）、備前国赤坂郡（現在の岡山市北区と赤磐市）、肥後国合志郡（熊本市、合志市周辺）、下総国印旛郡（千葉市、因幡氏周辺の古代の駅として鳥取驛がある）、伊勢国員弁郡（いなべ市、桑名市）などに確認されています。（なお、北海道の釧路市にも確認できますが、これは明治以降の新地名なので除きます）この中で和泉国日根郡（いずみのくにひねのこおり）の「鳥取」が阪南市の鳥取になります。（20周年記念誌より改作）

### 「鳥取」の地名起源 『記紀』から探すと…

この鳥取の地名は、いずれも古代に「鳥取部」（ととりべ）と呼ばれる人々が住んだところで。『日本書紀』や『古事記』では、誉津別命

（ホムツワケノミコト）という人の名を残すために設置された「名代（なしろ）」とされています。

垂仁天皇の子で、全く言葉を発しなかった誉津別命（ホムツワケノミコト）が、白い鳥を見て「あの鳥は何？」と初めて言葉を発したのです。垂仁天皇は人を派遣して、白い鳥を探し求め、その鳥を天湯河板拳（アメノユカワタナ）という家来がとらえて献上すると、その鳥と遊ぶうちに誉津別命（ホムツワケノミコト）は言葉が話せるようになったと言います。誉津別命を記念して、全国に派遣した鳥を取る人々を「鳥取部」としたのが最初、とされています。実際には、元号を変えたりするとき、「瑞祥」として尊重され、献上された白い鳥を取る職人が住んだ地域を「鳥取」と呼ぶようになったのでしょう。



JR和泉鳥取駅



炬火を掲げていざ謳う

No.57



# 我らの泉鳥取

2023年9月25日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 地域連携 警察 高校生ボランティア

— 平成30年度から 泉南署管内3校連携 —

平成30(2018)年、大阪府警察泉南警察署は、防犯の啓発を若者に協力してもらうとともに、高校生たちに警察業務を知ってもらい、進路の選択肢として考えてもらうことを目的に、所轄管内の3高校に対して、「警察高校生ボランティア」の立ち上げを提案し、泉鳥取、りんくう翔南、岬の各高校がその提案に応じて生徒会やボランティア部が協力することになりました。

最初の主なミッションは、急増する特殊詐欺に対する街中での啓発を中心に行うことでした。平成30年の秋には、りんくうタウン駅内広場において、特殊詐欺撲滅キャンペーンに参加し、町ゆく人に対してピラを配りました。令和になってからも、りんくうイオンにおいて特殊詐欺防止のピラまきを年数回行っています。

また、各学校で終業式や始業式に特殊詐欺撲滅

の啓発チラシを生徒たちに配布する活動を「こころの再生運動」とともに行いました。

今後積極的に警察ボランティアとして活動が増えていくと考えていた矢先、新型コロナウイルス蔓延の影響で、大きな活動が出来なくなってしまいました。



2020年校長室にて副所長から委嘱状をいただく

た。ただし、新型コロナ感染が落ち着き、再び活動ができるようになるため、各高校で高校生ボランティアの腕章を作成、今後の活動につなげようとしています。今年度もまた生徒自治会を中心に活動する予定です。



2022年りんくうイオンにて りんくう翔南高校とともに啓発活動



警察ボランティア腕章

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。





炬火を掲げていざ謳う

No.58



# 我々の泉鳥取

2023年10月2日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 部活動列伝 吹奏楽部

山椒は小粒でもぴりりと辛い

文化部の花形といえば、吹奏楽・軽音楽・ダンスの舞台発表系のクラブでしょう。とりわけ吹奏楽部は、多くの人数が必要で、しかも音感やリズム感、腹式呼吸をトレーニングするためには、運動部並みの練習量が必要です。吹奏楽部の有無で学校の雰囲気が大きく変わります。本校の吹奏楽部は、途中栄枯盛衰がありながらも令和初年まで活動を続けてきました。



音楽関係者の中では、「コンクールに出るか出ないか」ということでよく議論が行われました。いずれが正しいとは言えませんが、泉南地域は、コンクール参加校が少ないエリアでした。

泉鳥取高校の吹奏楽部もまた、コンクールよりもコンサートを重視していた時期が長いクラブです。吹奏楽部は、旧岸和田市民会館(岸和田城横、市役所の向かい側にあった)や阪南市サラダホールを借りて、定期演奏会を開いていました。

その中でもコンクールに出場した年がありました。1986(昭和61)年と1987(昭和62)年です。1986年、泉鳥取高校は高校Bの部で銀賞、1987年はその年から始まった南大阪地区大会で銀賞を獲得しています。この2年間のコンクール出場を積極的に進めたのは10期生の河合元樹さんでした。河合さんは副部長で、しかもプロのレッスンを受けるほどの熱心な部員でした。また、高校生としては特筆するほどの技術と

音量がありました。

彼は卒業後、陸上自衛隊に入り、陸上自衛隊第三音楽隊のトロンボーン奏者として1988(昭和63)年から2022(令和4)年まで伊丹の千僧駐屯地を中心に演奏活動をしていました。今は退官して、地域の吹奏楽でトロンボーンを吹いています。



陸上自衛隊時代の河合さん

吹奏楽部はその後14期生以降沈滞し、しばらくは休部状態が続きました。20周年、30周年でも吹奏楽部のコメントがありませんが、この間、活動が行われたり、活動休止したりしていました。30周年の後、また吹奏楽を楽しむ生徒が少数ながらも入部し、現在の顧問が支援して、府立りんくう翔南高校と合同で9地区連合音楽会等で演奏したり、地域の子どもの行事で演奏したりしました。



1989(平成1)年11月4日 岸和田市民会館 第3回定期演奏会



炬火を掲げていざ謳う

No.59



# 我らの泉鳥取

2023年10月5日(木)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

大阪府立泉鳥取高等学校 閉校記念事業 演劇鑑賞

劇団四季 ミュージカル

# バケモノの子

を見にいくぞ!



令和5(2023)年度の演劇鑑賞は、生徒数の減少から実施が困難と考えられていましたが、閉校記念事業実行委員会の行事として実施することになりました。来る1月18日(木)、大阪市梅田の「劇団四季シアター」でミュージカル「バケモノの子」を鑑賞します。日本最高水準のミュージカルを生徒たちに見てもらおうという教職員の願いを、PTA・同窓会が後援して可能になったものです。

## 劇団四季を選んだわけ

「全校生徒に本物のエンターテインメントを体感してほしい」という思いから、劇団四季を選びました。

劇団四季は1953(昭和28)年に浅利慶太、日下武史さんを中心に結成された劇団で、当初はシェークスピア劇などを行っていましたが、1970年頃から日本を代表するミュージカル劇団としての地位を確立していきます。劇団四季の名を不動のものにしたのは1983年「CATS」のロングラン公演で、この時から専用劇場を建てて興行するようになりました。その後もブロードウェイで公演されたミュージカルを中心に「ライオンキング」「ノートルダムの鐘」「アナと雪の女王」「オペラ座の怪人」「コーラスライン」など一級品のミュージカルを提供しています。

演目『バケモノの子』は、覚えておられる方も多いと思いますが、2015年に大ヒットしたアニメーション映画が原作です。宮崎あおいさん、染谷翔太さん、役所広司さんが声優をされたので、話題になりましたね。

東京では3月に千秋楽を迎え、劇団四季オリジナルミュージカル史上最大動員数を達成しています。大阪は12月公開です。

「ほんまもん」のすごさを体感しよう

ほとんどの生徒がミュージカル経験がないと思います。「同じ見るなら、『ほんまもん』を見せてやりたい」という実行委員会の思いが詰まった行事です。

当日は、学校から貸し切りバスで大阪市内、西梅田の劇団四季大阪劇場に向かいます。



劇団四季大阪劇場の入る

梅田阪神第二ビルディング





炬火を掲げていざ謳う

No.60



# 我らの泉鳥取

2023年10月16日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

泉鳥取高校最後の修学旅行

## 思い出たくさん北海道の旅

ーアイヌ、雲海、旭山動物園、盛り沢山の内容ー



2023(令和5)年9月9日から3泊4日で、府立泉鳥取高等学校最後の修学旅行が実施されました。アイヌ民族に関する学習や星野リゾートでの宿泊、トマムの雲海、そして旭山動物園見学と盛りだくさんの内容で、多くの思い出を作ることが出来ました。ただ、最終日の小樽観光は、北海道に発生した線状降水帯による豪雨で小樽の街そのものが冠水し、急きょ観光を中止して新千歳に向かいました。



9月9日(土)関西空港⇒新千歳空港⇒ウポポイ村(民族共生象徴空間)

国立アイヌ民族博物館⇒星野リゾートトマム(泊)

9月10日(日)星野リゾートトマム⇒体験活動①②⇒星野リゾートトマム(泊)

9月11日(月)星野リゾートトマム⇒旭山動物園⇒ガトーキングダム(泊)

9月12日(火)ガトーキングダム⇒小樽市内観光(豪雨のため中止)⇒新千歳空港⇒関空



### ウポポイ(民族共生象徴空間)

アイヌ文化博物館の見学とアイヌ古式舞踊を鑑賞しました。神や自然を重んじた劇に圧倒された生徒が多くいました。中には熊の毛並みに触れたり、作業ブースでネックレスを作ったりする生徒がみられました。



### 星野リゾートトマム

日本最高のリゾート会社と言われる星野リゾートの宿では、約4時間を越える時間を自由に活動しました。数店舗の店からミールクーポンで友人と自由に食事をしたり、バスで施設内プールへ行き楽しむ生徒も見られました。そして、何より部屋で過ごす友だちとの時間が楽しすぎて、消灯時間を過ぎてもしっかり時間を過ごし、寝不足で行程を過ごす生徒が多くいたとのこと。また、2日目、3日目には雲海テラスで雲海を見るために4時15分の集合のため早起き(あるいは寝ずに)して見学した生徒が60名以上いました。

### 2日目 体験活動

事前に選択していた野外体験活動エアートリップ、サイクリング、フィッシング、牛の搾乳バターづくりなどなど、北海道の大自然を満喫したアクティビティでは、インストラ

クターさんのお力添えて生徒たちも満足していました。

### 旭山動物園

動物の自然な生態が見られる行動展示(後述)を実施して、一躍有名になった動物園です。北海道を代表する観光地として定着しています。寒い地域で活動する動物は、例年より気温が高く、木陰で休む動物が多かったことは残念でしたが、かわいいグッズを買っている生徒が多く、日本最北動物園を堪能していました。



### シャトレゼガトーキングダム



プールなど展開しているホテルなので、そこで過ごす時間がクラス行事で短くなるのを不満に思う生徒がいなかったか心配でしたが、旅行委員が思考を凝らし、司会がとても楽しませてくれ、クイズ大会とビンゴゲームとともに大盛況でした。

### 小樽観光は中止 新千歳で買い物

小樽では、集中豪雨で床下浸水の状態となったため、急きょ観光を中止し新千歳空港で買い物に変更しました。



炬火を掲げていざ謳う

No.61



# 我らの泉鳥取

2023年10月23日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 生徒自治会ルネサンス

### — 和泉鳥取駅が見違える —



和泉鳥取駅クリーンアップキャンペーン（39～41期）

1990年代後半から低調になっていた生徒自治会活動ですが、2013年を境に再び活発となります。とりわけ36期の自治会は、自分たちで企画立案し、行動できる執行部でした。当時、阪南市では様々な壁面を使って、壁画アートを学校単位で描くという取り組みをしていました。和泉鳥取駅のガード下も同様に、阪南市の取組みに協賛する形で、JR西日本の承諾を受けて泉鳥取高校生徒自治会を中心として作成されました。当時の生徒自治会について顧問の中山泰教諭が創立40周年記念誌にこのことを書かれています。

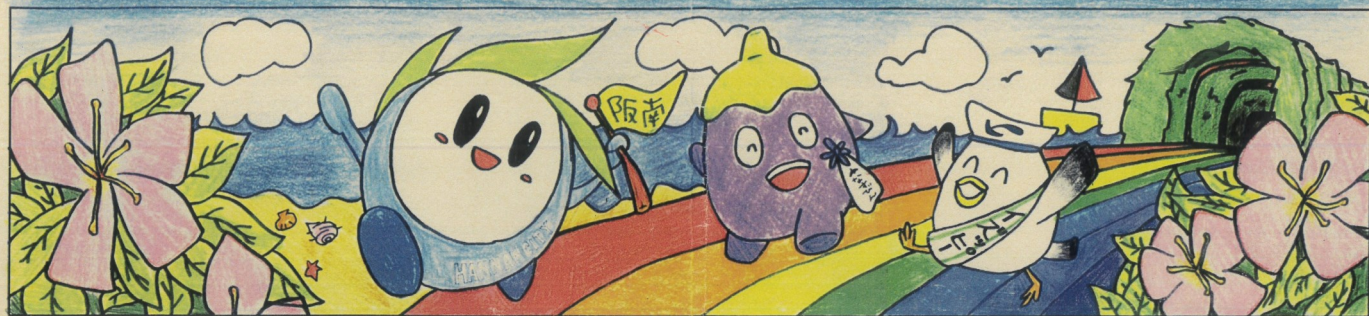
かつては、めぼしい人材を、教員側が必死でリサーチして、生徒会活動をしてくれそうな生徒を一本釣りの形で補充してきた日々がありましたが、ここ数年、多くの生徒が自主的に生徒自治会執行部に入って来てくれるようになりました。従順で大人しいタイプの生徒達に、教員がお膳立てした校内行事の企画を「お手伝い」させているというのが、10年ほど前の状況だったと記憶していますが、36期生の生徒が、執行部に入って来た時の事です。「私達は、自分達の考えで学校行事をつくっていきたいです。」という言葉が出てきました。が、少し変わってきたなという感触を得た瞬間です。

その後、多くの行事の企画を、生徒達自身で考えるようになり、文化祭、体育祭、また平成25年度から始められたクラブ見学会など、学校行事の幅が増えていったよ

うに思います。（中略）また、学校外のイベントにも、生徒達は積極的にかかわっていくようになりました。阪南市、岬町で毎年行われるキャンドル物語やJR 和泉鳥取駅でのマナーアップキャンペーンへの参加など、これからも長くかかわっていくであろう行事にも、執行部員は積極的な意思を持って、取組んでいます。ついでながら、本校生徒自治会執行部による和泉鳥取駅構内の壁画制作が行われたのは、平成25年の夏の事です。

平成25年頃は、選択授業の「ボランティア」の効果もあって、校内活動が徐々に活発となるとともに、市内の小中学校や幼稚園との連携も深まった時期です。とりわけ生徒会メンバーの活動は、その後現在にまで続いています。36期生は、これまで部活動や生徒自治会活動が結実したと言えるでしょう。

下の絵は、和泉鳥取駅に描かれた壁画の原画、38期の漫画家志望生の作品です。







炬火を掲げていざ謳う

No.62



# 我らの泉鳥取

2023年10月30日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 学校を一から見直そう

### —第14期中教審答申から新カリキュラム 1994年度—

学校が用意する教育課程（カリキュラム）とは、どのような教科科目を週に何時間おこなうか？時間割のもととなるものです。このカリキュラムの基礎となるのが、文部科学省が定める『高等学校学習指導要領』で、おおよそ10年に1回改訂されます。とりわけ平成に入ってから最初の改訂は劇的で、高校教育を見直す大きなきっかけとなりました。

1991（平成3）年に出された中央教育審議会（中教審）第14期答申「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革」では、これまで文部省（当時）も認めていなかった高等学校の学校間格差を初めて認め、多様な学習、そして学力の概念の変更（新学力観）が提言されたのです。さらに学校教育と社会教育の連携「生涯学習」という概念が提唱されました。

泉鳥取高校でも、1994（平成6）年度に向けたカリキュラム検討が1991（平成3）年度より始まりました。第14期答申に呼応するかのように、この学校の教育を一から見直し、「何が足りないのか？何が必要か？」を教職員全体で議論しました。『泉鳥取の教育』という一連の校内新聞が発行され、教科横断的な小グループの話し合いが行われていきました。

#### 進路意欲を早期に持ち 早期離職を防ぐ

この間の詳細は創立20周年記念誌の岡村多加志先生の

文章に詳しく書かれていますが、この時の改編は、「進路意識の早期醸成」をテーマにしたものになりました。そのほかには「知的好奇心の充足」などもありましたが、教育課程表としては、2年生から就職・進学を選択科目を変える「類型」別展開としたのです。

それまでは3年生で就職、進学、看護を含めた進学クラスにクラス分けしていたのですが、このクラス編成はそのままに、新たに2年生で、社会に出る人のための商業科目「文書処理」を設定、進学希望者に受検学力確保のための国語・数学・英語の選択を入れ、就職・進学を類型別科目選択にしたのです。進路に対する意識を早く持たせ、就職卒業生の早期離職や進学者の学力不足を補うことを狙いました。ただ、「学校設定教科」の設定の制約が大きく、普通科で商業科目を展開することくらいしかできませんでした。しかしながら、泉鳥取の在校生の学習状況などを一から見つめ直した取組みとなりました。

## 教育課程

### 2 学年より進路志望による類型選択

1993年学校紹介リーフレットから

| 単位数 | 0        | 5     | 10     | 15    | 20      | 25     | 30              | (単位)                     |
|-----|----------|-------|--------|-------|---------|--------|-----------------|--------------------------|
| 1年  | 国語 I     | 日本史 B | 地理 B   | 数学 I  | 化学 I B  | 地学 I A | 英語 I            | 保健 体育 家庭 芸術 I HR クラブ     |
| 2年  | I 国語 II  | 日本史 B | 世界史 B  | 数学 II | 物理 I B  | 生物 I A | 英語 II コミュニケーション | 保健 体育 家庭 芸術 II 選択 HR クラブ |
|     | II 国語 II | 日本史 B | 世界史 B  | 数学 II | 物理 I B  | 生物 I A | 英語 II コミュニケーション | 保健 体育 家庭 芸術 II 選択 HR クラブ |
| 3年  | I 現代文    | 世界史 B | 現代社会 B | 数学 B  | 理科 (選択) | 英語 II  | 英語演習            | 体育 選択 1 選択 2 HR クラブ      |
|     | II 現代文   | 世界史 B | 現代社会 B | 数学 B  | 理科 (選択) | 英語 II  | 英語演習            | 体育 選択 1 選択 2 HR クラブ      |

(注：平成6年度入学生より実施)



LANシステム



炬火を掲げていざ謳う

No.63



# 我々の泉鳥取

2023年11月6日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 金融教育見学会（その1）

# 1億円持ってみた！40億運んだ

ー 日本銀行大阪支店に入ったぞ！ ー



関西財界の父 五代友厚

本校47期生（最後の学年）は、令和4年度から2年間、金融教育広報委員会大阪府支部（事務局：日本銀行大阪支店）のモデル校に指定されています。「金融とお金の話 生きる知恵」をテーマとして、多重債務問題、人生で必要なローン、お金の融通、銀行の仕組み、株式などについて学んでいます。去る10月20日（金）、金融教育のための見学会を開催し、日本銀行大阪支店と大阪取引所（旧大阪証券取引所）を見学しました。

日本銀行は日本唯一の発券銀行（お札を発行する銀行）であり、「政府の銀行」であり、さらに銀行に融資を行う「銀行の銀行」と言われています。当日は学年を二つに分け、2年1組・2組が午前中に日銀、午後取引所、3組・4組は午前中取引所、午後日銀という形で講義と見学を行いました。

### 「発券銀行」の凄さ 1億円を持ってみた



日銀大阪支店には、旧本館と現在の本館があり、現在の本館では日常的に紙幣の検品作業や銀行との取引、国庫収受機関として、一般の人の支払い収受などを行っており、非常にセキュリティが厳しいところです。

生徒たちは現本館の紙幣検品業務を見学、セキュリティ

の厳重さに驚きながら、レクチャールームで金融と紙幣に関わる講義を受け、その後「1億円を持ってみる」「40億円を運ぶ」体験をしました。これは当然本物の紙



幣ではありませんが、発券銀行での体験にドキドキする生徒もいたようです。

### 旧本館 NHK「あさがきた」のロケ地



その後旧本館を見学、この旧館はNHK朝の連続テレビ小説「あさがきた」のロケ地になったところです。もともとこの日銀大阪支店は、「あさがきた」でディーン・フジオカが演じた大阪財界の父、五代友厚の最後の邸宅跡でした。

1903（明治36）年、日銀本店や東京駅、大阪市中央公会堂を設計した建築家辰野金吾の設計で建設されました。







炬火を掲げていざ謳う

No.64



# 我らの泉鳥取

2023年11月13日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 金融教育見学会（その2）

# 株式って？むずかしい…

ー 北浜の大阪取引所で学ぶ ー



関西財界の父 五代友厚

今回は、10月20日のもう一方の会場、大阪取引所についてレポートします。大阪取引所は、もともと大阪証券取引所として株式売買を中心に行っていました。そのルーツは、1878(明治11)年、関西財界の父である五代友厚が発起人となった大阪株式取引所です。このため取引所正面には五代友厚の銅像が立っています。

### 大阪取引所(旧大阪証券取引所)に向かう

取引所は1935(昭和10)年に建築された旧大阪証券取引所の外観を残しています。円形の建物に入ると大きな吹き抜けになっており、屋根はあるものの天井がありません（天井知らずに売り上げが上がる）と験を担いだ設計となっています。

#### 大阪取引所



### 大阪証券取引所が大阪取引所になったわけ

現在「大阪取引所」となったのは、名前が変わっただけではありません。もともとは「場立ち」という証券会社に所属する専門職員がいて、広い場所で株

を取引していたため、大阪、東京、名古屋などに取引所がありました。今はネット上で取引され、株券も電子化されたために、東京と大阪を分ける必要がなくなり、日本全国の取引所が合併しました。さらに、大阪は江戸時代「米相場」が立ち、当時から先物取引が行われていたため、証券だけでなく、デリバティブを扱う取引所を合併したために、「大阪取引所」となりました。

### 「株」とは？説明についていくのがやっと

1・2組は午後、3・4組は午前中に大阪取引所に向かいました。株式については、公民科の事前学習で取り扱ったため、なんとかついて行けましたが、「先物取引」を含む「デリバティブ（金融派生商品）取引」に至ってはチンプンカンプン。概念が大変複雑で、学び取ることが非常に難しかった

ようです。投機性が高いデリバティブについて、学校での学習ではなかなか理解することは難しく、教職員にも難しいものでした。現在の時点で取引する株の売買ではなく、将来の値上がりや値下がり予測して先物を買いたい、利潤を得るのは、非常に抽象的で、慣れないと理解しづらいことがよく分かりました。

### 取引所での学習



### 自分の生活を守るために金融を知る

生徒にとっては、初めて足を踏み入れる証券の世界、日本銀行で学んだ金融とともに、世の中のお金の流れを知り、自分の生活を守る「生活の知恵」が必要です。

今回、「金融教育モデル校」となり、見学会を行ったのをきっかけに、自分に身近な「お金」について、より深く学んでいくことを望みながら見学会を終えました。

後日、金融・証券と生活（家計）について、家庭科でフォローアップ学習を行う予定です。

### 昭和30年代 大阪証券取引所の「場立ち」





炬火を掲げていざ謳う

No.65



# 我らの泉鳥取

2023年11月21日(火)

編集・発行 泉鳥取高等学校閉校事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## クラブ列伝 フィールドワーク部その1

ーある時は地歴部 ある時はワンダーフォーゲル、ある時は生物関連ー



部活動について、時代によって内容が大きく変わってきたクラブが「フィールドワーク部」です。

当初は地歴部だった

ももとは、開校当時から「地歴部」として活動していたクラブが、昭和60(1985)年頃に「フィールドワーク部」と改称、地理・歴史的な見学(フィールドワーク)をしていたクラブでした。

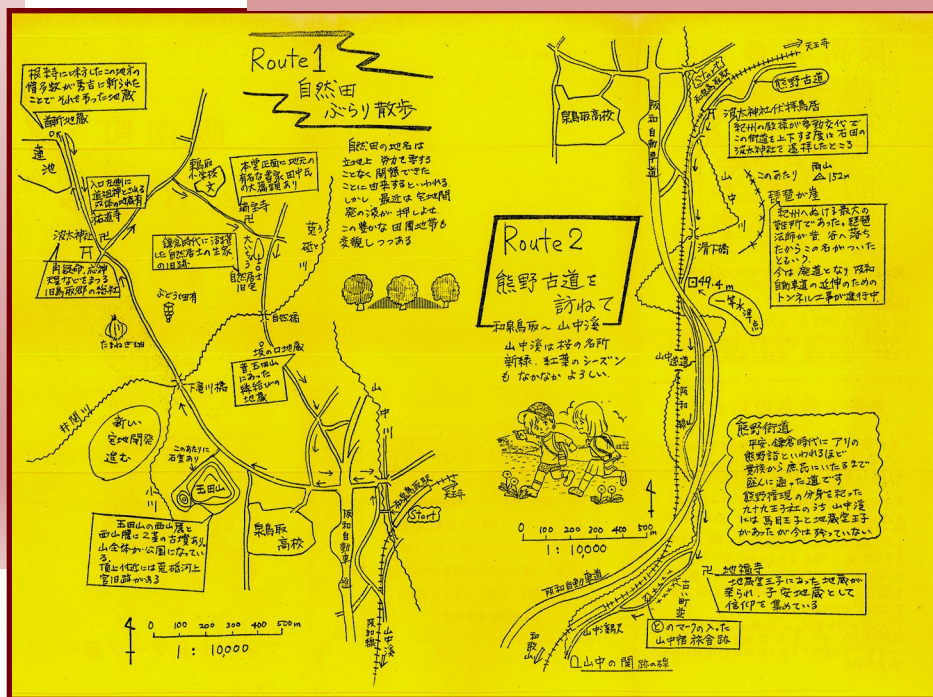
顧問交代 ワンダーフォーゲルのクラブに

その後顧問が交代し、後の顧問がサイクリングを中心にしたワンダーフォーゲル的な活動を中心にしたクラブに代わりました。

### 最後は生物系のクラブとなる

その後一時の廃絶を経て平成16(2004)年頃に復活、環境問題や生物系の取り組みをする、どちらかというと生物系の部活動として復活しました。

今回掲載したリーフレットは昭和62(1987)年に作成された「阪南町ぶらり散歩」です。これは文化祭配布用のパンフレットですが、社会科準備室に実物が残っていました。見ていただくと、当時の泉南郡阪南町の史跡の案内を手書きでしるしたものであることが分かります。



昭和60年代地歴部時代に採取した、石器の材料であるサヌカイト  
奈良県 二上山麓 屯鶴峰(どんづるぼう)にて採取(社会科保管)







炬火を掲げていざ謳う

No.66



# 我々の泉鳥取

2023年11月28日(火)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 個々への寄り添いを中心に

2003(平成15年)カリキュラム改定

1999(平成11)年に、文部科学省は『学習指導要領』を改定しました。この『学習指導要領』では、参加体験型の授業や新たに「総合的な学習の時間」を3年間で3～6単位学習する、ということが目玉になっています。この改訂に伴うカリキュラムは、2003(平成15)年から実施されることとなりました。

泉鳥取高校では、高校卒業の学力保障をすることを重視し、選択科目を増やすよりも少人数展開を実施するという方向性を出しました。

学校設定科目としては、実力国語(国語)、応用数学、数学演習(数学)、教養科学(理科)、ライフスポーツ(保体)、英語読解演習(英語)、生活文化(家庭)、ホームページデザイン演習、表計算演習(情報)という科目が設定されましたが、学校設定教科としては「地域活動」という教科を設定し「ボランティア」という科目を設定しました。この「ボランティア」という科目については、改めて特集します。

1年の数学と英語の授業は少人数展開を実施し、基礎学力を高めていく方向でカリキュラムが設定されています。

そして、大きな変更は、原級留置となる進級規定が改定され、年度末の追認が導入され、原級留置(留年)する生徒が激減しました。

このカリキュラムがスタートする年には、学年職員室を作り、一人一人の生徒に教職員が寄り添う流れで学校改革が進んだのです。

一方、2002(平成14)年、府立貝塚高等学校が

総合学科に単独改編され、膨大な選択科目を有する学校が泉南地区に登場しました。また、2009(平成21)年には、府立砂川高校と府立泉南高校が統合され、普通科総合選択制のりんくう翔南高校が誕生しました。多様化の流れが大阪府内に流れる中、泉鳥取高校は「生徒への寄り添い」と「地域への寄り添い」をキーワードに、教育が進んでいくことになります。

### 教育課程

教育課程表(平成17年度入学生)

|    | 1    | 2   | 3    | 4    | 5     | 6     | 7    | 8       | 9  | 10  | 11   | 12   | 13   | 14   | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|----|------|-----|------|------|-------|-------|------|---------|----|-----|------|------|------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1年 | 国語総合 | 地理A | 日本史B | 数学I  | 理科総合A | 理科総合B | 英語I  | 体育      | 保健 | 芸術I | 生活技術 | 総合学習 | L    | H    | R  | 4  | 2  | 2  | 4  | 2  | 2  | 4  | 3  | 1  | 2  | 2  | 2  | 1  | 1  |    |
| 2年 | 国語総合 | 現代文 | 世界史B | 日本史B | 数学II  | 生物I   | 物理I  | 英語II    | 体育 | 保健  | 芸術II | 情報A  | 生活技術 | 総合学習 | L  | H  | R  | 2  | 2  | 2  | 2  | 3  | 3  | 1  | 2  | 2  | 2  | 1  | 1  |    |
| 3年 | 国語総合 | 現代文 | 世界史B | 現代社会 | 数学A   | 理科選択  | 英語II | オーストラリア | 体育 | 選択I | 選択II | 総合学習 | L    | H    | R  | 2  | 2  | 2  | 3  | 3  | 3  | 2  | 2  | 3  | 3  | 2  | 2  | 1  | 1  |    |

※理科選択は(物理I・化学I・生物I・地学I)からの教科内選択

### 選択科目

3単位(連続2時間含む)

| 教科    | 科目         |
|-------|------------|
| 数学    | 数学III      |
| 芸術    | 音楽III      |
| 美術III | 美術III      |
| 書道III | 書道III      |
| 体育    | ライフスポーツ    |
| 家庭    | 生活文化       |
| 情報    | ホームページデザイン |
| 学校設定  | (ボランティア)   |

2単位(連続しない)

| 教科   | 科目     |
|------|--------|
| 国語   | 実力国語   |
| 社会   | 選択地理   |
| 数学   | 受験数学   |
| 理科   | 数学演習   |
| 英語   | 英語読解演習 |
| 芸術   | 音楽表現   |
| 美術表現 | 美術表現   |
| 書道表現 | 書道表現   |
| 情報   | 表計算演習  |

2004(平成16)年度の学校紹介パンフレット。2003年度に改定された教育課程が掲載されています。⇒

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。



炬火を掲げていざ謳う

No.67



# 我らの泉鳥取

2023年12月4日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 強い！3年2組 企画・パネル共に大賞

### ー 第46回 ハナミズキ祭 ー

去る11月17日(金)に第46回ハナミズキ祭が開催され、今年度の企画部門とパネル部門で3年2組がともに大賞に選ばれました。なお、優秀賞は企画部門・パネル部門共に3年3組が選ばれています。

開催前日、激しい風雨が予想され、中庭での取組みが出来なくなる恐れもありましたが、幸いなことに当日は晴れて、すべての行事が実施できました。今年度は1年生がおらず、2年4クラス、3年4クラスの計8クラスが参加しました。今年度はクラスの企画はバザー・展示とし、舞台発表は教科、クラブと有志という枠組みで行いました。

#### 中庭 バージョンアップ



また、レンガ敷き中庭に大型モニターと舞台を設置し、多くの有志がこの舞台で発表を行いました。さらに、例年通りPTAのフランクフルト配布、作業所

(マジックブルームのパン販売、ポケットのクッキー販売)、リトルキッチン You & Rのクレープ販売(下足室前 右の写真)と華やかにバージョンアップしました。

16日のオープニングでは、授業やクラブ、有志の発表が体育館で行われました。写真は音楽の発表です。



#### 圧勝 3年2組

クラスの取組みとしては、3年2組の取組みが最も得票が高く、大賞に選ばれました。

「たたいてかぶってジャンケンポン」でビニール袋を組み合わせて作られた超巨大ハンマーと、超巨大ヘルメットでテレビの大喜利番組でおなじみの「叩いて被ってジャンケンポン」を実施、その巨大さが太うけして大賞となり、丁寧なつくり込み、立体的表現でパネルも大賞となりました。



秋の一日、とてもほのぼのとした、楽しい文化祭が開催できました。来年は1学年のみになります。どのような取組みとなるのか、今後の検討にご期待ください。

#### 日 程

11月15日(水)17:00～ キャンドルインスタレーション

11月16日(木)12:45～文化祭オープニング(体育館)

11月17日(金)8:40～文化祭第一部(～12:20)

12:30 各部門表彰

13:30～文化祭第二部(～15:00)有志発表





炬火を掲げていざ謳う

No.68



# 我らの泉鳥取

2023年12月22日(金)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

地域連携の核となった

## 学校設定科目「ボランティア」

2006～2016

1999(平成11)年に、文部科学省は『学習指導要領』を改定しました。この当時、地域と連携することを学校の中心的な課題としていたため、「地域活動」という学校設定教科を設定し、科目として「ボランティア」を設定しました。当初2年間は教育課程に載っているのみでしたが、2006(平成18)年度、地域連携の核として学校設定科目「ボランティア」が活動を始めます。写真は2013年、朝日幼稚園での取り組みです。



教科「地域活動」(学校設定教科)の「ボランティア」(学校設定科目)は、2003(平成15)年度改訂の教育課程に設定されていましたが、受講希望者が少ないうえに、具体的に担当する教職員も確定できず、開講されていませんでした。

2004(平成16)年度、担当できる教員が転入してから、科目の内容が具体化されるようになり、2006年(平成18)年度3年3単位選択科目として1講座が開講されました。

2時間連続の授業を活用し、地域の幼稚園や老人ホーム、障がい者の作業所等を訪問してボランティア活動を行い、あとの1時間でボランティア関わる考え方や事例研究、手話講座を実施する科目でした。初年度は20名の受講者で始まりました。特別非常勤講師

に来ていただき、担当者2名で展開しました。導入当初から外部講師や実習先の選定には阪南市社会福祉協議会との連携を密にしました。

実習先として、阪南市立はあと幼稚園、朝日幼稚園、わんわん保育園、玉田山老人ホーム、石田保育所、ワークセンタぼけっと、障がい者就労支援施設マジックブルームなど多岐にわたり、さらに阪南岬こどもまつり、はあとふれあいフェスタなど様々な施設に協力を得て、まさに泉鳥取高校の地域連携の核として機能していましたが、受講希望者の減少と担当教員の転出等で2016(平成28)年度を最後に10年の取り組みを終了しました。その後は家庭科、農園部の取り組みとして、朝日幼稚園との連携は2021年朝日幼稚園の閉園(はあと幼稚園との統合)まで続けました。



炬火を掲げていざ謳う

No.69



# 我々の泉鳥取

2024年1月29日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

部活動列伝

書道部

## 全国高等学校総合文化祭 奨励賞を受賞

— 40期 川畑 美伽さん —



本校の玄関ホールに、大きな書道作品が飾られていたことをご存知の方も多いでしょう。これは、平成29(2017)年、本校40期生の書道部、川畑 美伽さんが、大阪府高等学校総合文化祭に「道因法師碑」の臨書を出展し、見事大阪府代表として、全国高等学校総合文化祭(宮城大会)にエントリーし、奨励賞を受賞した作品でした。泉鳥取高等学校では、書道部として初の全国大会出展となりました。この作品は、平成30(2018)年から展示されていましたが、この度、閉校を前に川畑さんにお返しすることとなりました。



この作品は初唐時代の書家欧陽通（おうようつう）が記した石碑、「道因法師碑」を臨書したものです。この石碑は現在中国の西安碑林にあり、しっかりした楷書体で、六朝時代の特徴を示します。

ちょうどこのころ、遣唐使が唐に派遣されていたため、日本の行政文書（正倉院文書等）の多くが同様の書風で書かれています。

2024年1月、返還時に川畑さんにインタビューしました。

**Q：**非常に大きな作品ですが、「道因法師碑」をお手本にしようとしたのはなぜですか？

**A：**当時、書道部は私一人だけでした。何か爪痕を残そうと、顧問の新延このみ先生と相談しながら決めていきました。このお手本は、新延先生から「これがいいのでは？」と言われて決めました。

**Q：**欧陽通などは六朝様式で、楷書の中でも、固い、Edgeの効いた書体ですね。苦労した点は？

**A：**固い書体なので、筆を3本使いました。途中でつぶれるんです。それと、大きな作品で、ものすごく集中力が必要でしたし、体力も使いました。さらに金泥を使って書いたので、色を均等にするのが難しかったです。

**Q：**この作品を作って得たことは？

**A：**集中力と忍耐力が身についたと思います。それと、やり遂げた達成感も得ることが出来ました。

**Q：**泉鳥取高校が、令和7年3月に閉校となります。

**A：**卒業生としては本当に残念です。最後の最後までお手伝いできることがあれば言ってください。

———ありがとうございました。

ちなみに、川畑さんのお姉さん（38期 川畑美春さん）も本校書道部で楷書の臨書をしていました。なお、美伽さんは現在、印刷会社の社員として勤めています。



新延このみ先生

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> から pdf





炬火を掲げていざ謳う

No.70



# 我らの泉鳥取

2024年2月8日（木）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

大阪府立泉鳥取高等学校 閉校記念事業 演劇鑑賞



劇団四季ミュージカル

## バケモノの子 を見たぞ！

去る1月18日（木）、生徒・教職員が参加して、大阪市梅田の「劇団四季シアター」でミュージカル「バケモノの子」を鑑賞しました。今回はその感想を中心にレポートします。なお、今回の行事は、PTA・同窓会の協力の下、閉校記念事業として実施したものです。

### 食堂で全員昼食を食べてから出発

当日は、登校後にホームルームで観劇上の注意を受け、食堂で昼食（実行委員会の支援）、その後6台のバスに分乗して、梅田の劇団四季シアターに向いました。当日の参加者は全在籍生徒のうちの75%（約170人）、教職員は28人の参加でした。なお、校長・教頭は学校で留守番でした。

### 「ほんまもん」のすごさを体感しよう

ほとんどの生徒がミュージカル経験がないと思います。「同じ見るなら、『ほんまもん』を見せてやりたい」という実行委員会の思いが詰まった行事です。

当日は、学校から貸し切りバスで大阪市内、西梅田の劇団四季大阪劇場に向います。その後多くの一般客とともに「バケモノの子」を楽しみました。

### 生徒の感想

ミュージカルを見るのが初めての生徒も多く、実施後のアンケートや教室での会話で多くの生徒が「感動した」と話していました。クレジットの関係で、舞台の様子はご紹介できませんが、アンケートでの感想をまとめます。

「とても楽しかったです！原作映画同様のキャラクター像と演出が素晴らしかったです！！入れ替わり際の視線誘導や音の響き、シャボン玉での演出もとても綺麗でした！また見たいです！」

「話の内容もしっかりしていて、とても楽しめました。」

「声が通りやすく聞こえるし、劇団四季の凄さがよくわかりました。」

「舞台ということもあって動きが派手で、とても見やすく良かった。声も響きすぎずに通りやすく聞こえるし劇団四季の凄さがよくわかりました」

「すごく感動しました。歌もダンスも演技も何もかも素敵なもので、最高の舞台を見させていただきました。ありがとうございました。」

中には「ストーリーが原作から離れている、もう少し寄せてほしい」などの意見もありましたが、おおむね好評で、思いで深い閉校記念行事になったようでした。

なお、閉校記念事業実行委員会（同窓会・PTA）からの出費は、食事代88,000円、入場チケット（買取）1,320,000円、バスチャーター費用588,000円の合計1,996,000円でした。





炬火を掲げていざ謳う

No.71



# 我らの泉鳥取

2024年2月27日（火）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 忍び寄るバブル崩壊

平成3年～4年

平成の初め、日本は空前の好景気に沸きました。円高が進み、金融が緩和され、不動産の価値が急激に上がりました。東京23区の土地購入価格でアメリカ合衆国全土が買えるという話が出たり、ゴッホの「ひまわり」が超高値で落札されたり、510万円を超す国産車が登場したりしました。しかし、この好景気は銀行を中心にした投資の過熱が原因で、のちに「バブル景気」と呼ばれました。バブル景気とその崩壊は、この学校でも無縁ではありませんでした。

泉鳥取高校では、1期生卒業の頃から新規求人開拓を教職員全員で行い、飛び込みセールスのような企業訪問を重ねていました。10周年を迎えるころには求人数も安定して、650～700件程度の求人がありました。しかし、昭和から平成に移り、バブルに突入すると、高校に求人が押し寄せました。最も求人が多かった年が、平成3年（1991）年でした。この当時は高校生向け公開求人がなく、すべて指定校求人でしたが、泉鳥取でも、大阪府内の求人だけで1,945件の求人が来ました。これは泉鳥取高校での最大求人件数です。他府県の求人は、封も切らずに保管していました。来客も進路部員全員が対応し、進路指導室の応接、応接室だけでは足りずに、会議室をブース分けして対応しました。1年で3,000人の来訪者がありました。当時手作業で処理していた求人票整理は限界を超え、進路部員の深夜にわたる残業で対応していました。

ところが、平成4（1992）年になると事態は激変します。求人数は半減したうえ、求人票送付後の取り消し等が相次ぐようになります。

全国規模でホテル・マンションを展開する不動産業者Aが、9月の最初に「求人票の採用条件を変えたい」と電話連絡をしてきました。「次年度は、ボーナス0カ月分、定期昇給なしにしたい」という電話でした。もうその段階では推

薦生徒の書類も発送される直前、「いったい何があったのか？」と尋ねても「業績の悪化」としか言いません。A社はバブル期住宅金融専門会社（住専）から資金を借り入れて、積極的に不動産を取得し、マンションやホテルを大量に建築していました。その土地購入資金が不良債権化して焦げ付き、銀行の貸しはがしにあったのが原因です。推薦予定の生徒を呼び出し、別の企業を紹介し、この生徒に関しては事なきを得ましたが、この会社は2003年に倒産しました。

まさに天国から地獄でした。平成5年度、求人数はさらに半減しました。泉鳥取高校は、「学校の指導に乗っていれば就職はできる」という指導モデルでしたが、就職指導で生徒を導く流れは大きく変更せざるを得ませんでした。この頃から専門学校に進学する生徒が増えていきました。



戦後の有効求人倍率(D's JOURNALサイトより)

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。





炬火を掲げていざ謳う

No.72



# 我らの泉鳥取

2024年・4月9日(火)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

最後のサクラ

## 2024（令和6）年度 はじまる

令和6(2024)年がスタートしました。今年度は例年よりも桜の開花が遅れ、4月5日に満開を迎えました。今年度をもって泉鳥取高等学校は閉校を迎えます。



泉鳥取高校通用門の桜は、開校を記念して寄付されたもので、その後も卒業生が少しずつ寄付をしてきたものです。正確な本数は分かりませんが、今では阪南市でも有数の桜となっています。

時々、緑ヶ丘在住の方から「花見をさせてくれ」とお申し出もありました。

### 閉校記念式典は3月4日に予定

今年度末、学校を閉じる閉校記念式典は令和7年3月4日、阪南市立文化会館サラダホールにおいて、第



平成6年学校パンフレットより

47回卒業証書授与式とともに開催いたします。下の写真は、第46回卒業証書授与式で、サラダホールで実施しました。閉校記念式典もおそらくこのような形で行われます。



### 5月12日は同窓会総会

5月12日(日)には同窓会総会が予定されています。

同窓会総会については、改めて本校ホームページでお伝えしますが、開校以来「母の日」に実施することに変更はありません。

この日は卒業生に向けて校舎の開放も行いますので、お時間があればのぞいてみてください。



炬火を掲げていざ謳う

No.73



# 我らの泉鳥取

2024年4月16日（火）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

課題のある生徒に寄り添って

## 教育相談委員会 （2002～）

21世紀に入り、学校では学校不適應の事例が多くなってきました。国は2000(平成12)年に「児童虐待防止法」を制定、大阪府も2003(平成15)年に「子どもライフサポートセンター」を立ち上げ、無気力、不登校、ひきこもり等に対する体制を整え始めました

同じころ、本校では一人一人のきめ細かい対応が必要になり、「教育相談委員会」を立ち上げます。委員の構成は、設置当初は各学年1人、生活指導部から2人、養護教諭1名と外部人材であるハートケアサポーター、府から派遣されるスクールカウンセラーで構成されていました。教育相談の現状を令和5年度教育相談委員長であった大林直子先生（令和6年、すながわ高等支援に転勤）に聞いてみました。

友人関係、学習面、家庭のことや進路等で生徒が悩んでいる時に支援をするために教育相談委員会があります。時間割の中で1時間教育相談委員担当の教職員が集まり、生徒の情報共有をして、教員で見守る体制をつくっています。

これまでの流れを受けて、困っている生徒がより良い学校生活を送れるようスクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）につなげ、相談するのは支援教育委員会と教育相談委員会が連携して行っています。その成果として、3年生になり進路決定をする際に、本人の特性である発達障がいと向き合い療育手帳を取得した生徒もいました。その他にも保護者もカウンセリングを受け、子どもとの良好な関係を築き始めることができた家庭もありました。

さらに、外部の先生に来ていただきケース会議を年間3回行っています。具体的には支援学校の先生や支援教育コーディネーターの皆さんですが、個別の教育支援計画を見ながら、発達障がいの生徒の見立て（アセスメント）や支援の方法を助言していただいています。その中で字が乱れる生徒にWAVESという検査を支援学校で行っているというお話を聞きして、本校でも数名に実施し、トレーニングを続けて文字が上達した生徒もいました。

教員対象の研修も行っており、講師の先生を外部から来ていただき、ピア・メディエーションの研修をし、生徒を中立な立場で仲裁することの重要性や難しさを知ることができました。

2022(令和4)年度に支援教育委員会と修学保障会議が発足、日常の生活介助や「個別の教育支援計画」などは支援教育委員会、教育相談委員会と支援教育委員会から「個別の指導計画」「個別の支援計画」に基づいて、個別の教育目標の最終決定は修学保障会議で対応しています。



### 生徒相談室

令和3年度まで毎日開室、生徒の相談に乗っていた。







炬火を掲げていざ謳う

No.74



# 我らの泉鳥取

2024年4月23日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>



戦前の砂川奇勝

(泉鳥取 砂川)

## 料理旅館 砂川荘

— 歓送迎会に 部活動合宿に —

JR和泉砂川駅の山手側改札を出て山の手を見上げると、「〇〇研修センター」という建物が見えます。ここには昔、料理旅館「砂川荘」がありました。料亭と旅館を兼ねた施設で、泉鳥取高校はよくお世話になったのです。

### 和泉砂川駅と砂川奇勝と料理旅館

1930（昭和5）年、現在の阪和線の原型となる「阪和鉄道」が開通しました。当時、和泉砂川駅の近くには「砂川奇勝」と呼ばれる名所がありました。広大な範囲にひろがる松と砂岩が起伏をみせて連なるその様子は、日中は太陽に、夜は月の光に照らされて、まるで雪のように真っ白に輝き、人々を魅了しました。そんな観光地和泉砂川に割烹旅館としてスタートしたのが「砂川荘」でした。

昭和の末期、まだまだ泉南地域に大規模な宴会のできる施設があまりなかったころ、教職員の歓送迎会や忘年会は、隔年で「砂川荘」を利用しました。しかし、「砂川荘」を最も活用したのは、宴会ではありませんでした。

### 旅費のない中 合宿所として活用

臨海訓練や家庭訪問、就職希望者の求人開拓のための企業訪問など、当時の泉鳥取高校は教職員の旅費が足りない状況が続いていました。そんな中、部活動は活発で、男女バレーボール部、硬式テニス部、サッカー部、バスケットボール部、吹奏楽部など強化合宿を行う部活動も多くあったのです。

しかし、遠隔地に行くほどの教職員の旅費予算はありません。そこで、学校から最も近い宿泊施設である「砂川荘」に宿泊し、練習は学校で行う、と

いった合宿スタイルが出来上がりました。また、生徒会のリーダー合宿を行っていたこともあります。

往復の交通費がかからない「砂川荘」は誠に便利な宿泊施設でした。しかしその後、臨海訓練が廃止され、学校旅費にも余裕が出てきて、「砂川荘」は生徒の合宿施設としては、次第に使われなくなっていきました。砂川荘は2000年前後には営業を停止し、すでに取り壊されています。下の写真は、営業終了後に撮影されたものです。



1977(昭和52)年歓送迎会

乾杯をする初代石川校長





炬火を掲げていざ謳う

No.75



# 我らの泉鳥取

2024年5月7日（火）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

通用門から続く

## 森口良作追悼記念花壇と泉祥会

通用門から入ると、グラウンド脇にプランターが置かれています。「故 森口良作追悼記念花壇」と書かれています。どのような経緯でプランターが置かれるようになったのでしょうか。現存するPTA新聞『つばさ』や30周年記念誌には何も書かれていません。当時在職していた、増田恵一元校長、平野芳男先生に事情を伺いました。



森口良作さんは、2001(平成13)年度のPTA会計監査、2002(平成14)年度のPTA書記を務めていただいていた。水道関係の仕事をしていました。森口さんは、生徒の心を豊かにするために、校内緑化を進めよう、という呼びかけに対して、水道管

ジョイントを学校に寄付し、中庭に設置して、花を植える段取りをしてくださいました。当時の増田恵一校長、湯口芳美PTA会長も共に植栽をして、校内緑化を進めたのです。現在も森口さんに寄贈していただいた水道管で作った植木鉢は多数残っていますが、残念ながら植栽はできていません。



このように熱心だった森口さんですが、お子さんが卒業された直後、若くして心筋梗塞でお亡くなりになったのです。

森口さんの緑花に対する思いと功績を忘れないよう、PTAとその同窓会である泉祥会が植栽のための

プランターを通用門通路に設置し、花を植えました。

現在プランターは、地域連携を行う家庭科、農園部を中心にその遺志を受け継ぎ、2021年にはヒマワリ、2022年には秋桜を植えました。

### 泉祥会(せんしょうかい)ってなに？

泉祥会は、泉鳥取高校PTAの実行委員経験者が集まって作った親睦団体で、早く言えば「PTAの同窓会」といった団体です。

周年行事での寄付やPTAに対する支援を行っていました。サマーフェスタでの炊き出しや、体育館の体育準備室その側に設置されている太陽時計は、創立20周年の記念に泉祥会から寄贈いただいたものです。

1982(昭和57)年結成されましたが、生徒数減少とともにPTA活動の沈滞化もあり、2005(平成17)年度以降に活動を休止しました。

プランターのヒマワリ







炬火を掲げていざ謳う

No.76



# 我らの泉鳥取

2024年5月13日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

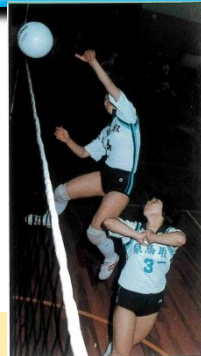
大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

部活動列伝

## 女子バレーボール部

— 府立高校でトップクラス —



前回の器械体操部に続いて、今回は女子バレーボール部について特集をしてみましょう。開校当時バレーボール部は男女別の部活動でした。「バレーといえばイズトリ、イズトリといえばバレー」を言われるほど、男女ともに盛んで公立高校としては、大いに名を挙げたものです。

その後男子が退潮し、部活動としては統合されたり、女子のみになった時代があったり、男子がビーチバレー中心に復活したりもしましたが、平成30年(2018)年を最後に活動を休止しました。

### 女子バレーボール部

開校2年目で部外優勝、それ以後春と秋に連続優勝して、昭和54(1979)年からⅠ部に昇格、その後昭和58(1983)年までⅠ部にありました。この間インターハイ予選や府立高校大会の常連となり、第9学区では圧倒的な成績を残しました。平成5(1993)年に初代顧問の安西仁教諭が転出、その後も多くの生徒が活動してきましたが次第に退潮、平成16(2004)年に部員0となりました。その後断続的に復活と休部を繰り返し、平成30(2018)年、伯太高校との合同チーム出場を最後に活動を休止しました。写真は7期生の卒業アルバムです。



#### 初代女子バレー部顧問 安西仁先生

女子バレー部の初代顧問で、大阪府ベスト4入りを果たした安西仁先生は、現在もお元気にされています。ご本人が書かれた20周年記念誌の中身を再掲します。

生徒が自分の卒業した学校を誇りに思えるようなそんな学校にしたい、将来自分が親となった時、息子や娘に熱い思いで高校時代の青春を語れる親になってほしい、という思いで、必死にバレーボールを指導しました。あの当時の事なので、勝利至上主義で厳しい指導の連続で、中に退部を申し出る生徒もいましたが、そんな時は練習を休んで全員で話し合いをさせ、部員が納得するまで退部はさせませんでした。一人

一人は弱いけれど、みんなが同じ気持ちになれば自分たちの想像以上の力が出ることを体験させたかったです。そんな中でもバレーだけやってたらあかん、バレー以外にも自分を磨かんと、と生活面や学習面でも厳しく指導しました。当時の生徒は本当によく頑張ってくれました。



2018年の安西先生

新設の学校で、生徒も教員も、もがきながら学校づくりをしていた、そんな時代の息吹と 생각이詰まったコメントです。



炬火を掲げていざ謳う

No.77



# 我らの泉鳥取

2024年5月21日（火）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 第46回同窓会総会 参加者160名

ー 参加者カードだけで150名 あいはらさん(10期生)も参加 ー

去る5月12日(日)母の日に、泉鳥取高等学校第46回同窓会総会が開かれました。今年度で閉校する本校を、一目見ておきたいと思う同窓生が多数結集、家族連れを含めて160名程度の参加となり、これまでにない盛り上がりとなりました。

泉鳥取高校では、同窓会発足後、一貫して5月の第2日曜（母の日）に学校の食堂で同窓会総会を開いてきました。また、いつも食堂の白川豊子さんが準備をしてくれました。

今回は「学校での最後の同窓会」の予定でありましたので、2期生から46期生まで、160名が学校に来てくれました。旧職員も6名、現職員も6名参加、中には最初の生物の中筋先生や、10期卒業生の會原雅一さん（メッセンジャー あいはらさん）も参加してくれ、旧交を温めました。卒業期別の参加者は、右の表の通りです。

### 今年度いっばいで同窓会は解散

総会冒頭のあいさつで、二神勝同窓会長は「同窓会は、同窓生の親睦を図るとともに、学校への支援を中心に行う組織なので、親睦だけをするのであれば、同級生が集まることはあるものの、全体の卒業生が集まるのは難しいので、組織としての同窓会は今年度で解散したい」とコメントしました。

### 3月には解散総会を開催

そこで、3月30日をめどとして、同窓会の解散総会を本校で行うことがほぼ確定しました。詳細はまたウェブページでご案内します。

| 卒業期 | 人数 | 卒業期 | 人数 |
|-----|----|-----|----|
| 2期  | 2  | 25期 | 1  |
| 5期  | 2  | 28期 | 2  |
| 6期  | 7  | 33期 | 4  |
| 7期  | 9  | 35期 | 1  |
| 8期  | 2  | 37期 | 2  |
| 9期  | 16 | 38期 | 4  |
| 10期 | 15 | 39期 | 6  |
| 11期 | 2  | 40期 | 2  |
| 12期 | 6  | 41期 | 6  |
| 13期 | 1  | 42期 | 5  |
| 17期 | 2  | 43期 | 3  |
| 18期 | 1  | 44期 | 6  |
| 19期 | 5  | 45期 | 5  |
| 22期 | 3  | 46期 | 20 |



参加者全員での記念撮影。肖像権の関係でウェブアップのため鮮明度を落としています。



<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。





炬火を掲げていざ謳う

No.78



# 我らの泉鳥取

2024年5月27日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

もっときちんと生徒と向き合いたい（古資料発見）

## 10学級要求(1980年)

閉校に向けて、校内の様々な場所の整理を行っていますが、学校草創期に大規模校化を食い止めるための要求資料が大職員室のロッカーから出てきました。校長・教頭や全教職員を挙げて1学年10学級以下にしよう、府教育委員会にお願いした時期があり、「10学級要求」と呼んでいた動きの資料です。作成はおそらく1980（昭和55）年度と思われます。全て手書き、更半紙印刷で、手で触ると崩れそうに風化した本に、当時の泉鳥取高等学校が抱えていた問題が見えてきました。

この冊子は『再度10学級要求』という冊子で、2代目八木幸治校長、初代吉岡光雄教頭をはじめ、60名の教職員が府教育委員会に対して、泉鳥取高校の現状と自分たちの思いを訴えた97ページにも及ぶ冊子となっています。そのうち八木校長は

「本校は校長以下全職員が、生徒のひとりひとりの学習権、進路を保障するために日夜精励しています。泉鳥取高校を永久に立派な学校として残して行く為には、生徒ひとりひとりの将来を保障してやらなければなりません。その為には本校では種々の条件から考えて1学年10学級が限度であります。

泉鳥取高校の現状をよくご理解いただき、その行政責任を真剣に自覚されて、十分な措置をされますよう切に要望いたします」

と書かれています。また英語のある先生は

「初めて教職につき、勤めたのが新設1年目の年だったわけですが、その後今に至るまで、学校が完成していく有様を目の当たりにしてきました。その間の本校の推移には、目覚ましいものがありますが、生徒指導上の困難点は、解消されていくどころか、大規模校というまとまりのなかで、かえって著しくなっているように感じます。（中略）大幅な学力差の生徒を抱える現状では、授業時間内にすべての生徒に学力を保障するのは、到底不可能なことです。このため、ほとんどの教科が放課後か始業前の時間を割いて補講（復習）と講習（進学希望者対象）を行っています。（中略）個別指導という形で教えざるを得ません。ところが、このように教師が大切な教材研究やクラブ指導の時間をさいて教えても、昨年（昭和54年度：編者註）など原級留置者が1年で30人、2年で27人も出るという実態です。私自身、英語の担当ですが、年を経るごとに教えることの難しさを実感するばかりです」

そのほかにも新設校における進路保障のための企業訪問、生徒指導上の家庭訪問の多さなどなど、当時の難しさがつづられています。同様の訴えは10周年記念誌27頁にも書かれています。

この時期、府立高校は多くの学校で12学級以上の定員となっており、この問題は泉鳥取だけの問題ではありません。しかし、この資料を読むと、大規模校の問題点が改めて浮き彫りになります。またこの時期は、中学校が荒れていた時期でもあり、『ビーバップ・ハイスクール』が流行った時期でもあります。生活指導については、多くの課題を多くの学校が抱えた時期でもありました。

平均年齢29歳の若き教職員が、「もっと生徒と向き合いたい」という切々たる思いを持っていることがひしひしと伝わる資料です。

なお、1991（平成3）年度に9クラス募集、1993（平成5）年度の10クラス募集が最後になり、ようやく二けたクラス募集の時代が終わりました。



大職員室ロッカーより発見



炬火を掲げていざ謳う

No.79



# 我らの泉鳥取

2024年6月3日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

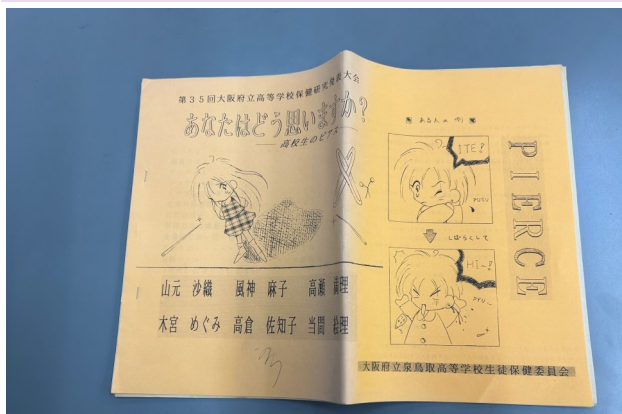
大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 生徒保健委員会（古資料発見）

ー二歩先を行く調べ学習&プレゼンテーションー

2024年の3月、学校を整理していると、1995年「第35回大阪府立高等学校保健研究発表大会」の発表用資料が発見されました。学校創建時から部活動以上に活動していた委員会活動が、生徒保健委員会です。1980年代を中心に、生徒の健康や安全にかかわる調査・発表を行っていました。具体的には「朝食」「栄養」「歯」「自転車と交通標識」「ピアスの害」など多岐にわたるテーマについて、調べ、まとめ、発表していました。そこには指導する教員たちの並々ならぬ苦勞がうかがわれます。



第35回発表大会のレジュメ

1995年度の資料をみると、生徒保健委員会の発表者は6名です。内容は『あなたは どう思いますか？ー高校生のピアス』というテーマです。内容としては、校則で禁じているにもかかわらず、ピアスをしている高校生が急増しました。この調査発表では、生徒の約半数がピアスをしており、相当数の生徒の耳が腫れる、膿むなどの被害が出ています。被害を克服するため、ピアスと金属アレルギーの実態について調べて発表しました。章立ては以下の通り。

- 1 はじめに（問題点と発表の方向）
- 2 調査方法（ピアスアンケート 校内）
- 3 アンケート結果
- 4 金属アレルギートラブルの具体例（聞き取り）
- 5 皮膚科訪問（聞き取り）

### 6 保健委員会の感想と結論

内容をみると、十分に「論文」と呼べるレベルです。アンケートからグラフを作り、考察を図ったうえで、ピアスと金属アレルギーについて質問を精選し、皮膚科に赴いて質問をし、専門家の意見を聞いています。

学校保健委員会を組織し、指導していたのは、当時の養護教諭でした。藤井（西）眞喜子先生や宮田律子先生の時代、保健部の教職員とともに1年間指導し、今の評価の基軸である三観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「自ら学び続ける意欲」を見事に育成していました。

1970年代から1990年代にかけて、数多くの発表を行い、府教育委員会からも表彰をいただきましたが、1990年代後半には生徒の参加状況が悪化、活動は低調となっていきました。



一九八六年生徒保健委員会発表  
清涼飲料水について





炬火を掲げていざ謳う

No.80



# 我々の泉鳥取

2024年6月10日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 最後の体育祭 2024年6月3日

工夫と気合で思い出深い行事に

去る6月3日（月）、泉鳥取高校最後の体育祭が運動場で行われました。もともと5月31日（金）の予定でしたが、あいにくの雨で順延となりました。



クラス旗優勝 3-1

3日の当日は雲一つない快晴で、最後の体育祭にふさわしい天候の中、教職員22名（うち事務職3名）、生徒87名でこれまでの体育祭は実施できない状況の中、午前中のみで開催でプログラムにも創意工夫を行い、活発な体育祭となりました。

プログラムとしては以下の通りです。

開会式・準備体操 ムカデ競争(クラス全員)

お邪魔玉入れ 障害物リレー

棒引き クラス対抗リレー

カリモンGO(借り物競争)

サイクロンリレー(クラス全員)

騎馬戦 表彰・閉会式

競技種目の中で「お邪魔玉入れ」と「カリモン

新規の種目 お邪魔玉入れ



GO」は今年度新たに作られた種目です。お邪魔玉入れは、3チームで競いましたが、他のチームの1人がラケットを持って、玉入れを邪魔します。

「カリモンGO」は通常の借り物競争ですが、借り物に工夫を凝らして、事務職員も含めて競技が展開されました。

競技はクラス対抗で行われ、最終的には3年2組が最後の栄冠を手に入れました。またクラス旗部門では3年1組が優勝、最後に生徒・教職員全員で記念撮影を行い、13時頃に終了しました。

なお、これまで実施していました、PTA主催の食堂試食会は今年度実施しませんでした。PTAからの水分供与は全員に500mlのスポーツドリンク1本を事前に配り、そのほかに250mlのお茶・水・スポーツドリンクをPTAと教職員で出店を構え、必要な生徒に配布しました。参加生徒ができるだけ多くなり、盛り上がるように工夫したこと、生徒の「最後の体育祭を思いっきり楽しもう」という気持ちが合わさって、大変盛り上がった行事にすることが出来ました。





炬火を掲げていざ謳う

No.81



# 我らの泉鳥取

2024年6月17日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 泉鳥取高校の人権教育

### ー 最初は同和問題から ー



梅川邦夫先生(2019)

1976(昭和51)年、学校創立直後に設置された同和教育推進委員会(同推委)は、いかなる差別も許さない教育をめざして活動をはじめます。

同推委は各学年、各分掌・学年から委員を選出して構成されていました。主な任務は、校内における同和教育・人権教育の編成、校内で発生する差別事象への対応、同和地区出身生徒、外国籍生徒、家庭で大きな課題のある生徒、目立たないけれど大きな悩みのある生徒、障がい特性のある生徒などへの寄り添いと家庭・地域との連携、教職員や生徒への啓発が主なものでした。開校直後から同推委を長く務められた梅川邦夫先生の文章をお借りすると、

どこの学校にも教育目標とか校訓というものがあります。しかし、たいいていの教育目標や校訓は高邁な理想を掲げておりますが、抽象的で具体性に欠けているものが少なくありません。そんな中で、この世の差別を見抜き、差別と闘い、差別のない、人間が大切にされる世の中を作っていこうという同和教育・人権教育の目標は、きわめて具体的でありヒューマニスティックなものだと思うのです(20周年記念誌)。

当時は学区内に複数の同和地区が存在し、本校にも多くの地区出身生徒が在籍していました。フォローするために地区担当教員を決め、きめ細かい連携を行っていました。さらに、地区の生徒たちが差別解消に向けて取り組む部活動、部落解放研究部の活動も活発でした。左の写真は、文化祭で展示発表を行う研究部の看板です。

校内で地区出身者や同和地区そのものに対する心なき差別発言や落書きが頻発しました。ほとんどが前の

世代から伝わる、誤った価値観からくるものでした。同推委は一つひとつの事象を確認し、差別発言が発生した場合は、発言した生徒やそれを聞いた生徒から事情を聴き、差別

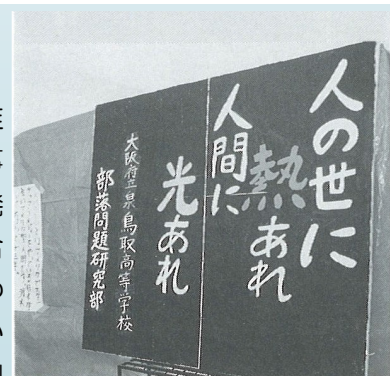
の構造を洗い出して振り返りを行う形で、誤った価値観を変えようとしていました。現在残っている資料から、一つの差別発言に対して、単に発言した生徒に指導を行うだけでなく、その友人やクラス、学年・学校全体にまで至る啓発を重ねていたことがわかります。また、「いじめ」に対する対応も、同推委が対応していました。

#### 同和教育推進委員会から人権教育推進委員会へ

2002(平成14)年、地域改善に関する法律が期限切れとなり、国全体の同和対策が大きく変更されました。行政施策としての同和事業が終了したので、法律の期限切れの後、同推委は「人権教育推進委員会」と改称しました。

同和問題をはじめ、外国人の人権や日本語保障、障がい理解、性認知、人間観海のトラブル、ネット上での人権侵害など生徒をめぐる人権侵害の環境は多岐に割っています。

現在泉鳥取高校では現在、LGBTQの課題とネット上の人権侵害、人間関係のトラブル等の課題を中心に人権教育を展開しています。







炬火を掲げていざ謳う

No.82



# 我らの泉鳥取

2024年7月1日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## イズトリ☆スクールウォーズ

数学科教員 中村 直先生とラグビー部

職員室の整理を行っているとき、一冊の本が発見されました。書名は『天衣無縫 中村直先生追悼文集』です。1990(平成2)年12月12日、本校現職の数学科教員、中村直(なかむら・すなお)さんが亡くなり、これを追悼して発行した文集です。大勢の生徒や教職員から追悼文が寄せられています。記録に残すため記事としました。

中村直さんは、福岡県出身。1984(昭和59)年、新採用教員として泉鳥取高校に赴任しました。以来8年間、泉鳥取で活躍しました。大変豪快な性格で、しかも頑固。ただ、生徒の面倒見がこまめで丁寧、数学がわからない生徒がいたら、昼食を忘れて教えたり、放課後に居残りで勉強を教えたりしていました。

また、クラス経営も熱心でありながらおおざっぱに見えるものの、実は「まめ」で、毎週クラス通信を出し、一人一人の生徒に寄り添う優しい先生でした。しかし、掃除をさぼると激怒、次の朝、必ずやり直しをさせます。「きっさーん、(貴様)、勉強はできんでも生きていけるが、掃除が出来なかったら、生きてゆけんぞ」と博多弁で叱っていました。

部活動については、ラグビー部の顧問を引き受けていました。ちょうどテレビドラマで「スクール☆ウォーズ」が放映されていた時期です。京都の工業高校ラグビー部をモデルにしたドラマは、大人気を博し、一時ラグビーブームを起しました。そんな中で、ラグビー部の先頭に立っていたのが中村先生でした。いつもグラウンドを走り、生徒たちを頑張らせていました。ラグビー部自身、バレー部や器械体操部のような強豪校ではなかったものの、熱心に活動していました。生徒は親しみを込めて先生の事を「すなおちゃん」と呼んでいました。

いつも元気で生徒が大好き、お酒も大好きな中村先生が、1990(平成2)6月、突然学校で吐血、同僚たちが無理やり病院に連れて行ったのですが、その時すでにガンが

進行、手術はしたものの手遅れで、その年の12月12日、40半ばで帰らぬ人となりました。泉鳥取高校で最初に現職のまま旅立たれました。



12期生卒業アルバムから 右から2人目が中村先生





炬火を掲げていざ謳う

No.83



# 我らの泉鳥取

2024年7月10日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

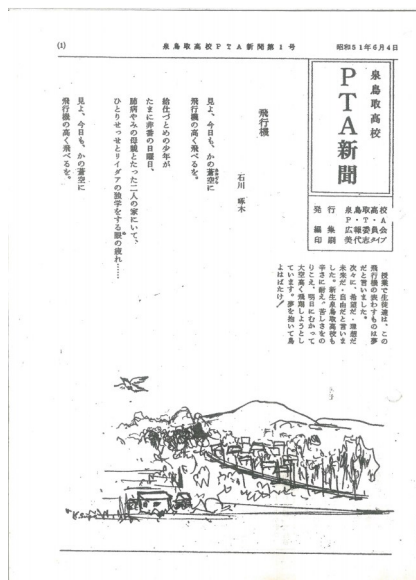
<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

PTA新聞

## つばさ

第1号は「泉鳥取高校PTA新聞」

今回はPTAの活動について、保護者の皆さんにお伝えするPTA新聞について特集します。PTAは学校の創立と同じく1976(昭和56)年度に発足しました。その年の6月に最初のPTA新聞が発行されています。



PTAの活動をお知らせするPTA新聞、最初は、冒頭に石川啄木の「飛行機」という詩と、教員による挿絵を入れ、第2面に初代根来政男PTA会長の挨拶、3面に初代石川正敏校長の挨拶が掲載されています。印刷は当時和泉砂川にあった美代志タイプで、B5判白黒6ページ、すべて活字を組んだもので、4月、6月、12月の年3回発行でした。

1983(昭和58)年7月20日発行の第33号から初めて「つばさ」という新聞名が使われます。

1995(平成10)年11月5日発行の第93号より、宣文社による写真植字に変更され、文字が格段に美しくなります。

現存する資料では2009(平成21)年12月発行の133号から、それまでのB5判白黒がA4版カラー構成となり、さらに美しく、見やすくなりました。

紙面構成は、時代によっても変わりますが、PTA会長のあいさつと校長挨拶が必ず入り、年4回発行の

頃は4月に入学に対するお祝いと人事異動、7月にはPTA総会の報告と夏休みの注意、学校行事、12月には部活動の報告等、そして2月には卒業に向けたPTA及び3年生学年団のお祝いのメッセージという構成でした。紙面づくりは、PTA広報委員会で概略が決定され、記事集め・紙面づくりはPTA広報担当の教職員が行い、校正をPTA広報委員会で行いました。

現在は年2回の発行(7月20日終業式と2月下旬の卒業式)となっており、前期号には総会の報告事項および部活動と1学期の行事についての報告、2月号は文化祭、体育祭、社会見学等の行事の報告という形で紙面を構成しています。

2023年7月発行の「つばさ」1面







炬火を掲げていざ謳う

No.84



# 我らの泉鳥取

2024年 7月19日 (金)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 特別インタビュー

# メッセンジャー あいはらさん

去る5月12日の同窓会総会の時、泉鳥取高校の卒業生で、現在マスメディア等で活躍されている、メッセンジャーあいはらさん(會原雅一さん10期生)にインタビューをお願いしたところ、快く応じてくださいました。

### イズトリを選んだのは？

○ 早速ですが、あいはらさんが泉鳥取高校に入学するきっかけは？

▲中学校の先生に勧められたんです。学力的なものもあって、それと、当時イズトリは制服が学ランやったでしょ。それもありました。

### 学校生活は？

○ あいはらさんがイズトリに在校していた時代どんな感じでしたか？

▲自分でいうのもなんですが、わりと要領のええ生徒やったと思います。先生なんかもうまくやり過ぎていました。先生から見たらおとなしい生徒やったと思います。だから吉本に入った時、1年で担任してくれた梅川先生(社会科梅川邦夫先生)が「そんなことをする人とは全くわからなかった」っておっしゃってました。

○ 在校中もっとも印象に残ったことは？

▲これはテレビでも話しているんですが、私の両親が、ぼくが6歳、弟が4歳の時に離婚して、兄弟離れ離れになったんですが、ぼくが高校3年になった時、なんとその生き別れた弟がイズトリに入学してきたんです。でもね、それを知ったのが僕が卒業する3日前でした。

### 吉本に入ったきっかけ 夢をあきらめない

○ 卒業後、吉本に行かれましたね。

▲いえ、最初から吉本に行ったわけではありません。知り合いの紹介で、難波の飲食店で働いていたんです。21歳の時、マスターの紹介で、ホテルのレストランに転職することが内定していたんですが、それをお断りしてNSC(吉本興業の芸人養成施設)に入ったんです。イズトリも10期生ですが、NSCも10期生です。

○ それはどんなきっかけで？

▲実は、小学校の同級生が、21歳の時に競輪選手になったんです。競輪選手ってなるのがとても難しいですよ。でもがんばって競輪選手になりよったんです。その同級生の話を聞いたのが、吉本に行くきっかけになりました。

○ 芸能界で最もお世話になった方は？

▲トミーズの雅さんです。まだ仕事がない時代に、雅さんの「ごきげんブランニュー」という番組に出させていただいたんですが、「おまえは好きにやったらええで、責任は俺が取るから」と言って、自由にやらせてくれたんです。この番組放映が始まってから急に仕事が増えてきましたから。

### 長く活動するには 最後はひとがら

○あいはらさんも売れ出してから、長く続けておられます。長く続けられた秘訣は何でしょう？

▲ぼく、学生の時、努力とか真面目とは全く無縁だったんですが、好きな仕事に入ったら、結果を残さんといかんでしょ、芸能界に入って、初めてまじめに努力してますね。特に人付き合いに関しては気をつけてます。30年40年と続けるためには、最後はひとがらですからね。

### イズトリの同窓生や生徒へのメッセージ

#### 會原さんからのメッセージ

世の中、大変厳しいけど、あきらめずに、希望をもって、自分のできる範囲で頑張ってください。頑張りすぎて、体壊したり、自分を見失ったら元も子もないので、自分のできる範囲でいいと思います。

○本日はありがとうございました。(2024年7月9日)





炬火を掲げていざ謳う No.85 (最終号)



# 我らの泉鳥取

2024年7月23日(火)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

## 閉校記念式典

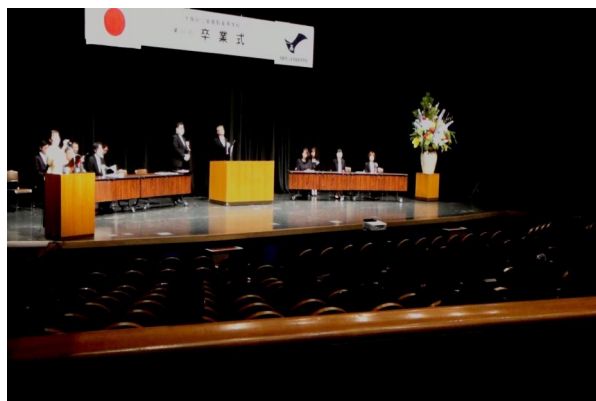
# 令和7年3月4日に挙行 49年間 ありがとう



府立泉鳥取高等学校としての最後の行事となる、第47回卒業証書授与式と、閉校記念式典が、来る令和7年3月4日、阪南市立文化会館(サラダホール)にて開催されることとなりました。会場設営には阪南市・阪南市教育委員会の全面バックアップをいただき、有終の美を飾ります。

開会時間等の詳細はこれから決めていきますが、卒業式と閉校記念式典は午前中に、阪南市立文化会館(サラダホール)大ホールおよびホワイエで実施します。47期の卒業証書授与式を行い、そのうえで閉校記念式典を開催することとしています。これまで本校では、卒業式の混乱を避けるため、家族以外の入場を制限してきましたが、今回は関係者すべての列席を歓迎したいと思っています。ご来賓への招待状は10月以降に発送させていただきます。

卒業生や卒業生の保護者の方については、特段事前申し込みの手続きは行いません。最後の学年



2024年3月の卒業式(サラダホール)

47期生を見送ろう、泉鳥取高校を見送ろう、と思われる方は、多数のご参加をお願いします。

### (お知らせ) 2年4カ月間のご愛読 ありがとうございます

2022年4月から毎週発行してまいりました、『我らの泉鳥取』ですが、本号をもって終了させていただきます。『我らの泉鳥取』はすべてウェブページでご覧いただけますし、閉校記念誌にも全号掲載する予定です。2年4カ月の間、卒業生や教職員OBの皆さんのご協力でなんとか85号まで発行させていただきました。泉鳥取高校の「皮膚感」や「匂い」を感じていただけておれば、幸いこれに過ぎるはございません。卒業生をはじめ関係者のますますのご活躍を念じながら筆を置きます。ありがとうございました。

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html> からpdf版をダウンロードできます。





1989年 体育祭応援合戦(黒団)

## 資料編



# 沿革

|                   |                                                            |
|-------------------|------------------------------------------------------------|
| 昭和50(1975)年3月13日  | 定例府議会において、大阪府立第104高等学校の建設費予算が可決される                         |
| 昭和50(1975)年4月1日   | 大阪府教育委員会事務局高等学校等設立準備室において開校準備事務を開始<br>(準備室は大阪府立和泉高等学校内に設置) |
| 昭和50(1975)年6月5日   | 校舎第一期工事起工式。大阪府泉南郡阪南町自然田845番の1に校舎建設<br>本校創立記念日とする           |
| 昭和51(1976)年1月1日   | 大阪府立泉鳥取高等学校として設置される                                        |
| 昭和51(1976)年2月28日  | 校舎第一期工事竣工                                                  |
| 昭和51(1976)年4月1日   | 大阪府立泉鳥取高等学校開校 1期生450名入学                                    |
| 昭和52(1977)年2月28日  | 校舎第二期工事竣工。                                                 |
| 昭和52(1977)年5月31日  | 食堂棟竣工。                                                     |
| 昭和52(1977)年6月30日  | プール竣工。                                                     |
| 昭和52(1977)年8月31日  | 体育館竣工。                                                     |
| 昭和53(1978)年2月28日  | 第三期工事竣工。                                                   |
| 昭和57(1982)年4月1日   | パーソナルコンピューター25台を設置<br>(FM-77)                              |
| 昭和60(1985)年11月16日 | 創立10周年記念式典実施(本校体育館)。                                       |
| 昭和60(1985)年7月30日  | 図書室冷房機設置。学校規模最大<br>(48人36学級)                               |
| 平成3(1991)年3月31日   | 英語教室をLL教室化。                                                |
| 平成3(1991)年8月26日   | 情報処理室設置。LAN接続のPC50台<br>(FMR50)設置。                          |
| 平成3(1991)年10月1日   | 泉南郡阪南町 市制施行で阪南市となり 本校<br>住所も「大阪府阪南市自然田854-1」となる            |
| 平成6(1994)年3月31日   | 家庭科総合実習室竣工                                                 |
| 平成7(1995)年10月21日  | 創立20周年記念式典実施(貝塚市コスモシアター)                                   |
| 平成13(2001)年度      | 「スクールカラーサポートプラン」を活用して、農園設置                                 |
| 平成15(2003)年       | 学年職員室設置                                                    |
| 平成16(2004)年       | 一般教室に空調設置                                                  |
| 平成17(2005)年11月5日  | 創立30周年記念式典実施(泉の森ホール)                                       |
| 平成23(2011)年       | 教育相談室設置                                                    |
| 平成24(2012)年       | テニスコート増設。全天候型助走路設置                                         |
| 平成25(2013)年       | LL教室プロジェクタ・電子黒板設置。「スポーツフェスタinイズトリ」開始。                      |



|                   |                                                            |
|-------------------|------------------------------------------------------------|
| 平成27(2015)年12月12日 | 創立40周年記念式典実施（エブノ泉の森ホールにて）                                  |
| 平成28(2016)年       | 進路指導室を現在の場所に移動・拡張 進路閲覧室設置                                  |
| 平成30(2018)年       | 全普通教室にプロジェクタ設置 教室棟トイレ（西側）改修                                |
| 令和3(2021)年8月      | 大阪府教育委員会 りんくう翔南高校との機能統合決定                                  |
| 令和4(2022)年        | 2月府議会で泉鳥取高等学校の廃止案が可決 体育館にエアコン設置<br>一人一台端末（クロームブック）が生徒全員分導入 |
| 令和4(2022)年4月      | 最後の新入生（47期生）が入学                                            |
| 令和6(2024)年4月      | 使用する全教室に電子黒板機能付きプロジェクタ設置                                   |
| 令和7(2025)年3月      | 第47回卒業証書授与式・閉校記念式典開催                                       |





# 歴代校長

(在籍期間は年度)



初代 石川 正敏  
(1976～1978)



2代 八木 幸治  
(1979～1980)



3代 吉岡 光雄  
(1981～1983)



4代 岸本 忠一  
(1984～1986)



5代 南 敬  
(1987～1990)



6代 森本 敏史  
(1991～1993)



7代 有吉 隆生  
(1994～1996)



8代 花岡 誠治  
(1997～2000)



9代 増田 恵一  
(2001～2002)



10代 竹本 猛  
(2003～2005)



11代 金銅 伸元  
(2006～2007)



12代 児玉 博文  
(2008～2010)



13代 山口 陽子  
(2011～2013)



14代 寺脇 久人  
(2014～2016)



15代 峯近 卓美  
(2017～2020)



16代 橋本 敏和  
(2021～2024)

# 在職職員一覧（開校～閉校）

（在籍は年度で示す）

| 職種 | 名前     | 在任期間            |
|----|--------|-----------------|
| 校長 | 石川 正敏  | 1976年～1978年（3年） |
| 校長 | 八木 幸治  | 1979年～1980年（2年） |
| 校長 | 吉岡 光雄  | 1981年～1983年（3年） |
| 校長 | 岸本 忠一  | 1984年～1986年（3年） |
| 校長 | 南 敬    | 1987年～1990年（4年） |
| 校長 | 森本 敏史  | 1991年～1993年（3年） |
| 校長 | 有吉 隆生  | 1994年～1996年（3年） |
| 校長 | 花岡 誠治  | 1997年～2000年（4年） |
| 校長 | 増田 恵一  | 2001年～2002年（2年） |
| 校長 | 竹本 猛   | 2003年～2005年（3年） |
| 校長 | 金銅 伸元  | 2006年～2007年（2年） |
| 校長 | 児玉 博文  | 2008年～2010年（3年） |
| 校長 | 山口 陽子  | 2011年～2013年（3年） |
| 校長 | 寺脇 久人  | 2014年～2016年（3年） |
| 校長 | 峯近 卓美  | 2017年～2020年（4年） |
| 校長 | 橋本 敏和  | 2021年～2024年（4年） |
| 教頭 | 吉岡 光雄  | 1976年～1980年（5年） |
| 教頭 | 加藤 順一  | 1981年～1984年（4年） |
| 教頭 | 反甫 昌三  | 1985年～1988年（4年） |
| 教頭 | 石田 清司  | 1989年～1991年（3年） |
| 教頭 | 味村 昌   | 1992年～1994年（3年） |
| 教頭 | 亀井 慎作  | 1995年～1997年（3年） |
| 教頭 | 富士松 孝佳 | 1998年～2001年（4年） |
| 教頭 | 倉澤 孝之  | 2002年～2004年（3年） |
| 教頭 | 佐久間 秀利 | 2002年～2003年（2年） |
| 教頭 | 山口 義明  | 2004年～2005年（2年） |
| 教頭 | 久保 仁   | 2005年～2008年（4年） |
| 教頭 | 本田 勝士  | 2006年～2007年（2年） |
| 教頭 | 武井 勝   | 2008年～2010年（3年） |
| 教頭 | 撫井 弘志  | 2009年～2011年（3年） |
| 教頭 | 綾井 俊行  | 2011年～2013年（3年） |
| 教頭 | 中原 浩育  | 2012年～2015年（4年） |
| 教頭 | 川瀬 治彦  | 2014年～2016年（3年） |
| 教頭 | 橋本 敏和  | 2016年～2020年（5年） |
| 教頭 | 近西 弘之  | 2017年～2019年（3年） |
| 教頭 | 池田 秀代  | 2020年～2021年（2年） |
| 教頭 | 妻木 靖朗  | 2021年～2024年（4年） |
| 教頭 | 槿原 秀一  | 2022年（1年）       |

| 教科 | 名前        | 在任期間             |
|----|-----------|------------------|
| 国語 | 山口 弘      | 1976年～1988年（13年） |
| 国語 | 中村（魚住）悦子  | 1976年～1990年（15年） |
| 国語 | 中村 良男     | 1976年～1977年（2年）  |
| 国語 | 児玉 博文     | 1977年～1985年（9年）  |
| 国語 | 石上（村上）郁子  | 1977年（1年）        |
| 国語 | 碓 恵美子     | 1977年～1980年（4年）  |
| 国語 | 辻 久代      | 1977年（1年）        |
| 国語 | 南 美千夫     | 1978年～1989年（12年） |
| 国語 | 家氏（上井）潤子  | 1978年（1年）        |
| 国語 | 田中 豊彦     | 1978年～1982年（5年）  |
| 国語 | 田中（上原）典子  | 1978年～1986年（9年）  |
| 国語 | 湯川 曉人     | 1978年～1982年（5年）  |
| 国語 | 檉畑（刀弥）紀子  | 1978年～1980年（3年）  |
| 国語 | 小野（安光）真砂子 | 1978年～1980年（3年）  |
| 国語 | 堤 俊憲      | 1979年～1983年（5年）  |
| 国語 | 江口 達也     | 1981年～1984年（4年）  |
| 国語 | 土井（橋口）美紀  | 1981年（1年）        |
| 国語 | 森尾 正江     | 1982年（1年）        |
| 国語 | 三好 俊英     | 1983年～1990年（7年）  |
| 国語 | 山田（玉野）圭子  | 1983年～1988年（6年）  |
| 国語 | 宮崎 直子     | 1983年～1984年（2年）  |
| 国語 | 三宅 欣市     | 1984年～1989年（6年）  |
| 国語 | 釘貫 栄子     | 1984年（1年）        |
| 国語 | 岩崎 江津子    | 1985年～1999年（15年） |
| 国語 | 海野 瑞枝     | 1985年～1991年（7年）  |
| 国語 | 井脇 貴子     | 1985年～1986年（2年）  |
| 国語 | 村田（田中）玲子  | 1986年～1987年（2年）  |
| 国語 | 伊藤（田中）明子  | 1987年～1989年（3年）  |
| 国語 | 山本 美博     | 1987年（1年）        |
| 国語 | 乙見 佳代     | 1988年～1992年（5年）  |
| 国語 | 貴志（杉山）好美  | 1988年～1989年（2年）  |
| 国語 | 藤井 利朗     | 1989年～1993年（5年）  |
| 国語 | 山口 治美     | 1990年～1994年（5年）  |
| 国語 | 山崎 誠      | 1990年～1991年（2年）  |
| 国語 | 小野ゆり子     | 1991年～1994年（4年）  |
| 国語 | 藤田（野間）紀子  | 1992年（1年）        |
| 国語 | 藤原 文子     | 1992年（1年）        |
| 国語 | 加藤 みちよ    | 1992年～1998年（7年）  |



| 教科 | 名前       | 在任期間             |
|----|----------|------------------|
| 国語 | 中村 達朗    | 1992年～1997年（6年）  |
| 国語 | 村田 芳一    | 1993年～2003年（11年） |
| 国語 | 安藤 由美子   | 1993年～1996年（4年）  |
| 国語 | 石井 潤一    | 1993年（1年）        |
| 国語 | 稲田 宗彦    | 1994年～2003年（10年） |
| 国語 | 久保 勲     | 1994年～1996年（3年）  |
| 国語 | 中村 則雄    | 1995年～2000年（6年）  |
| 国語 | 桑鶴 朗子    | 1995年（1年）        |
| 国語 | 長江 佐和    | 1996年～2002年（7年）  |
| 国語 | 芝野 和子    | 1997年～2005年（9年）  |
| 国語 | 關 篝      | 1998年～2007年（10年） |
| 国語 | 吉田 通子    | 1999年～2006年（8年）  |
| 国語 | 淀川 恵子    | 2001年（1年）        |
| 国語 | 三木 輝雄    | 2002年～2014年（13年） |
| 国語 | 山本 定行    | 2003年～2013年（11年） |
| 国語 | 樋口 信浩    | 2004年～2012年（9年）  |
| 国語 | 堀口 剛一    | 2004年～2006年（3年）  |
| 国語 | 上柴 克     | 2006年～2015年（10年） |
| 国語 | 北村 優子    | 2006年～2012年（7年）  |
| 国語 | 田中 里美    | 2007年～2017年（11年） |
| 国語 | 浅井 朋子    | 2007年～2009年（3年）  |
| 国語 | 三木 裕子    | 2008年～2016年（9年）  |
| 国語 | 岩城 佐和    | 2010年（1年）        |
| 国語 | 永野 真規    | 2012年～2018年（7年）  |
| 国語 | 池本 直樹    | 2013年～2019年（7年）  |
| 国語 | 岸部 康介    | 2013年（1年）        |
| 国語 | 西野 洋次    | 2014年～2020年（7年）  |
| 国語 | 北岡 深雪    | 2015年～2020年（6年）  |
| 国語 | 堀本 真先    | 2015年～2017年（3年）  |
| 国語 | 新明（高木）優美 | 2017年～2023年（6年）  |
| 国語 | 戸川 たかね   | 2018年～2021年（4年）  |
| 国語 | 福重 郁花    | 2019年～2022年（4年）  |
| 国語 | 戸川（池上）一真 | 2020年～2023年（4年）  |
| 国語 | 松重 圭一    | 2021年～2024年（4年）  |
| 国語 | 石倉 千睦    | 2021年～2024年（4年）  |

| 教科 | 名前        | 在任期間             |
|----|-----------|------------------|
| 社会 | 市村 昌三     | 1976年～1985年（10年） |
| 社会 | 田村 陽一     | 1976年～1979年（4年）  |
| 社会 | 山本 勇      | 1977年～2001年（25年） |
| 社会 | 大塚 忠      | 1977年～1984年（8年）  |
| 社会 | 梅川 邦夫     | 1978年～1991年（14年） |
| 社会 | 岸川 和夫     | 1978年～1985年（8年）  |
| 社会 | 射手矢 豊和    | 1978年～1984年（7年）  |
| 社会 | 牟田口 映二    | 1978年～1981年（4年）  |
| 社会 | 山口 潤一     | 1978年～1979年（2年）  |
| 社会 | 時藤 知之     | 1978年～1985年（8年）  |
| 社会 | 原田 益勝     | 1980年～1985年（6年）  |
| 社会 | 高橋 每彰     | 1981年～1989年（9年）  |
| 社会 | 南 英世      | 1983年～1985年（3年）  |
| 社会 | 藤基（和田）佳子  | 1983年～1992年（10年） |
| 社会 | 中井 哲男     | 1985年～1990年（6年）  |
| 社会 | 増田（並松）紀公子 | 1986年～1996年（10年） |
| 社会 | 木下 博之     | 1986年～1996年（10年） |
| 社会 | 辻 清孝      | 1985年～1994年（10年） |
| 社会 | 秋月 弘司     | 1985、1987年（2年）   |
| 社会 | 松岡 徹      | 1986年（1年）        |
| 社会 | 中川 孝      | 1986年～1989年（4年）  |
| 社会 | 大家 孝雄     | 1985年～1992年（8年）  |
| 社会 | 妻木 靖朗     | 1987年～1995年（9年）  |
| 社会 | 上田 雄一     | 1988年～1999年（12年） |
| 社会 | 西田 浩之     | 1990年～1994年（5年）  |
| 社会 | 濱田 幸喜     | 1990年～1991年（2年）  |
| 社会 | 柿内 徹朗     | 1990年～2006年（17年） |
| 社会 | 橘 功章      | 1992年～2000年（9年）  |
| 社会 | 福田 博昭     | 1995年～2002年（10年） |
| 社会 | 前岡 悦司     | 1995年～2007年（13年） |
| 社会 | 瀬戸 弘哉     | 1995年（1年）        |
| 社会 | 長谷川 久也    | 1996年～2004年（9年）  |
| 社会 | 宮本 岩男     | 1997年～2003年（7年）  |
| 社会 | 北口 勝則     | 1997年～断続的に複数年    |
| 社会 | 加賀 正一郎    | 1997年～2008年（12年） |
| 社会 | 坂口 昇      | 2000年～2006年（7年）  |
| 社会 | 小川 彰基     | 2002年～2023年(22年) |
| 社会 | 中山 泰      | 2004年～2015年（12年） |

| 教科 | 名前        | 在任期間             |
|----|-----------|------------------|
| 社会 | 林堂 進      | 2006年～2014年（9年）  |
| 社会 | 秋山 友見     | 2006年～2009年（4年）  |
| 社会 | 筈尾 豪介     | 2007年～2012年（6年）  |
| 社会 | 大塚 雅之     | 2008年～2013年（6年）  |
| 社会 | 芥子 馨      | 2008年～2011年（4年）  |
| 社会 | 橋口 正和     | 2009年～2017年（9年）  |
| 社会 | 波田 聖一     | 2010年～2015年（6年）  |
| 社会 | 白水 輝      | 2011年～2016年（6年）  |
| 社会 | 吉田 俊平     | 2013年～2020年（8年）  |
| 社会 | 近藤 彰宏     | 2014年～2019年（6年）  |
| 社会 | 野間 健二     | 2015年～2023年（9年）  |
| 社会 | 咲花（吉岡）美幸  | 2015年～2024年（10年） |
| 社会 | 村田 圭吾     | 2016年～2023年（7年）  |
| 社会 | 三川 功耀     | 2017年～2020年（4年）  |
| 社会 | 佐藤 和之     | 2021年～2024年（4年）  |
| 社会 | 桃井 清美     | 2021年～2023年（3年）  |
| 数学 | 永井 仁司     | 1976年～1987年（12年） |
| 数学 | 中村 二郎     | 1976年～1982年（7年）  |
| 数学 | 岡本 博文     | 1976年～1980年（5年）  |
| 数学 | 渕本 俊一     | 1977年～1980（4年）   |
| 数学 | 北出 憲一     | 1977年～1992年（16年） |
| 数学 | 西本（榎木）三恵子 | 1977年～1992年（16年） |
| 数学 | 近澤 啓成     | 1977年～1990年（14年） |
| 数学 | 炭鎌 伸司     | 1977年～1989年（13年） |
| 数学 | 鈴木 守郎     | 1978年～1988年（11年） |
| 数学 | 正木 健志郎    | 1978年～1983年（6年）  |
| 数学 | 河内 龍哉     | 1978年～1982年（5年）  |
| 数学 | 林 一光      | 1983年～1988年（6年）  |
| 数学 | 一居 孝典     | 1983年（1年）        |
| 数学 | 恩地 博幸     | 1983年（1年）        |
| 数学 | 大江 正記     | 1984年～1991年（8年）  |
| 数学 | 塩谷 亘      | 1984年～1990年（7年）  |
| 数学 | 山之内 豊     | 1984年～1990年（7年）  |
| 数学 | 中村 直      | 1984年～1990年（7年）  |
| 数学 | 辻 康子      | 1985年～1993年（9年）  |
| 数学 | 古野 仁美     | 1988年（1年）        |
| 数学 | 竹谷 貞彦     | 1989年～1998年（10年） |
| 数学 | 新野 正博     | 1989年（1年）        |

| 教科 | 名前        | 在任期間                               |
|----|-----------|------------------------------------|
| 数学 | 中筋（鳥居）あゆみ | 1989年（1年）                          |
| 数学 | 南川 修司     | 1990年～1994年（5年）                    |
| 数学 | 宮本 里香     | 1990年（1年）                          |
| 数学 | 小林 伸一     | 1991年～1999年（9年）                    |
| 数学 | 中西 太澄     | 1991年～1997年（7年）                    |
| 数学 | 中岡 義博     | 1991年～1996年（6年）                    |
| 数学 | 深渡 重秀     | 1991年より断続的に複数年                     |
| 数学 | 加藤 一人     | 1991年（1年）                          |
| 数学 | 上田 敬介     | 1992年～2002年（11年）                   |
| 数学 | 川村 亮      | 1992年～1999年（8年）                    |
| 数学 | 木谷 紀彦     | 1992年～1998年（7年）                    |
| 数学 | 福田 弘吉     | 1994年～2000年（7年）                    |
| 数学 | 根来 則義     | 1995年～2001年（7年）<br>2014年～2018年（5年） |
| 数学 | 根来 信行     | 1999年～2011年（13年）                   |
| 数学 | 谷口 美喜夫    | 1999年～2004年（6年）                    |
| 数学 | 出原 多賀子    | 2000年～2008年（9年）                    |
| 数学 | 山本 庸夫     | 2002年（1年）                          |
| 数学 | 山田 典克     | 2002年～2009年（8年）                    |
| 数学 | 渡嘉敷 尚     | 2002年（1年）                          |
| 数学 | 井原 謙一郎    | 2003年～2007年（5年）                    |
| 数学 | 中坂 欣司     | 2004年～2011年（8年）                    |
| 数学 | 元島 和明     | 2005年（1年）                          |
| 数学 | 久保田 達夫    | 2005年（1年）                          |
| 数学 | 宇賀神 充利    | 2006年～2008年（3年）                    |
| 数学 | 普本 博史     | 2006年（1年）                          |
| 数学 | 山本 典生     | 2007年～2010年（4年）                    |
| 数学 | 芝野 宏幸     | 2008年～2013年（6年）                    |
| 数学 | 納谷 健      | 2009年～2014年（6年）                    |
| 数学 | 森田 務      | 2009年～2010年（2年）                    |
| 数学 | 平岡（清水）志乃  | 2011年から断続的に複数年                     |
| 数学 | 嶋津 貴裕     | 2010年～2015年（6年）                    |
| 数学 | 川瀬 治彦     | 2011年～2013年（3年）                    |
| 数学 | 徳和目 晃啓    | 2011年～2017年（7年）                    |
| 数学 | 寺坂 友佳     | 2012年～2016年（5年）                    |
| 数学 | 中山 輝彦     | 2012年～2024年（13年）                   |
| 数学 | 向井 馨一     | 2014年（1年）                          |
| 数学 | 安田 覚      | 2015年～2024年（10年）                   |
| 数学 | 楠本 拓実     | 2015年（1年）                          |



| 教科 | 名前         | 在任期間             |
|----|------------|------------------|
| 数学 | 中谷 大輝      | 2016年～2022年(7年)  |
| 数学 | 田畑 貴史      | 2017年～2023年(7年)  |
| 数学 | 天野 陽太      | 2018年～2022年(5年)  |
| 数学 | 與儀 美春      | 2019年～2021年(3年)  |
| 数学 | 谷口 今日子     | 2019年～2020年(2年)  |
| 数学 | 田代 裕樹      | 2021年～2024年(4年)  |
| 理科 | 中筋 久彌      | 1976年～1991年(16年) |
| 理科 | 小西 紀満      | 1976年～1990年(15年) |
| 理科 | 友田 隆三      | 1976年～1979年(4年)  |
| 理科 | 黒坂 峻       | 1977年～1983年(7年)  |
| 理科 | 三笠 照郎      | 1977年～1982年(6年)  |
| 理科 | 小林 寛三      | 1977年～1982年(6年)  |
| 理科 | 丸村 真弘      | 1977年～1981年(5年)  |
| 理科 | 高橋 雄二      | 1977年～1979年(3年)  |
| 理科 | 上林 正博      | 1978年～1985年(8年)  |
| 理科 | 眞田 雄一      | 1978年～1981年(4年)  |
| 理科 | 村田 悟       | 1980年～1994年(15年) |
| 理科 | 一居 孝典      | 1982年(1年)        |
| 理科 | 萩原 直樹      | 1983年～1992年(10年) |
| 理科 | 聖居 隆       | 1983年～1986年(4年)  |
| 理科 | 鈴木(武本) 泉   | 1983年～1984年(2年)  |
| 理科 | 平川 勉       | 1984年～1996年(13年) |
| 理科 | 濱本 泰治      | 1984年～1994年(11年) |
| 理科 | 岡村 多加志     | 1984年～1993年(10年) |
| 理科 | 坂口 公男      | 1985年～1993年(9年)  |
| 理科 | 西野(小林) 真由美 | 1986年～1992年(7年)  |
| 理科 | 川端 雅生      | 1986年～1988年(3年)  |
| 理科 | 高木 まや      | 1987年(1年)        |
| 理科 | 中筋 典宏      | 1988年～1992年(5年)  |
| 理科 | 松谷 伸一      | 1989年～1993年(5年)  |
| 理科 | 谷口 純造      | 1991年～2007年(17年) |
| 理科 | 小林 義隆      | 1992年(1年)        |
| 理科 | 宇野 正直      | 1993年～2002年(10年) |
| 理科 | 森田 武       | 1993年～2000年(8年)  |
| 理科 | 寺田 友美      | 1993年(1年)        |
| 理科 | 秋山 務       | 1994年～2003年(10年) |
| 理科 | 竹田 一幸      | 1994年～1998年(5年)  |
| 理科 | 和知 元       | 1994年(1年)        |

| 教科 | 名前        | 在任期間             |
|----|-----------|------------------|
| 理科 | 笹井 美治     | 1995年～2005年(11年) |
| 理科 | 小谷 英治     | 1995年～2004年(10年) |
| 理科 | 奥野 嘉彦     | 1995年～1999年(5年)  |
| 理科 | 北野 克幸     | 2000年(1年)        |
| 理科 | 村上 智加子    | 2001年～2008年(8年)  |
| 理科 | 鍋谷 正昭     | 2001年、2008年(2年)  |
| 理科 | 河添 純子     | 2004年～2017年(14年) |
| 理科 | 東 英次      | 2005年～2009年(5年)  |
| 理科 | 大西 温      | 2005年～2009年(5年)  |
| 理科 | 牧野 進一郎    | 2006年～2012年(7年)  |
| 理科 | 村田 幸男     | 2008年～2010年(3年)  |
| 理科 | 植田 諭史     | 2009年～2012年(4年)  |
| 理科 | 野田 勇人     | 2009年～2013年(5年)  |
| 理科 | 松田 義之     | 2010年～2018年(9年)  |
| 理科 | 三宅 史朗     | 2010年～2017年(8年)  |
| 理科 | 山下 佳恵     | 2010年～2011年(2年)  |
| 理科 | 松井 孝徳     | 2011年～2023年(12年) |
| 理科 | 鮎川 哲也     | 2012年～2018年(7年)  |
| 理科 | 宮崎 恵二     | 2013年～2019年(7年)  |
| 理科 | 南 勝仁      | 2014年(1年)        |
| 理科 | 冲殿 佳祐     | 2015年(1年)        |
| 理科 | 多賀 絢香     | 2016年～2021年(6年)  |
| 理科 | 谷内 恵亮     | 2018年～2023年(6年)  |
| 理科 | 川口 健成     | 2019年～2024年(6年)  |
| 理科 | 田中 元気     | 2019年～2022年(4年)  |
| 理科 | 山田 翔馬     | 2020年～2023年(4年)  |
| 理科 | 山崎 幹斗     | 2021年(1年)        |
| 保体 | 由井 潔      | 1976年～1993年(18年) |
| 保体 | 安西 仁      | 1976年～1991年(16年) |
| 保体 | 岸本 章嗣     | 1976年～1985年(10年) |
| 保体 | 川崎 泰英     | 1977年～1988年(12年) |
| 保体 | 佐藤 幸弘     | 1977年～1986年(10年) |
| 保体 | 藤本(北川) 美加 | 1977年(1年)        |
| 保体 | 梅田 宏子     | 1978年～1994年(17年) |
| 保体 | 柿花 和夫     | 1978年～1990年(13年) |
| 保体 | 長谷川 晃     | 1978年～1988年(11年) |
| 保体 | 藤田 繁也     | 1985年～2002年(18年) |
| 保体 | 梶原 敏孝     | 1986年(1年)        |

| 教科 | 名前        | 在任期間             |
|----|-----------|------------------|
| 保体 | 川井 昌隆     | 1987年～1996年（10年） |
| 保体 | 平岡 信一     | 1987年～1994年（8年）  |
| 保体 | 宮崎 貞明     | 1989年～1995年（7年）  |
| 保体 | 加藤 伸一郎    | 1991年～2000年（10年） |
| 保体 | 奥 武文      | 1992年～1994年（3年）  |
| 保体 | 金子 聡一郎    | 1994年～1998年（5年）  |
| 保体 | 小嶋 淳史     | 1994年～2005年（12年） |
| 保体 | 高橋 貴美子    | 1995年～2003年（9年）  |
| 保体 | 勇 宇一郎     | 1995年～2001年（6年）  |
| 保体 | 平野 一也     | 1997年～2007年（11年） |
| 保体 | 平野 芳男     | 2001年～2010年（10年） |
| 保体 | 形部 元久     | 2002年～2006年（5年）  |
| 保体 | 松下 雅司     | 2003年～2007年（5年）  |
| 保体 | 辻本 幸美     | 2004年～2008年（5年）  |
| 保体 | 松崎 隆幸     | 2006年～2012年（7年）  |
| 保体 | 中原 浩育     | 2007年～2011年（5年）  |
| 保体 | 富田 裕介     | 2007年（1年）        |
| 保体 | 赤井 正登     | 2008年～2011年（4年）  |
| 保体 | 園田 大介     | 2008年～2016年（9年）  |
| 保体 | 清水 耕介     | 2008年～2013年（6年）  |
| 保体 | 紀野本（岡田）侑子 | 2009年～2013年（5年）  |
| 保体 | 松永 考史     | 2009年～2015年（7年）  |
| 保体 | 松永 義之     | 2010年（1年）        |
| 保体 | 吉岡 征一郎    | 2011年～2014年（4年）  |
| 保体 | 藤本 健二     | 2012年～2017年（6年）  |
| 保体 | 北岸 伸浩     | 2013年～2024年（12年） |
| 保体 | 大倉 鉄平     | 2010年～2016年（7年）  |
| 保体 | 阪口 綾花     | 2014年（1年）        |
| 保体 | 新明 直樹     | 2015年～2024年（10年） |
| 保体 | 日野 有梨     | 2015年～2018年（4年）  |
| 保体 | 撫井 弘志     | 2015年（1年）        |
| 保体 | 濱崎 祥成     | 2016年～2023年（7年）  |
| 保体 | 都村（延本）薫音  | 2016年～2024年（9年）  |
| 保体 | 都村 智志     | 2016年～2017年（2年）  |
| 保体 | 川崎 始      | 2018年～2022年（10年） |
| 保体 | 田中 航平     | 2018年～2019年（2年）  |
| 保体 | 清水 康平     | 2020年～以後断続的に複数年  |
| 保体 | 池田（牧野）優子  | 2022年（1年）        |
| 保体 | 高橋 菜々香    | 2024年～2024年（1年）  |

| 教科 | 名前        | 在任期間             |
|----|-----------|------------------|
| 音楽 | 岸本（合田）書子  | 1977年～1982年（6年）  |
| 音楽 | 古石 伊澄     | 1981年（1年）        |
| 音楽 | 名倉 一好     | 1983年～1986年（4年）  |
| 音楽 | 松本 裕明     | 1987年～1999年（13年） |
| 音楽 | 上田（児玉）純子  | 2000年～2001年（2年）  |
| 音楽 | 菊田 敏夫     | 2002年～2014年（13年） |
| 音楽 | 杉田 芽衣     | 2015年～2019年（5年）  |
| 音楽 | 北野谷 弓子    | 2020年～2023年（4年）  |
| 美術 | 須賀 喜志恵    | 1976年～1982年（7年）  |
| 美術 | 赤城 龍吉     | 1983年～1988年（6年）  |
| 美術 | 芝崎 博敏     | 1989年（1年）        |
| 美術 | 小谷 智彦     | 1990年～1995年（6年）  |
| 美術 | 丸山 勉      | 1996年～2001年（6年）  |
| 美術 | 藤田 ちあき    | 2002年～2003年（2年）  |
| 美術 | 石井 智恵子    | 2004年～2009年（6年）  |
| 美術 | 鈴木 良平     | 2010年～2015年（6年）  |
| 美術 | 唐見 正二     | 2016年～2020年（5年）  |
| 書道 | 九鬼 恵章     | 1976年（1年）        |
| 書道 | 吉田 幹子     | 1977年～1991年（14年） |
| 書道 | 毛藤 佳宏     | 1992年～1998年（7年）  |
| 書道 | 平井 誠      | 1999年～2008年（10年） |
| 書道 | 網 真明      | 2009年～2014年（6年）  |
| 書道 | 新延 このみ    | 2015年～2022年（8年）  |
| 家庭 | 広田 隆子     | 1976年～1986年（11年） |
| 家庭 | 中嶋 加津美    | 1977年（1年）        |
| 家庭 | 柿花（植原）直美  | 1980年～1981年（2年）  |
| 家庭 | 佐々木 孝子    | 1982年～1985年（4年）  |
| 家庭 | 北浦 千恵美    | 1983年～1983年（1年）  |
| 家庭 | 川村 啓子     | 1985年～1985年（1年）  |
| 家庭 | 植田 博子     | 1986年～1991年（6年）  |
| 家庭 | 中川（日垣）久仁子 | 1987年～1993年（7年）  |
| 家庭 | 根来 由紀子    | 1992年～1997年（6年）  |
| 家庭 | 竹口（中野）克美  | 1994年～2004年（11年） |
| 家庭 | 井出 康子     | 1998年～2010年（13年） |
| 家庭 | 藤田 尚子     | 2000年～2003年（4年）  |
| 家庭 | 江森 智子     | 2005年（1年）        |
| 家庭 | 寺内 麻里     | 2006年～2011年（6年）  |
| 家庭 | 上野 美奈     | 2010年～2011年（2年）  |



| 教科 | 名前        | 在任期間             |
|----|-----------|------------------|
| 家庭 | 光澤 遥香     | 2011年～2017年（7年）  |
| 家庭 | 大江 理恵     | 2012年～2015年（4年）  |
| 家庭 | 常世田 結衣    | 2012年～2015年（4年）  |
| 家庭 | 萬田 育美     | 2013年より断続的に複数年   |
| 家庭 | 三好 絢子     | 2016年～2019年（4年）  |
| 家庭 | 大林 直子     | 2018年～2023年（6年）  |
| 家庭 | 高野 朋子     | 2020年～2024年（5年）  |
| 家庭 | 北方 平子     | 2021年（1年）        |
| 家庭 | 岡橋 未優     | 2022年（1年）        |
| 家庭 | 小林 和恵     | 2022年～2023年（2年）  |
| 英語 | 伯耆 佳代     | 1976年～1990年（15年） |
| 英語 | 大庭（西浦）麻里子 | 1976年～1980年（5年）  |
| 英語 | 辻 陽一      | 1976年～1979年（4年）  |
| 英語 | 七尾（松田）英子  | 1976年～1977年（2年）  |
| 英語 | 亀田 信美     | 1977年～1997年（21年） |
| 英語 | 佐野（小嶋）妙子  | 1977年～1985年（9年）  |
| 英語 | 中村（松本）幸子  | 1977年～1984年（8年）  |
| 英語 | 細尾 俊之     | 1977年～1981年（5年）  |
| 英語 | 浅野 拓也     | 1978年～1985年（8年）  |
| 英語 | 木本 和利     | 1978年～1980年（3年）  |
| 英語 | 嶋田 和代     | 1978年～1979年（2年）  |
| 英語 | 室 良枝      | 1978年（1年）        |
| 英語 | 松田（伊藤）江利子 | 1978年（1年）        |
| 英語 | 中野（小出）孝雄  | 1979年～1985年（7年）  |
| 英語 | 石川 正浩     | 1979年～1981年（3年）  |
| 英語 | 山本 朗則     | 1979年～1979年（1年）  |
| 英語 | 土井 健司     | 1980年～1982年（3年）  |
| 英語 | 中井 隆      | 1981年～1982年（2年）  |
| 英語 | 山本 三郎     | 1982年～1991年（10年） |
| 英語 | 衛藤（植村）妙   | 1983年～1991年（9年）  |
| 英語 | 森 建夫      | 1983年～1990年（8年）  |
| 英語 | 貝谷 安宏     | 1983年～1988年（6年）  |
| 英語 | 伊藤 雅司     | 1985年～1995年（11年） |
| 英語 | 松本 純一     | 1985年～1989年（5年）  |
| 英語 | 露口 玉緒     | 1986年～1993年（8年）  |
| 英語 | 田窪 宏年     | 1986年～1990年（5年）  |
| 英語 | 松谷 世津子    | 1986年～1986年（1年）  |
| 英語 | 清尾 栄司     | 1987年～1987年（1年）  |

| 教科 | 名前       | 在任期間             |
|----|----------|------------------|
| 英語 | 寺田（山本）順子 | 1988年～1997年（10年） |
| 英語 | 樋口 明代    | 1988年（1年）        |
| 英語 | 中野 由美子   | 1989年～1993年（5年）  |
| 英語 | 藤尾（川口）慶子 | 1989年～2001年（13年） |
| 英語 | 後藤 みゆき   | 1991年～1995年（5年）  |
| 英語 | 門田 竜一    | 1991年（1年）        |
| 英語 | 藺 いすみ    | 1991年（1年）        |
| 英語 | 土井 匡子    | 1992年～1999年（8年）  |
| 英語 | 石田 孝文    | 1992年～1996年（5年）  |
| 英語 | 得津 知珠子   | 1992年（1年）        |
| 英語 | 前川 恭     | 1993年～2005年（13年） |
| 英語 | 前田 敦子    | 1994年～1998年（5年）  |
| 英語 | 小林 克子    | 1994年（1年）        |
| 英語 | 畑田 純     | 1995年～1995年（1年）  |
| 英語 | 東 孝幸     | 1996年～1997年（2年）  |
| 英語 | 根来 玲子    | 1996年（1年）        |
| 英語 | 川口 真     | 1996年（1年）        |
| 英語 | 屋敷 晴美    | 1997年～2002年（6年）  |
| 英語 | 日根野 敬也   | 1997年～2000年（4年）  |
| 英語 | 藤原 健一    | 1998年～2004年（7年）  |
| 英語 | 中島 均     | 1998年～2004年（7年）  |
| 英語 | 田中 早苗    | 1998年～2001年（4年）  |
| 英語 | 阪上 萬喜子   | 1999年～2006年（8年）  |
| 英語 | 溝畑 由加    | 2001年～2009年（9年）  |
| 英語 | 滝本 洋一    | 2002年～2010年（9年）  |
| 英語 | 池田 晶     | 2003年～2008年（6年）  |
| 英語 | 青木 悦子    | 2005年～2016年（12年） |
| 英語 | 清水 泰子    | 2005年～2010年（6年）  |
| 英語 | 栗原 重彦    | 2006年～2016年（11年） |
| 英語 | 南垣内 美公   | 2006年（1年）        |
| 英語 | 岩木 章子    | 2007年～2012年（6年）  |
| 英語 | 新堂 量也    | 2009年～2016年（8年）  |
| 英語 | 酒井 浩平    | 2010年～2016年（7年）  |
| 英語 | 小川 真理子   | 2010年～2012年（3年）  |
| 英語 | 田中 千絵    | 2011年～2017年（7年）  |
| 英語 | 飯田 真弓    | 2011年（1年）        |
| 英語 | 奥田 訓之    | 2012年～2018年（7年）  |
| 英語 | 田所（森内）愛  | 2013年～2022年(10年) |

| 教科 | 名前                              | 在任期間               |
|----|---------------------------------|--------------------|
| 英語 | 崎山 真樹                           | 2013年～2019年（7年）    |
| 英語 | 重野 金美                           | 2015年（1年）          |
| 英語 | 宮本 みどり                          | 2017年～2023年（7年）    |
| 英語 | 坂下 奈緒                           | 2017年～2023年（7年）    |
| 英語 | 上田 正登                           | 2017年～2024年（8年）    |
| 英語 | 平林 あづさ                          | 2017年～2021年（5年）    |
| 英語 | 松井（坂）圭菜                         | 2018年～2019年（2年）    |
| 英語 | 福井 章弘                           | 2019年～2023年（4年）    |
| 英語 | 峠 雅明                            | 2020年（1年）          |
| 英語 | 西峰 香澄                           | 2020年（1年）          |
| 英語 | 鎌田 勇                            | 2021年（1年）          |
| 英語 | 上浦 和子                           | 2024年（1年）          |
| NT | Craig Fay                       | 1992年～1995年（4年）    |
| NT | Peter French                    | 1996年（1年）          |
| NT | Steve Leavett<br>Brown          | 1997年（1年）          |
| NT | William Hofius                  | 1998年～2000年（3年）    |
| NT | 大鳥 ヘレン                          | 2001年～2003年（3年）    |
| NT | Asano Craig                     | 2004年（1年）          |
| NT | Dwayne Primeau                  | 2005年（1年）          |
| NT | グレイブス・ジョット                      | 2006年（1年）          |
| NT | アレック・ハリス                        | 2007年～2008年（2年）    |
| NT | ガッソ・ハーモン                        | 2009年～2014年（6年）    |
| NT | Irza Inion                      | 2015年（1年）          |
| NT | Edward Milton                   | 2016年（1年）          |
| NT | Yuki Tsuchihashi                | 2017年（1年）          |
| NT | Melissa Llave                   | 2018年（1年）          |
| NT | Hamagami Car-<br>melita Patrici | 2019～2020、2023（3年） |
| NT | Dashe Peter                     | 2021年（1年）          |
| NT | CHAUDHRY AH-<br>MED SHABBIR     | 2022年（1年）          |
| NT | Jonathan Yamas                  | 2024年（1年）          |
| 情報 | 玉置 容子                           | 2005年～2015年（11年）   |
| 情報 | 黒川 哲男                           | 2016年～2023年（8年）    |
| 実習 | 梅本 春代                           | 1976年～2005年（30年）   |
| 実習 | 津田 昭一                           | 1976年～1981年（6年）    |
| 実習 | 井辺（安井）清子                        | 1977年～1981年（5年）    |
| 実習 | 花岡（中橋）香代子                       | 1978年～2007年（30年）   |
| 実習 | 西辻（池辺）耕一                        | 1982年～1985年（4年）    |
| 実習 | 北出 梨恵                           | 1983年（1年）          |

外国人数員は平成26年までNET、平成27年から業務委託のT-NETとなっているが、全員をNT（ネイティブ・ティーチャー）と表記する。

| 教科  | 名前        | 在任期間             |
|-----|-----------|------------------|
| 実習  | 池田 悦子     | 1986年～2001年（16年） |
| 実習  | 西本 孝子     | 1987年～1988年（2年）  |
| 実習  | 吉崎 光子     | 2002年～2011年（10年） |
| 実習  | 岡本 芳子     | 2005年（1年）        |
| 実習  | 福井 貴子     | 2007年～2021年（15年） |
| 実習  | 木戸 聖子     | 2008年～2014年（7年）  |
| 実習  | 上松 義明     | 2012年～2015年（4年）  |
| 実習  | 宇野 名見子    | 2016年～2020年（5年）  |
| 実習  | 奥田 尚美     | 2020年～2024年（5年）  |
| 実習  | 平岡 志乃     | 2023年～2024年（2年）  |
| 養護  | 北橋 久子     | 1976年～1978年（3年）  |
| 養護  | 藤井（西）真喜子  | 1979年～1992年（14年） |
| 養護  | 宮田 律子     | 1993年～2005年（13年） |
| 養護  | 大谷 奈央     | 2005年（1年）        |
| 養護  | 荒木 夏子     | 2006年～2010年（5年）  |
| 養護  | 富中（松岡）美由紀 | 2006年～2014年（9年）  |
| 養護  | 田中 千晶     | 2009年（1年）        |
| 養護  | 伊藤 倫子     | 2011年～2016年（6年）  |
| 養護  | 濱口 さやか    | 2013年～2014年（2年）  |
| 養護  | 坂井 佳奈     | 2015年～2019年（5年）  |
| 養護  | 上田 京香     | 2017年～2020年（4年）  |
| 養護  | 坊内 明美     | 2020年～2024年（5年）  |
| 事務長 | 大沢 温幸     | 1976年～1978年（3年）  |
| 事務長 | 藤原 義次     | 1979年～1981年（3年）  |
| 事務長 | 田中 春徳     | 1982年（1年）        |
| 事務長 | 森貞 綏      | 1983年～1984年（2年）  |
| 事務長 | 易本 清昭     | 1985年～1987年（3年）  |
| 事務長 | 福田 貴穂     | 1988年（1年）        |
| 事務長 | 井上 一雄     | 1989年～1990年（2年）  |
| 事務長 | 池辺 清次     | 1991年（1年）        |
| 事務長 | 佐々木 繁     | 1992年～1995年（4年）  |
| 事務長 | 原野 靖和     | 1996年～1998年（3年）  |
| 事務長 | 中井 健二     | 1999年～2002年（4年）  |
| 事務長 | 横山 博明     | 2003年～2004年（2年）  |
| 事務長 | 清水 新造     | 2005年～2005年（1年）  |
| 事務長 | 辻口 重大     | 2006年～2008年（3年）  |
| 事務長 | 麻生川 正光    | 2009年～2012年（4年）  |
| 事務長 | 小阪 浩治     | 2013年～2014年（2年）  |
| 事務長 | 星野 恵美     | 2015年～2017年（3年）  |
| 事務長 | 岡崎 哲也     | 2018年～2022年（5年）  |



| 教科職種 | 名前       | 在任期間             |
|------|----------|------------------|
| 事務長  | 法橋 秀晃    | 2023年～2024年（2年）  |
| 主査   | 播本 次男    | 1976年～1985年（10年） |
| 主査   | 山中 正雄    | 1986年～1991年（6年）  |
| 主査   | 村田 真弓    | 1992年～1994年（3年）  |
| 主査   | 古館 一彦    | 1995年～1997年（3年）  |
| 主査   | 仁井戸 宏志   | 1998年～2000年（3年）  |
| 主査   | 七野 ルリ子   | 2001年～2003年（3年）  |
| 主査   | 松本 真弓    | 2004年～2006年（3年）  |
| 主査   | 高岡 明彦    | 2007年～2009年（3年）  |
| 主査   | 西座 昇     | 2010年～2013年（4年）  |
| 主査   | 森 和美     | 2014年～2015年（2年）  |
| 主査   | 義之 雅彦    | 2016年（1年）        |
| 主査   | 市原 喜与治   | 2017年～2018年（2年）  |
| 主査   | 木村 茂雄    | 2019年～2021年（3年）  |
| 主査   | 栗田 学     | 2022年～2023年（2年）  |
| 主査   | 上村 直     | 2024年～2024年（1年）  |
| 副主査等 | 上田 利文    | 1976年～1993年（18年） |
| 副主査等 | 前田（溝口）清美 | 1976年～1982年（7年）  |
| 副主査等 | 福本 成道    | 1976年～1979年（4年）  |
| 副主査等 | 林 重樹     | 1977年～1981年（5年）  |
| 副主査等 | 藤田 雅子    | 1978年～1990年（13年） |
| 副主査等 | 花野 仰彦    | 1982年～1986年（5年）  |
| 副主査等 | 木戸 亜子    | 1984年～1994年（11年） |
| 副主査等 | 犬伏 政二    | 1987年～1994年（8年）  |
| 副主査等 | 濱永 賀代子   | 1990年～1992年（3年）  |
| 副主査等 | 森田 浩     | 1994年～1997年（4年）  |
| 副主査等 | 神藤 太     | 1995年～1999年（5年）  |
| 副主査等 | 佐々木 昭子   | 1997年～2000年（4年）  |
| 副主査等 | 森 和美     | 1998年～2005年（8年）  |
| 副主査等 | 指吸 富春    | 2005年～2007年（3年）  |
| 副主査等 | 清水 ナナオ   | 2005年～2006年（2年）  |
| 副主査等 | 蔵野 聡     | 2007年～2010年（4年）  |
| 副主査等 | 山下 富栄    | 2008年～2011年（4年）  |
| 副主査等 | 角谷 一二美   | 2012年～2016年（5年）  |
| 副主査等 | 坂田 光二郎   | 2016年（1年）        |
| 副主査等 | 稲 信子     | 2018年～2019年（2年）  |
| 副主査等 | 篠原 友樹    | 2020年～2024年（5年）  |

| 教科職種 | 名前     | 在任期間             |
|------|--------|------------------|
| 技師   | 藤木 誠夫  | 1976年～1982年（7年）  |
| 技師   | 太田 操男  | 1976年～1979年（4年）  |
| 技師   | 松下 武   | 1977年～2012年（36年） |
| 技師   | 浦尾 宗雄  | 1980年～1987年（8年）  |
| 技師   | 井上 雅道  | 1983年～1987年（5年）  |
| 技師   | 清水 スミ子 | 1988年～2008年（21年） |
| 技師   | 植田 好一  | 1988年～1996年（9年）  |
| 技師   | 堂野 勝利  | 1997年～2002年（6年）  |
| 技師   | 坂田 光二郎 | 2009年～2017年（9年）  |

教職員・行政職員 延べ 576人

# 歴代PTA役員一覧（開校～閉校）

| 元号   | 昭和51   | 昭和52   | 昭和53   | 昭和54   | 昭和55   | 昭和56   | 昭和57   | 昭和58   |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 西暦   | 1976   | 1977   | 1978   | 1979   | 1980   | 1981   | 1982   | 1983   |
| 会長   | 根来 正男  | 根来 正男  | 根来 正男  | 藤原 史郎  | 土生 勝昭  | 奥野 清人  | 野田 政春  | 田嶋 幸雄  |
| 副会長  | 茂野 尚之  | 浦川 美代子 | 浦川 美代子 | 土生 勝昭  | 梶本 景弘  | 彦野 洋子  | 坂口 寿昭  | 七良浴 増吉 |
|      | 浦川 美代子 | 藤原 史郎  | 藤原 史郎  | 小藤 香代  | 彦野 洋子  | 井田 稔   | 眞柄 和夫  | 黒川 宣代  |
|      |        |        |        |        |        | 野田 政春  | 田嶋 幸雄  | 吉居 清八郎 |
| 書記   | 田阪 俊一郎 | 小藤 香代  | 小藤 香代  | 梶本 景弘  | 奥野 清人  | 坂口 寿昭  | 七良浴 増吉 | 狩野 憲一  |
|      | 市村 昌三  | 安西 仁   | 岸本 章嗣  | 小西 紀満  | 中村 次郎  | 梅川 邦夫  | 梅川 邦夫  | 梅川 邦夫  |
| 会計   | 歌坂 伸英  | 岩尾 将雄  | 土生 勝昭  | 大野 なつ子 | 若野 貞子  | 南谷 光代  | 黒川 幸勇  | 東 千里   |
|      | 播本 次男  | 播本 次男  | 播本 次男  | 播本 次男  | 播本 次男  | 播本 次男  | 播本 次男  | 播本 次男  |
| 会計監査 | 矢倉 明広  | 矢倉 明広  | 矢倉 明広  | 奥野 清人  | 井田 稔   | 若野 貞子  | 中原 昭己  | 伊織 啓子  |
| 会計監査 | 若松 良彦  | 若松 良彦  | 大野 なつ子 | 若野 貞子  | 野田 政春  | 田嶋 幸雄  | 東 千里   | 土生 貞雄  |
|      |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 元号   | 昭和59   | 昭和60   | 昭和61   | 昭和62   | 昭和63   | 平成 1   | 平成 2   | 平成 3   |
| 西暦   | 1984   | 1985   | 1986   | 1987   | 1988   | 1989   | 1990   | 1991   |
| 会長   | 吉居 清八郎 | 土生 貞雄  | 眞柄 和夫  | 佐藤 省三  | 七良浴 増吉 | 出原 一郎  | 伊與部 猛夫 | 射手矢 廣海 |
| 副会長  | 土生 貞雄  | 栗山 久美  | 倉津 国雄  | 七良浴 増吉 | 出原 一郎  | 辻野 国輝  | 射手矢 廣海 | 古谷 貞男  |
|      | 眞柄 和夫  | 眞柄 和夫  | 佐藤 省三  | 張 鴻志   | 辻野 国輝  | 伊與部 猛夫 | 古谷 貞男  | 竹中 正次  |
|      | 灰野 明美  | 倉津 国雄  | 貴田 将子  | 眞鍋 美津子 | 水本 美和子 | 野口 信子  | 河野 明子  | 佐納 治   |
| 書記   | 小川 典子  | 樂満 永子  | 張 鴻志   | 伊與部砂智子 | 伊與部砂智子 | 松田 トモ子 | 目徳 百合子 | 藤中 玲子  |
|      | 梅川 邦夫  | 梅川 邦夫  | 赤木 龍吉  | 赤木 龍吉  | 赤木 龍吉  | 梅川 邦夫  | 梅川 邦夫  | 梅川 邦夫  |
| 会計   | 草竹 玲子  | 根来 敏子  | 堺谷 秀子  | 堺谷 秀子  | 縄 桂子   | 縄 桂子   | 松田 トモ子 | 松田 トモ子 |
|      | 播本 次男  | 播本 次男  | 山中 正雄  | 山中 正雄  | 山中 正雄  | 山中 正雄  | 山中 正雄  | 山中 正雄  |
| 会計監査 | 栗山 久美  | 堺谷 秀子  | 眞鍋 美津子 | 水本 美和子 | 松田 正巳  | 森谷 明浩  | 野口 十三  | 阿形 時宏  |
| 会計監査 | 樂満 永子  | 水嶋 育子  | 水本 美和子 | 縄 晴雄   | 仲田 千鶴子 | 古谷 貞男  | 佐納 治   | 十朗 正   |
|      |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 元号   | 平成 4   | 平成 5   | 平成 6   | 平成 7   | 平成 8   | 平成 9   | 平成 1 0 | 平成 1 1 |
| 西暦   | 1992   | 1993   | 1994   | 1995   | 1996   | 1997   | 1998   | 1999   |
| 会長   | 芝野 正和  | 阿形 時宏  | 中西 正明  | 竹内 裕   | 大岩 宏   | 武輪 利夫  | 北 忠良   | 百野 永尾  |
| 副会長  | 佐納 治   | 十朗 八恵  | 竹内 裕   | 大岩 宏   | 神野 真人  | 森下 由美子 | 庄司 一郎  | 林 美佐栄  |
|      | 阿形 時宏  | 中西 正明  | 今井 都美子 | 佐田 照美  | 伊藤 英子  | 北 忠良   | 今井 都美子 | 秋田 幸男  |
|      | 阪上 末子  | 横河 僖治  | 公文 米太郎 | 秋庭 淑子  | 武輪 利夫  | 今井 都美子 | 百野 永尾  | 柳澤 つるみ |
| 書記   | 藤中 玲子  | 河野 節子  | 秋庭 淑子  | 井上 善子  | 今井 都美子 | 庄司 一郎  | 南 純子   | 木下 千代  |
|      | 大家 孝雄  | 露口 玉緒  | 中岡 義博  | 中岡 義博  | 中岡 義博  | 中岡 義博  | 稲田 宗彦  | 稲田 宗彦  |
| 会計   | 十朗 八恵  | 今井 都美子 | 佐田 照美  | 神野 真人  | 森下 由美子 | 福森 みえ子 | 石橋 順子  | 谷口 直子  |
|      | 村田 真弓  | 村田 真弓  | 村田 真弓  | 古舘 一彦  | 古舘 一彦  | 古舘 一彦  | 仁井戸 宏志 | 仁井戸 宏志 |
| 会計監査 | 横河 僖治  | 根無 正   | 神野 真人  | 武輪 利夫  | 庄司 一郎  | 番平 訓生  | 小田 良治  | 吉田 茂   |
| 会計監査 | 中西 正明  | 竹内 裕   | 若野 元幸  | 森下 伊三男 | 藤田 和巳  | 百野 永尾  | 秋田 幸男  | 津野 好光  |



| 元号   | 平成12   | 平成13   | 平成14   | 平成15   | 平成16  | 平成17  | 平成18  | 平成19  |
|------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 西暦   | 2000   | 2001   | 2002   | 2003   | 2004  | 2005  | 2006  | 2007  |
| 会長   | 秋田 幸男  | 宮崎 婦美代 | 湯口 芳美  | 山上 広美  | 熊抱 薫  | 田本 幸  | 久富真奈美 | 岸部 和代 |
| 副会長  | 柳澤 つるみ | 吉田 智子  | 福村 好美  | 熊抱 薫   | 三田たまき | 安井代美子 | 戸本希生子 | 戸本希生子 |
|      | 谷口 直子  | 湯口 芳美  | 菅木 正紹  | 高田 淳子  | 林田 隆子 | 三田たまき | 安田 和代 | 宮本 絹代 |
|      | 吉田 智子  | 福村 好美  | 浜崎 信子  | 太田久美子  | 安井代美子 | 上総 仁美 | 三田たまき | 鏡堂 真澄 |
| 書記   | 小林 さゆり | 桂 あけみ  | 森口 良作  | 日高 静子  | 出崎美奈枝 | 加藤真佐子 | 池田 千秋 | 少路 弘子 |
|      | 稲田 宗彦  | 稲田 宗彦  | 稲田 宗彦  | 稲田 宗彦  | 根来 信行 | 根来 信行 | 根来 信行 | 平野 芳男 |
| 会計   | 山根 節子  | 北浦 裕子  | 山上 広美  | 杉本美奈子  | 笹田裕美子 | 久富真奈美 | 井藤 敏広 | 牟田 賢治 |
|      | 仁井戸 宏志 | 七野 ルリ子 | 七野 ルリ子 | 七野 ルリ子 | 松本 真弓 | 清水 新造 | 辻口 重夫 | 辻口 重夫 |
| 会計監査 | 津野 好光  | 森口 良作  | 馬戸 隆子  | 浜崎 信子  | 横山 恵一 | 水本 広美 | 上総 仁美 | ニッ谷仁美 |
| 会計監査 | 熊野 平和  | 奥 幸夫   | 出口 昌彦  | 堀内 タ子  | 新島 法子 | 井藤 敏広 | 岡元美枝子 | 古本 厚子 |

| 元号   | 平成20  | 平成21  | 平成22  | 平成23  | 平成24  | 平成25  | 平成26  | 平成27  |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 西暦   | 2008  | 2009  | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  | 2015  |
| 会長   | 鏡堂 真澄 | 市道 葉子 | 田中志津美 | 牟田 賢治 | 樋口美智子 | 西村 紀久 | 牟田 賢治 | 牟田 賢治 |
| 副会長  | 市道 葉子 | 矢田まゆみ | 小田 真貴 | 小方 厚子 | 池田 えみ | 井上 洋子 | 岩松 千鶴 | 井上 洋子 |
|      | 牟田 賢治 | 小田 真貴 | 小溝 仁美 | 池田 えみ | 井上 洋子 | 川島 智子 | 井上 洋子 | 北裏美佐代 |
|      | 矢田まゆみ | 山中 昭子 |       | 石田菜穂実 | 西村 紀久 | 水口 和恵 | 藤井 靖子 | 市川 紀子 |
| 書記   | ニッ谷仁美 | 牟田 賢治 | 山中 昭子 | 小田 一美 | 東 美紀  | 東 美紀  | 水口 和恵 | 栗津美佐子 |
|      |       |       |       | 川瀬 治彦 | 川瀬 治彦 | 三宅 史朗 | 三宅 史朗 | 松田 義之 |
| 会計   |       | 成子いつ子 | 小田 一美 | 新原久美子 | 杉本加代子 | 杉本加代子 | 北裏美佐代 | 岩松 千鶴 |
|      | 辻口 重夫 | 麻生川正光 | 麻生川正光 | 麻生川正光 | 麻生川正光 | 小阪 浩治 | 小阪 浩治 | 星野 恵美 |
| 会計監査 | 中石 ゆり | 岸野 初江 | 牟田 賢治 | 田中志津美 | 奥 篤子  | 吉村 純子 | 小南香代子 | 藤井 靖子 |
| 会計監査 | 古本 厚子 | 奥 加奈子 | 藤田 亨子 | 藤田 亨子 | 安田 智子 | 稲葉久美子 |       | 水口 和恵 |

| 元号   | 平成28  | 平成29  | 平成30  | 令和1    | 令和2    | 令和3   | 令和4   | 令和5    | 令和6   |
|------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|
| 西暦   | 2016  | 2017  | 2018  | 2019   | 2020   | 2021  | 2022  | 2023   | 2024  |
| 会長   | 市川 紀子 | 加賀利友弘 | 松下 栄子 | 千地由紀子  | 安川 眞由美 | 譜久村菜摘 | 譜久村菜摘 | 今井 あや  | 東野 陽子 |
| 副会長  | 仲谷 成子 | 宮澤八重子 | 福永 奈々 | 譜久村菜摘  | 譜久村菜摘  | 出口 省吾 |       | 待元 裕子  | 妻木 靖朗 |
|      | 石原 克代 | 川畑 利子 | 千地由紀子 | 安川 眞由美 | 松田 紀子  |       |       |        |       |
|      | 小嶋 幸美 | 福永 奈々 |       |        | 出口 省吾  |       |       |        |       |
| 書記   | 水口 和恵 | 松下 栄子 |       | 松田 紀子  |        | 春名 理恵 | 藤本 君代 | 賀紋 秀千代 | 桶谷 美月 |
|      | 橋本 敏和 | 橋本 敏和 | 橋本 敏和 | 橋本 敏和  | 妻木 靖朗  | 妻木 靖朗 | 槿原 秀一 | 妻木 靖朗  | 安田 寛  |
| 会計   | 川畑 利子 | 向井久美子 | 譜久村菜摘 | 芋縄 明子  |        | 吉田 光代 | 樽見 禎美 | 定久 靖子  | 西浦 麻美 |
|      |       |       | 岡崎 哲也 | 岡崎 哲也  | 岡崎 哲也  | 岡崎 哲也 | 岡崎 哲也 | 法橋 秀晃  | 法橋 秀晃 |
| 会計監査 | 岩瀬いづみ | 永岡 智美 |       | 譜久村菜摘  |        | 松尾 美枝 | 吉田 光代 |        | 今井 あや |
| 会計監査 | 高橋 清子 |       |       | 安川眞由美  |        | 藤本 君代 | 柿花 倫子 |        |       |

紙数の関係で歴代役員のみを一覧としています。色のついている部分は本校教職員です。



昭和51(1976) 年開校当時の教育課程

| 教科         |            | 入学年度 | 昭和51年～昭和52年 |       |                |            |
|------------|------------|------|-------------|-------|----------------|------------|
|            |            | 類型   | 普通科         |       |                |            |
|            |            | 学年   | I           | Ⅱ     | Ⅲ              | 計          |
|            |            | 学級数  |             |       | 文 理            | 文 理        |
|            | 科目         |      |             |       |                |            |
| 国語         | 現代国語       |      | 3           | 2     | 3 3            | 文16<br>理15 |
|            | 古典Ⅰ乙       |      | 2           | 3     |                |            |
|            | 古典Ⅱ        |      |             |       | 3 2            |            |
| 社会         | 倫理・社会      |      |             | 2     |                | 文15<br>理14 |
|            | 政治・経済      |      |             |       | 2 2            |            |
|            | 日本史        |      |             |       | 4 3            |            |
|            | 世界史        |      |             | 2     | 2 2            |            |
|            | 地理A        |      | 3           |       |                |            |
|            | 地理B        |      |             |       |                |            |
| 数学         | 数学Ⅰ        |      | 6           |       |                | 文15<br>理17 |
|            | 数学ⅡB       |      |             | 5     |                |            |
|            | 数学Ⅲ        |      |             |       | 4 6            |            |
| 理科         | 物理Ⅰ        |      |             | 3     |                | 文14<br>理17 |
|            | 化学Ⅰ        |      |             | 3     |                |            |
|            | 生物Ⅰ        |      | 3           |       |                |            |
|            | 地学Ⅰ        |      | 2           |       |                |            |
|            | 物理Ⅱ        |      |             |       |                |            |
|            | 化学Ⅱ        |      |             |       | 文1科目3<br>理2科目6 |            |
|            | 生物Ⅱ        |      |             |       |                |            |
|            | 地学Ⅱ        |      |             |       |                |            |
| 保健体育       | 体育 男 女△    |      | 4 △ 2       | 4 △ 2 | 3 3            | 男11女7      |
|            | 保健         |      | 1           | 1     |                | 2          |
| 芸術         | 音Ⅰ・美Ⅰ・書Ⅰ   |      | 2           |       |                | 文6<br>理4   |
|            | 音Ⅱ・美Ⅱ・書Ⅱ   |      |             | 2     |                |            |
|            | 音Ⅲ・美Ⅲ・書Ⅲ   |      |             |       | 2 0            |            |
| 外国語        | 英語B        |      | 6           | 5     | 6 5            | 文17理16     |
| 家庭         | 家庭一般<br>女子 |      | △ 2         | △ 2   |                | 女4         |
| 教科・科目の計    |            |      | 32          | 32    | 32 32          | 96 96      |
| 各教科以外の教育活動 |            |      | 2           | 2     | 2 2            | 6 6        |
| 総計         |            |      | 34          | 34    | 34 34          | 102 102    |



# 令和4（2022）年入学 最後の教育課程

学校番号 418

別紙様式1-①)

## 令和 5 年度 大阪府立 泉鳥取 高等学校 全日 制 の 課 程 普 通 科 教 育 課 程 実 施 計 画

(入学年度別、類型別、教科・科目等単位数)

| 入学年度      |               |     | 3                                          |         |     |    |         | 備 考                          |
|-----------|---------------|-----|--------------------------------------------|---------|-----|----|---------|------------------------------|
| コース・類型    |               |     |                                            |         |     |    |         |                              |
| 学年(年次)    |               |     | I                                          | II      | III | IV | 計       |                              |
| 教科        | 科目            | 学級数 | 4                                          |         |     |    |         |                              |
| 国語        | 国語総合          |     | 4                                          |         |     |    |         |                              |
|           | 現代文A          |     |                                            | 2       |     |    | 1 3     |                              |
|           | 現代文B          |     |                                            |         | 3   |    | 1 5     |                              |
|           | 古典B           |     |                                            | 2       | 2   |    |         |                              |
|           | (学)実力国語       |     |                                            |         | 2 * |    |         |                              |
| 地理歴史      | 世界史B          |     |                                            | 2       | 2   |    |         |                              |
|           | 日本史B          |     | 2                                          | 2       |     |    | 1 0     |                              |
|           | 地理A           |     | 2                                          |         |     |    |         |                              |
| 公民        | 現代社会          |     |                                            |         | 3   |    | 3       |                              |
| 数学        | 数学Ⅰ           |     | 4                                          |         |     |    |         |                              |
|           | 数学Ⅱ           |     |                                            | 3       |     |    | 1 0     |                              |
|           | 数学Ⅲ           |     |                                            |         | 3 ○ |    | 1 2     |                              |
|           | 数学A           |     |                                            |         | 3   |    | 1 3     |                              |
|           | (学)応用数学       |     |                                            |         | 2 * |    | 1 5     |                              |
|           | (学)数学演習       |     |                                            |         | 3 ○ |    |         |                              |
| 理科        | 科学と人間生活       |     |                                            |         | 3 ◆ |    |         |                              |
|           | 物理基礎          |     |                                            | 2       |     |    |         |                              |
|           | (学)応用物理       |     |                                            |         | 3 ◆ |    |         |                              |
|           | 化学基礎          | 2   |                                            |         |     |    |         |                              |
|           | (学)応用化学       |     |                                            |         | 3 ◆ |    |         |                              |
|           | 生物基礎          |     |                                            | 2       |     |    |         |                              |
|           | (学)応用生物       |     |                                            |         | 3 ◆ |    |         |                              |
|           | 地学基礎          | 2   |                                            |         |     |    |         |                              |
|           | (学)応用地学       |     |                                            |         | 3 ◆ |    |         |                              |
| 保健体育      | (学)医療生物       |     |                                            |         | 3 ○ |    |         |                              |
|           | 体育            |     | 3                                          | 3       | 3   |    | 1 1     |                              |
|           | 保健            |     | 1                                          | 1       |     |    | 1 4     |                              |
| 芸術        | (学)ライフスポーツ    |     |                                            |         | 3 ○ |    |         |                              |
|           | 音楽Ⅰ美術Ⅰ書道Ⅰ     |     | 2                                          |         |     |    | 4       | 音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰから1科目を選択する        |
|           | 音楽Ⅱ美術Ⅱ書道Ⅱ     |     |                                            | 2       |     |    | 6       |                              |
|           | 音楽Ⅲ美術Ⅲ書道Ⅲ     |     |                                            |         | 3 ○ |    | 7       | Ⅱ及びⅢを付した科目は、同名のⅠを付した科目より選択する |
|           | (学)音楽表現       |     |                                            |         | 2 * |    | 9       |                              |
|           | (学)美術表現       |     |                                            |         | 2 * |    |         |                              |
| 外国語       | (学)書道表現       |     |                                            |         | 2 * |    |         |                              |
|           | コミュニケーション英語基礎 | 2   |                                            |         |     |    |         |                              |
|           | コミュニケーション英語Ⅰ  |     |                                            | 3       |     |    | 1 1     | (学)英語読解演習Aと                  |
|           | コミュニケーション英語Ⅱ  |     |                                            |         | 4   |    | 1 3     | (学)英語読解演習Bは同時に選択できない         |
|           | 英語表現Ⅰ         | 2   |                                            |         |     |    | 1 4     |                              |
|           | (学)英語読解演習A    |     |                                            |         | 2 * |    |         |                              |
| 家庭        | (学)英語読解演習B    |     |                                            |         | 3 ○ |    |         |                              |
|           | 生活デザイン        | 2   | 2                                          |         |     |    | 4       |                              |
|           | (学)生活文化       |     |                                            |         | 3 ○ |    | 7       |                              |
| 情報        | 社会と情報         |     |                                            | 2       |     |    |         | 情報の科学および(学)表                 |
|           | 情報の科学         |     |                                            |         | 2 * |    | 2       | 計算演習と(学)プログラミング演習は同時に選択できない  |
|           | (学)表計算演習      |     |                                            |         | 2 * |    | 4       |                              |
|           | (学)プログラミング演習  |     |                                            |         | 3 ○ |    | 5       |                              |
| 社会一般      | (学)社会総合A      |     |                                            |         | 2 * |    |         | (学)社会総合A、(学)社会               |
|           | (学)社会総合B      |     |                                            |         | 3 ○ |    | 0、2、3   | 総合Bは同時に選択できない                |
| キャリア教育    | (学)職場体験実習     |     |                                            | ※1      |     |    | 0、1     |                              |
| 教科・科目の計   |               |     | 2 8                                        | 2 8、2 9 | 2 8 |    | 8 4、8 5 |                              |
| 総合的な探究の時間 |               |     | 1                                          | 1       | 1   |    | 3       | 「総合」                         |
| 特別活動      |               |     | 1                                          | 1       | 1   |    | 3       | 「志学」                         |
| 総 計       |               |     | 3 0                                        | 3 0、3 1 | 3 0 |    | 9 0、9 1 |                              |
| 選 択 の 方 法 |               |     | *より1科目選択<br>◆より1科目選択<br>○より1科目選択<br>※は自由選択 |         |     |    |         |                              |

ここには開校当初の教育課程と、最後の学年47期生の教育課程を掲載しました。他の教育課程はメモリアルページにすべての年度掲載しています。





# 編集後記

大阪府立泉鳥取高等学校の閉校記念誌をお届けします。

機能統合に際して、校内で考えたことは2つ、一つは「イズトリの爪痕をいかに残すか？」ということと、「いかにしてこの学校＝卒業生の故郷を残すか？」をテーマに取組みを進めることでした。爪痕を残す取組みとして、「the Last Rinkai」を企画したり、金融教育モデル校にエントリーしたり、専門学校との連携で簿記検定講座を開設したりして、様々な機会に「イズトリの爪痕」を残そうと教職員・生徒で努力しました。また、「思い出と帰る場所」の設定では、芸術鑑賞として「劇団四季」の「バケモノの子」を梅田まで鑑賞に行ったり、文化祭や体育祭をプロの動画で残したりしました。そして、閉校に向けた作業の中で最も力を入れたのが、思い出情報誌『我らの泉鳥取』の出版でした。これまでに発行された10周年から40周年までの周年記念誌を基礎にしつつ、周年記念誌には載っていないことを中心に編集をしました。

職員室や各教科の準備室を片付けていると、本当に古い時代のものが「出土」します。それをもとにした編集が多く、どうしても創立初年から20年目くらいの記事が多くなってしまいました。ただ、複数の教職員OBにご協力をいただき、ある程度20年目から40年目の出来事も押さえられたと思います。

この記念誌は『我らの泉鳥取』をベースに、関係者の皆様に原稿を頂戴して編集しました。思い出の忍び草になれば幸いです。また、記念誌の編集作業と同時進行で「泉鳥取高等学校メモリアルページ」を充実させました。「バーチャル校舎」や歴代教育課程表など、他校には見られない充実した内容にしていますので、そちらもご覧ください。なお、記念誌出版に伴って、お忙しい中、原稿を寄せてくださった、卒業生の皆さんや教職員OB、歴代の校長先生や関係者の皆様、ぶしつけなお願いにも変わりませず、ご対応いただきましたことに、この場を借りて感謝の意を表したいと思います。また、仕事の遅い事務局長を叱咤激励いただいた（株）ムカイ印刷さんに深い謝意を表します。

昭和51（1976）年の開校以来、阪南市の皆さん、旧第9学区の皆さん、49年間本当にお世話になりました。卒業生・教職員の皆さん、名残は尽きませんが、皆様方のますますのご健康とご多幸、ご活躍を祈念して筆を置きます。

令和7年3月



大阪府立泉鳥取高等学校 閉校記念事業実行委員会

委員長 橋本 敏和 副委員長 東野 洋子 二神 勝

事務局長 妻木 靖朗

事務局 法橋 秀晃 安田 覚 中山 輝彦 松重 圭一

北岸 浩伸 坊内 明美 新明 直樹



2024年7月11日撮影 最後の教職員集合写真

大阪府立泉鳥取高等学校 閉校記念誌

## 花水木 *Forever*

令和7年3月4日 初版発行（非売品）

編集者 閉校記念事業実行委員会（妻木 靖朗）

〒599-0216 大阪府阪南市緑ヶ丘1丁目1番10号

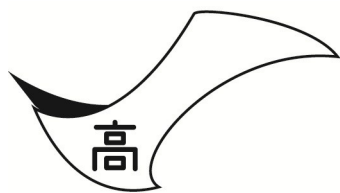
印刷・製作 ムカイ印刷株式会社

〒590-0521 大阪府泉南市樽井2丁目34-14

tel 072-457-4777

（引用は出典を明記してください）





*1976~2025*